令和元年度

八 幡 市 の 教 育

（修復が終わり鮮やかな朱色を取り戻した八角堂）

八幡市教育委員会

八　幡　市　の　教　育

目　　次

第１節　八　幡　市　の　概　況

１　位置・地勢・気象・沿革……1
２　人口の推移……3
３　教育関係者名簿……4
４　歴代教育委員長……5
５　歴代教育長……5
６　歴代教育委員……6
７　教育委員会事務局組織機構図……7
８　教育委員会の事務分掌……8
９　教育沿革の概要……10
10　八幡市の財政……17
11　八幡市の教育財政……18

第２節　学　校　教　育

１　学校教育の方針と目標……19
２　学校教育施設……28
３　学校（園）別児童・生徒数及び職員数……29
４　学校（園）の所在地等……30
５　学校別使用教室数……31
６　小・中学校の設立と分離……32
７　学校（園）数、児童・生徒数の推移……33
８　通学区域……34
９　特色ある教育活動及び研究指定等一覧……36
10　八幡市内中学校進路状況……47
11　学校給食……48
12　児童･生徒の平均体位の状況……50
13　教職員研修実施状況……52
14　教育支援センター……53

第３節　社　会　教　育

１　社会教育の方針と目標 …… 55
２　社会教育の現状 …… 60
３　社会体育の現状 …… 62
４　社会教育関係者名簿 …… 63
５　社会教育関係団体名簿 …… 64
６　社会教育施設等 …… 67
７　社会体育施設等 …… 68
８　市立図書館 …… 69
９　文化財概要 …… 79

○ふるさと学習館 …… 87
○市内遺跡一覧表 …… 88

八幡市市民憲章 …… 109

八幡市の花・木・鳥・花木 …… 110

八幡市市歌 …… 111

八幡市非核平和都市宣言 …… 112

八幡市環境自治体宣言 …… 112

第１節　八 幡 市 の 概 況

１　位置・地勢・気象・沿革

（１）位置・地勢・気象

本市と近畿圏最北端の経ヶ岬を結んだ距離を半径として円を描くと、圏域のほとんどがその中に入ることから、本市は近畿圏のほぼ中央に位置しているといえます。京都府の南西端で大阪府境に接し、木津川・宇治川・桂川の三川が合流して淀川となる地点で、京都市、大阪市という二大都市の中間にあって、交通至便な立地条件を有しています。

面積は２４．３５ｋ㎡、最大幅は東西約６．７ｋｍ、南北約８．５ｋｍで、北部から東部にかけては、淀川、木津川を境界にして島本町・大山崎町・京都市・久御山町・城陽市と、南東部は京田辺市と、西部は枚方市と接しています。西部の緑豊かな男山から南部の美濃山地域にかけてはなだらかに起伏した丘陵地で、その他の地域はおおむね平地で形成されています。平地部には、一級河川の大谷川・防賀川が流れ、また、中央部から東部にかけては田園が広がっています。
気候は、年間を通じて比較的温暖で、年間の平均気温は約１６℃、降水量にはばらつきがありますが近年では年間１，５００mm程度です。

（２）沿　革

①古代から交通の要衝

本市の歴史は古く、市内からは旧石器時代の石器が出土し、弥生時代後期以降の遺跡も多く確認されるなど、古代から開けていたことを示しています。

古代から近世に至るまで、木津川や淀川を水路として利用した水運とともに、古山陽道、東高野街道、京街道の陸路が各時代に整備され、本市は瀬戸内海から京都、奈良へ至る交通の要地として栄えてきましたが、反面、権力争奪の要衝として再三の戦火に見舞われてもきました。

②石清水八幡宮の建立と八幡の発展

８５９年（貞観元年）、国家（平安京）の平安を守るため、九州から八幡神が移座し、その翌年に男山に石清水八幡宮が建立されてからは、その門前町として発展しました。

門前町では様々な文化が育まれ、特に、江戸時代前期、石清水八幡宮の社僧で、寛永の三筆の一人と称される松花堂昭乗が、当代の著名な文人たちと交流し、書・画・茶の湯・和歌等に長じその所持品「八幡名物」で町の名をさらに高めました。全国的にも有名な松花堂弁当は、この松花堂昭乗に由来しています。

江戸時代から明治期にかけての本市は、石清水八幡宮参詣者を対象に安定した発展を続けた商業地という側面と、京都・大阪という大消費地を支えるため作物の栽培を盛んに行った農村部という側面をもっていました。

③八幡町の誕生

明治の末期には市域の北端を通る鉄道が開通し、それまで輸送の重要な役割を担っていた淀川等の水運が下火となり、その中継地としての本市の役割も低下しました。

１８８９年（明治２２年）の町村制施行によって全国的な町村合併が実施され、八幡では八幡町、都々城村、有智郷村が形成されました。そして、１９５４年（昭和２９年）にこの３町村が合併して人口約１万６千人の新しい八幡町となりました。

④八幡町から八幡市へ

昭和３０年代における京都・大阪都市圏の広がりは、近隣地域への人口の分散、ベッドタウン化をもたらしました。そして、１９６６年（昭和４１年）に京都市伏見区三栖町から枚方市中振間の枚方バイパス（現 国道１号）が開通し、京阪経済圏への中心動脈としての期待がかかる中、昭和４０年代後半には日本住宅公団（現 独立行政法人都市再生機構）による男山団地の開発が主因となって、全国屈指の人口急増をみました。

１９７５年（昭和５０年）には人口が５万人を超え、１９７７年（昭和５２年）１１月１日に市制を施行、八幡市が誕生しました。翌年、「都市としての基盤づくり」を中心とした第１次八幡市基本構想を策定し、急増した人口に対応するため上下水道、教育・文化・スポーツ施設、保健・福祉施設の整備等を積極的に進め、１９８７年（昭和６２年）には「都市としての成長」を基本とした第２次基本構想に改定し、計画人口１０万人のまちづくり施策を展開してきました。

しかし、少子高齢化の進行に伴い、２００５年（平成１７年）には人口減少社会が現実のものとなるとともに、環境問題や安全・安心の問題がこれまで以上にクローズアップされました。また、地方分権の進展など国と地方の関係も大きく変化し、市民参画・市民協働が不可欠となっている状況の中、本市に関わる全ての市民がともに考え、ともに行動しまちづくりを進めるために、２０１８年（平成３０年）には、「みんなで創って好きになる　健やかで心豊かに暮らせるまち～住んでよし、訪れてよし　Smart Wellness City,Smart Welcoming City Yawata～」をめざし第５次八幡市総合計画を策定し、まちづくりを進めています。

２　人口の推移

年 （5月1日現在）	人　　口				世　帯　数		備考
	男性(人)	女性(人)	計（人）	増加率 （%） 前年比	世帯	増加率 （%） 前年比	
昭和 50 年	23,694	23,440	47,134	10.0	13,923	9.2	
昭和 51 年	26,311	26,022	52,333	11.0	15,423	10.8	
昭和 52 年	28,105	27,999	56,104	7.2	16,573	7.5	市制施行(52.11.1)
昭和 53 年	29,854	29,634	59,488	6.0	17,582	6.1	
昭和 54 年	31,060	30,892	61,952	4.1	18,332	4.3	
昭和 55 年	32,171	32,027	64,198	3.6	19,120	4.3	
昭和 56 年	33,144	33,056	66,200	3.1	19,799	3.6	
昭和 57 年	34,138	33,891	68,029	2.8	20,444	3.3	
昭和 58 年	34,760	34,629	69,389	2.0	20,943	2.4	
昭和 59 年	35,365	34,388	69,753	0.5	21,426	2.3	
昭和 60 年	36,039	35,955	71,994	3.2	21,932	2.4	
昭和 61 年	36,578	36,427	73,005	1.4	22,403	2.1	
昭和 62 年	36,776	36,622	73,398	0.5	22,570	0.7	
昭和 63 年	37,015	36,974	73,989	0.8	22,894	1.4	
平成元年	37,282	37,291	74,573	0.8	23,265	1.6	
平成 2 年	37,429	37,959	75,388	1.1	24,072	3.5	
平成 3 年	37,816	38,165	75,981	0.8	24,621	2.3	
平成 4 年	37,788	38,214	76,002	0.0	24,859	1.0	
平成 5 年	37,909	38,369	76,278	0.4	25,264	1.6	
平成 6 年	37,857	38,313	76,170	△ 0.1	25,521	1.0	
平成 7 年	37,599	38,091	75,690	△ 0.6	25,688	0.7	
平成 8 年	37,346	37,886	75,232	△ 0.6	25,898	0.8	
平成 9 年	36,838	37,573	74,411	△ 1.1	25,921	0.1	
平成 10 年	36,567	37,295	73,862	△ 0.7	26,020	0.4	
平成 11 年	36,365	37,218	73,583	△ 0.4	26,263	0.9	
平成 12 年	36,352	37,184	73,536	△ 0.1	26,668	1.5	
平成 13 年	36,230	37,090	73,320	△ 0.3	27,042	1.4	
平成 14 年	36,426	37,417	73,843	0.7	27,676	2.3	
平成 15 年	36,528	37,627	74,155	0.4	28,184	1.8	
平成 16 年	36,465	37,662	74,127	0.0	28,546	1.3	
平成 17 年	36,495	37,610	74,105	0.0	28,963	1.5	
平成 18 年	36,328	37,537	73,865	△ 0.3	29,266	1.0	
平成 19 年	36,294	37,543	73,837	0.0	29,653	1.3	
平成 20 年	36,193	37,484	73,677	△ 0.2	29,977	1.1	
平成 21 年	36,374	37,711	74,085	0.6	30,482	1.7	
平成 22 年	36,407	37,846	74,253	0.2	30,841	1.2	
平成 23 年	36,322	37,802	74,124	△ 0.2	31,086	0.8	
平成 24 年	36,190	37,650	73,840	△ 0.4	31,376	0.9	
平成 25 年	36,037	37,579	73,616	△ 0.3	31,587	0.7	
平成 26 年	35,749	37,370	73,119	△ 0.7	31,752	0.5	
平成 27 年	35,604	37,292	72,896	△ 0.3	32,088	1.1	
平成 28 年	35,273	37,054	72,327	△ 0.8	32,310	0.7	
平成 29 年	35,074	36,872	71,946	△ 0.5	32,541	0.7	
平成 30 年	34,802	36,718	71,520	△ 0.6	32,716	0.5	
令和元年	34,599	36,519	71,118	△ 0.6	32,936	0.7	

３　教育関係者名簿（令和元年７月現在）

（１）市理事者及び議会議員

① 市 理 事 者

市　　長	副　市　長
堀　口　　文　昭	森　下　　徹

② 議 会

議　　長	副 議 長
山　田　　芳　彦	太　田　　克　彦
文教厚生常任委員長	文教厚生常任副委員長
横　山　　博	山　口　　克　浩

（２）教育委員会

① 教 育 委 員

委　員　名	役　　職	任　　期
松 下　　順 英	教育長職務代理者	平成 28 年 12 月 24 日～令和 2 年 12 月 23 日 (3 期目)
橋 本　　陽 生	委　　員	平成 30 年 10 月 31 日～令和 4 年 10 月 30 日 (2 期目)
佐 野　恵 理 子	委　　員	平成 28 年 8 月 1 日～令和 2 年 7 月 31 日 (1 期目)
人 見　妃 都 美	委　　員	平成 30 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 (1 期目)

4　歴代教育委員長

氏　　名	就任年月日	退任年月日
増本　聴善	昭和31年10月 1日	昭和39年10月19日
矢野　茂次	昭和39年10月20日	昭和54年10月27日
伊佐　重輝	昭和55年 4月 1日	平成 2年10月30日
伊佐　錠治	平成 2年11月 5日	平成10年10月30日
枚浦　勝	平成10年11月 1日	平成12年 9月11日
古市　久子	平成12年11月 1日	平成16年 7月31日
松波　史子	平成16年 8月 2日	平成21年 8月 1日
奥村　順一	平成21年 8月 2日	平成26年 8月 1日
大隅　久美子	平成26年 8月 2日	平成28年 7月31日
松下　順英	平成28年 8月 2日	平成29年 4月 1日

5　歴代教育長

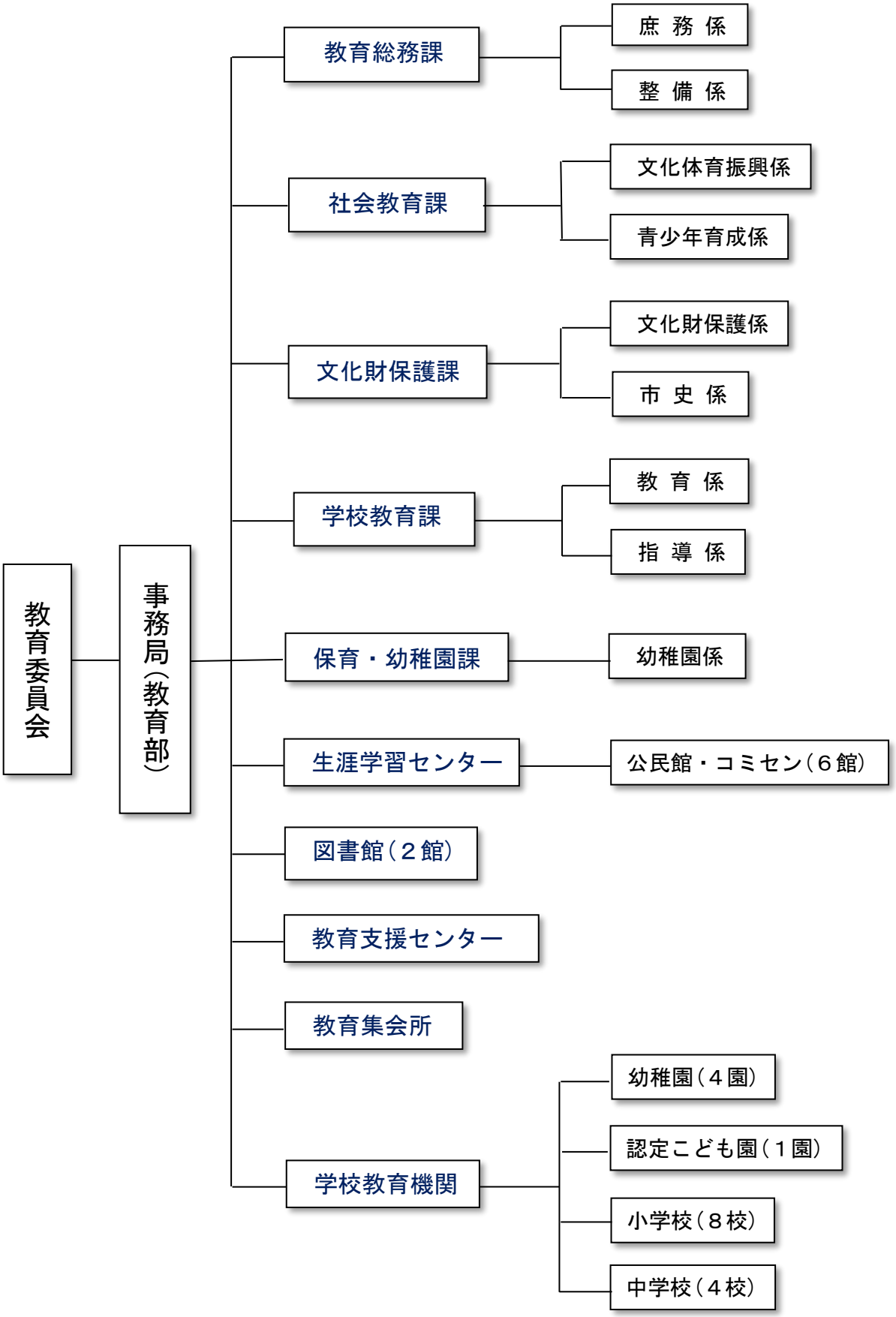
氏　　名	就任年月日	退任年月日
長村　甚一	昭和31年10月 1日	昭和43年11月30日
辻村　豊夫	昭和43年12月24日	昭和55年12月23日
中城　正之祐	昭和55年12月24日	昭和58年 3月31日
佐々　満郎	昭和58年 4月 1日	平成 4年12月23日
中西　由美生	平成 5年 4月 2日	平成13年 4月 1日
今井　興治	平成13年 4月 2日	平成25年 4月 1日
谷口　正弘	平成25年 4月 2日	現　　在

６　歴代教育委員

氏　　名	就任年月日	退任年月日
増本　聴善	昭和31年10月 1日	昭和39年10月19日
西村　正明	昭和31年10月 1日	昭和34年 9月30日
奥野　博男	昭和31年10月 1日	昭和41年 9月30日
福田　春栄	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
長村　甚一	昭和31年10月 1日	昭和43年11月30日
畑中　きく	昭和32年10月 1日	昭和36年 9月30日
船橋　俊遠	昭和34年10月28日	昭和38年10月27日
矢野　久子	昭和36年10月18日	昭和40年10月17日
矢野　茂次	昭和38年10月28日	昭和54年10月27日
中嶋　芳造	昭和39年12月 1日	昭和43年11月30日
小泉　好江	昭和40年10月29日	昭和44年10月28日
伊佐　重輝	昭和41年10月31日	平成 2年10月30日
辻村　豊夫	昭和43年12月24日	昭和55年12月23日
中辻　嘉一	昭和43年12月24日	昭和51年12月23日
今村　幸子	昭和44年12月16日	昭和48年12月15日
北村　和子	昭和48年12月16日	昭和52年12月15日
右橋　俊雄	昭和51年12月24日	昭和55年12月23日
渡邊　敏子	昭和52年12月22日	昭和60年12月21日
南　　千惠子	昭和55年 8 月 1日	平成 4年 7月31日
中城　正之祐	昭和55年12月24日	昭和58年 3 月31日
小川　廣之助	昭和55年12月24日	昭和59年12月23日
佐々　満郎	昭和58年 4 月 1日	平成 4年12月23日
枚浦　　勝	昭和59年12月24日	平成12年 9月11日
増田　久榮	昭和60年12月25日	平成 5年12月24日
伊佐　錠治	平成 2年10月31日	平成14年10月30日
古市　久子	平成 4年 8月 1日	平成16年 7月31日
中西　由美生	平成 5年 4月 2日	平成13年 4月 1日
眞野　正信	平成 6年 2月 2日	平成10年 2月 1日
松波　史子	平成10年 4月 1日	平成22年 3月31日
中村　永司	平成12年12月24日	平成17年 1月11日
前平　泰志	平成17年 4月 1日	平成24年 3月31日
今井　興治	平成13年 4月 2日	平成25年 4月 1日
奥村　順一	平成14年10月31日	平成26年10月30日
大隅　久美子	平成16年 8月 1日	平成28年 7月31日
谷口　正弘	平成25年 4月 2日	平成29年 4月 1日
布目　有希子	平成22年 4月 1日	平成30年 3月31日
松下　順英	平成24年 7月 1日	現　　在
橋本　陽生	平成26年10月31日	現　　在
佐野　恵理子	平成28年 8月 1日	現　　在
人見　妃都美	平成30年 4月 1日	現　　在

7　教育委員会事務局組織機構図

（令和元年５月１日現在）



8　教育委員会の事務分掌

（令和元年５月１日現在）

部	課　等	係	分　掌　事　務	
教育部	教育総務課	庶　務　係	(1)	教育委員会の庶務に関すること。
			(2)	教育委員会の会議に関すること。
			(3)	教育委員会規則の制定及び改廃に関すること。
			(4)	公印の保管に関すること。
			(5)	公告式に関すること。
			(6)	辞令交付に関すること。
			(7)	市長の事務部局その他関係機関との連絡調整に関すること。
			(8)	調査及び統計に関すること。
			(9)	課の庶務に関すること。
			(10)	その他教育委員会内における他の課に属さないこと。
		整　備　係	(1)	教育施設の設置及び廃止に関すること。
			(2)	教育施設の建設整備計画に関すること。
			(3)	教育施設の新築、維持管理等に関すること。
			(4)	教育財産の管理に関すること。
			(5)	その他教育施設の営繕に関すること。
	社会教育課	文化体育振興係	(1)	生涯学習の総括に関すること。
			(2)	社会教育委員に関すること。
			(3)	後援申請に関すること。
			(4)	文化関係団体の育成及び連絡調整に関すること。
			(5)	文化芸術の振興に関すること。
			(6)	文化施設及び指定管理者に関すること。
			(7)	社会体育関係団体の育成及び連絡調整に関すること。
			(8)	生涯スポーツの推進に関すること。
			(9)	スポーツ推進委員に関すること。
			(10)	学校開放事業に関すること。
			(11)	洛南浄化センター運動広場運営協議会に関すること。
			(12)	その他社会教育に関すること。
			(13)	課の庶務に関すること。
		青少年育成係	(1)	青少年教育及び保護育成に関すること。
			(2)	家庭教育及び成人教育に関すること。
			(3)	人権教育の推進に関すること。
			(4)	障がい者教育に関すること。
			(5)	社会教育団体の育成及び連絡調整に関すること。
			(6)	学校支援に関すること。
	文化財保護課	文化財保護係	(1)	文化財保護審議会に関すること。
			(2)	文化財の保護及び国宝指定の支援に関すること。
			(3)	文化財保護団体に関すること。
			(4)	埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
			(5)	その他文化財に関すること。
			(6)	課の庶務に関すること。
		市　史　係	(1)	市史編纂に関すること。
			(2)	史料調査に関すること。
			(3)	ふるさと学習館に関すること。

部	課　等	係	分　　掌　　事　　務	
教育部	学校教育課	教　育　係	(1)	学校関係職員の任免その他人事に関すること。
			(2)	教育関係職員の保健、厚生及び福利に関すること。
			(3)	学校の組織編成及び通学区域の指定に関すること。
			(4)	児童及び生徒の就学に関すること。
			(5)	教科書その他教材に関すること。
			(6)	学校に係る予算及び決算に関すること。
			(7)	就学奨励に関すること。
			(8)	児童及び生徒の健康安全に関すること。
			(9)	学校給食に関すること。
			(10)	課の庶務に関すること。
			(11)	その他学務及び学校の教育振興に関すること。
		指　導　係	(1)	学校の教育内容に関すること。
			(2)	学校の教育指導に関すること。
			(3)	教育に関する指導資料及び教材の作成整備及び活用に関すること。
			(4)	教職員研修に関すること。
			(5)	教育調査・研究に関すること。
			(6)	人権教育に関すること。
			(7)	生徒指導に関すること。
			(8)	南ヶ丘教育集会所に関すること。
			(9)	教育支援センターに関すること。
			(10)	その他教育指導に関すること。
	保育・幼稚園課	幼稚園係	(1)	幼稚園に係る調査、企画立案及び調整に関すること。
			(2)	幼稚園の就園に関すること。
			(3)	就園奨励に関すること。
			(4)	幼稚園児の健康安全に関すること。
			(5)	幼稚園の教育内容に関すること。
			(6)	幼稚園の教育指導に関すること。
			(7)	認定こども園に関すること(教育委員会に関することに限る。)。
			(8)	課の庶務に関すること。
			(9)	その他幼稚園に関すること。
	(生涯学習センター)		(1)	生涯学習事業の推進に関すること。
			(2)	学習情報の提供に関すること。
			(3)	学習相談に関すること。
			(4)	公民館等社会教育施設に関すること。
			(5)	公民館運営審議会に関すること。
			(6)	生涯学習関係団体の育成及び連絡調整に関すること。
			(7)	その他生涯学習事業に関すること。
	(教育支援センター)		(1)	不登校に関すること。
			(2)	特別支援教育に関すること。
			(3)	教育相談に関すること。
			(4)	その他教育支援に関すること。
	(教育集会所)		(1)	学習支援に関すること。
			(2)	学習基盤の養成に関すること。
			(3)	その他必要な事業に関すること。

９　教育沿革の概要

年 (1 月～12 月)	事　項 行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
明治初年まで	八幡荘、上奈良村、戸津村、下奈良村、美濃山村、内里村、岩田村、寺田村、上津屋村等小部落に分離されていて庄屋等が村を治めていた	
明治 5 年	・学制発布 ・八幡荘が八幡町に改称	
明治 6 年		・上奈良に致遠校創立 ・八幡高坊に知周校創立 ・寺田に進徳校開校創立
明治 10 年		・内里別庄に有智郷校創立 ・美濃山本郷に美濃山校創立
明治 11 年		・上津屋に上津屋校創立
明治 12 年	・教育令公布	
明治 14 年		・東岩田に新徳校分校開校
明治 15 年		・八幡知周校に５分教場設置 （志水、東林、川口、二階堂、橋本）
明治 19 年	・小学校令公布	・致遠校、有智郷校、美濃山校合併 ・有智美校発足 ・岩田小学校発足
明治 20 年		・知周校校名変更　八幡尋常小学校 ・八幡知周校の５分教場廃止 ・有智美尋常小学校発足
明治 21 年	・川口を八幡町に併合	
明治 22 年	・大日本帝国憲法発布 ・市町村制施行 ・八幡町、有智郷村、都々城村発足	・有智郷尋常小学校発足 ・都々城尋常小学校発足
明治 23 年	・教育に関する勅語発布 ・樟葉村の一部合併	
明治 26 年		・東岩田に組合立高等小学校開校 ・八幡尋常小学校に高等小学校設置
明治 32 年		・八幡尋常小学校に補習科設立（善法寺） ・有智郷小学校、内里北ノ口に移転
明治 33 年		・八幡尋常小学校に高等科設置 ・八幡尋常高等小学校校名変更
明治 34 年	・小学校令改正	・八幡尋常小学校に分教場設置（極楽寺）
明治 37 年		・八幡尋常小学校の補習科廃止
明治 38 年		・極楽寺分教場に手工科を加設
明治 41 年	・義務教育年限６ヶ年となる	・各尋常小学校に高等科併設 ・有智郷尋常高等小学校、都々城尋常高等小学校校名変更
明治 43 年	・京阪電鉄開業（天満橋－五条間 46.57km）	
大正 3 年	・八幡町役場移転（今田）	・八幡尋常小学校移転（金剛律寺跡－今田）
大正 4 年		・八幡尋常小学校新校舎
大正 9 年	・第１回国勢調査実施	・八幡尋常高等小学校に体育館を建設
大正 12 年	・関東大震災起こる	
大正 15 年		・八幡尋常小学校２階建校舎一棟増築 ・八幡尋常小学校運動場拡張
昭和 5 年		・八幡尋常小学校２階建校舎一棟移築
昭和 9 年	・室戸台風近畿地方通過	・八幡、有智郷、都々城校舎小倒壊、教員生徒に多数の死傷者
昭和 10 年	・青年学校令施行	・八幡実業青年学校創立 各尋常小学校に男女青年学級併設
昭和 11 年	・２．２６事件	・八幡町立家庭女学校を青年学校とする
昭和 12 年	・日中戦争勃発	
昭和 13 年		・八幡町立八幡幼稚園設置（八幡小学校）

年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
昭和 14 年	・第二次大戦勃発	
昭和 16 年	・国民学校令施行 ・太平洋戦争勃発	・国民学校令施行に伴い校名変更 八幡国民学校 有智郷国民学校 都々城国民学校
昭和 18 年		・各実業青年学校を石清水青年学校に統合
昭和 20 年	・第二次大戦終結 ・ＧＨＱ日本教育制度に対する管理政策を指示	
昭和 21 年	・学制改革（六三制） ・日本国憲法公布	
昭和 22 年	・日本国憲法施行 ・教育基本法、学校教育法公布 ・地方自治法公布 ・学校教育法改正 ・新制中学校発足 ・児童福祉法公布	・学校教育法改正施行に伴い校名変更 八幡小学校 有智郷小学校 都々城小学校 ・組合立有都中学校開校 ・町立八幡中学校開校
昭和 23 年	・教育委員会法公布 ・京都府教育委員会発足	・八幡小学校補食給食開始（脱脂粉乳と味噌汁）
昭和 24 年	・社会教育委員会法公布 ・教職員免許法公布 ・社会教育法公布	・有智郷、都々城小学校補食給食開始 ・八幡中学校と有都中学校合併 ・組合立男山中学校発足 ・組合立男山中学校有都分教場発足
昭和 25 年	・文化財保護法公布	・組合立男山中学校有都分教場廃止
昭和 26 年	・吉野地震発生 ・産業教育振興法公布	・八幡小学校講堂、中校舎被害 ・都々城小学校講堂、本館竣工
昭和 27 年	・市町村教育委員会発足 ・学習指導要領一般編を改訂 ・義務教育費国庫負担法公布	・有智郷小学校、都々城小学校のＣ型給食開始
昭和 28 年	・学校図書館法公布 ・理科教育振興法公布	
昭和 29 年	・へき地教育振興法公布 ・一町二村合併新八幡町 ・日本学校給食法公布	・一町二村合併に伴い校名変更 八幡町立有智郷小学校 八幡町立都々城小学校 八幡町立男山中学校
昭和 31 年	・地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布 ・幼稚園設置基準公布	
昭和 32 年		・八幡幼稚園有智郷分園発足
昭和 33 年	・学校教育法公布 ・義務教育諸学校施設費国庫負担法公布 ・公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律公布 ・小、中学校学習指導要領告示	
昭和 34 年	・日本学校安全会法公布	
昭和 35 年	・上水道給水開始	・八幡小学校に障害児学級設置 ・男山中学校に二部授業（夜間）開始 ・有智郷小学校Ａ型給食に変更
昭和 36 年		・男山中学校鉄筋北校舎完成
昭和 38 年	・老人福祉法公布	・栄養士設置 ・八幡小学校給食室新設完全給食実施
昭和 39 年	・「観光なし狩り」開始	・八幡小学校運動場拡張 ・八幡幼稚園分園を第二幼稚園として発足 （有智郷、都々城地区） ・男山中学校鉄筋第一期工事完成 ・男山中学校の夜間授業廃止 ・男山中学校に障害児学級設置 ・八幡小学校プール新設 ・男山中学校鉄筋第二期工事完成
昭和 40 年	・人口２万人突破	・有智郷、都々城小学校プール新設 ・男山中学校促進学級開設

年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
昭和 41 年	・枚方バイパス(現、国道１号)開通	・八幡小学校火災４教室焼失 ・男山中学校鉄筋第三期工事完成 ・八幡市民センター設置
昭和 42 年	・町の木「くすのき」、花「さつき」制定	・男山中学校鉄筋第四期工事完成
昭和 43 年		・八幡小学校校舎増築 ・八幡町立第二幼稚園分園 ・八幡町立第二幼稚園(都々城地区)開園
昭和 44 年	・住民憲章(現、市民憲章)を制定	・男山中学校学習相談室開設
昭和 45 年		・八幡小学校校舎増築
昭和 46 年	・市街化区域、市街化調整区域決定	・八幡小学校校舎増築 ・八幡小学校旧本館校舎にて府立八幡高等学校創設 ・府立八幡高等学校移転
昭和 47 年	・住宅公団男山団地Ａ・Ｂ棟入居開始 ・都市計画道路八幡城陽線完成	・八幡小学校校舎増築、体育館新設 ・八幡町立男山第二中学校新築、開校 ・八幡町立八幡第二小学校新築、開校 ・くすのき近隣運動公園設置 ・八幡幼稚園園舎増築
昭和 48 年	・山城学校建設公社設立 ・老人憩いの家「八寿園」開園	・各小学校に附属幼稚園設置のため既設幼稚園改称（八幡、有智郷、都々城） ・八幡小学校校舎増築 ・八幡幼稚園園舎増築 ・八幡第二幼稚園新築、開園 ・各小学校に附属幼稚園設置
昭和 49 年	・住宅公団男山団地Ｃ・Ｄ棟入居開始	・八幡小学校橋本地区分離八幡町立橋本小学校新築、開校及び附属幼稚園新築、開園 ・八幡町立八幡第三小学校新築、開校 ・かわきた自然運動公園設置 ・八幡第二小学校校舎増築 ・八幡第二幼稚園増築 ・八幡幼稚園増築 ・男山第二中学校校舎増築
昭和 50 年	・都隣保館開館	・八幡町立男山第三中学校校舎、体育館等新築、開校 ・有智郷、都々城両小学校合併 ・八幡町立有都小学校新築、開校及び附属幼稚園名改称 ・八幡町立八幡第三小学校附属幼稚園新築、開園 ・男山第二中学校校舎等増築 ・さつき近隣運動公園設置 ・男山公民館設置
昭和 51 年		・八幡町立中央小学校新築、開校
昭和 52 年	・市制施行八幡市誕生 ・松花堂資料館開館	・八幡町立八幡第四小学校新築、開校及び附属幼稚園新築、開園 ・八幡町立中央小学校附属幼稚園新築、開園 ・八幡第三小学校校舎増築 ・有智郷市民センター開設 ・都々城市民センター開設 ・有智郷幼稚園改築 ・市制施行に伴い幼、小、中校園名変更
昭和 53 年	・八幡市基本構想策定 ・市役所新庁舎開庁	・八幡小学校校舎増築 ・男山第三中学校校舎増築 ・くすのき保育園、わかたけ保育園開園
昭和 54 年		・八幡小学校校舎、八幡第四小学校校舎、有都小学校校舎、橋本小学校校舎及び橋本幼稚園増築 ・男山第二中学校校舎、男山第三中学校校舎増築
昭和 55 年		・八幡市民図書館開設 ・八幡市立八幡第五小学校新築、開校及び附属幼稚園新築、開園 ・中央小学校にきこえ、ことばの２教室開設 ・南ヶ丘教育集会所設置 ・橋本公民館開設

年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
昭和 56 年		・八幡市立八幡東小学校新築、開校及び附属幼稚園新築、開園 ・志水公民館開設 ・八幡第四小学校校舎増築 ・小学校で米飯給食開始
昭和 57 年	・「非核平和都市」を宣言	・男山第二中学校、男山第三中学校の柔剣道場竣工 ・川口運動広場設置 ・八幡東小学校校舎増築 ・男山第三中学校校舎増築
昭和 58 年	・八幡市文化センター開設	・八幡市立男山中学校移転、新築 ・府立南八幡高等学校創設
昭和 59 年		・馬場運動広場設置 ・男山第二中学校増築 ・山柴公民館開設
昭和 60 年	・福祉のまちづくり要綱を制定	・有都小学校附属都々城幼稚園、有智郷幼稚園休園 ・男山第三中学校校舎増築
昭和 61 年		・八幡市立男山東中学校新築、開校 ・公立幼稚園二年制実施 ・都々城、有智郷幼・保合同保育実施
昭和 62 年	・新八幡市基本構想を策定	・八幡市立南山小学校新築、開校 ・男山第二中学校体育館大規模改造 ・八幡第二幼稚園大規模改造 ・八幡市民スポーツ公園設置 ・男山レクリエーションセンター完成 ・附属幼稚園制度廃止
昭和 63 年	・第４３回国民体育大会秋季大会 ハンドボール競技とデモンストレーション行事開催	・川口コミュニティセンター開設 ・都教育集会所開設 ・八幡小学校校舎大規模改造 ・財団法人公園施設事業団設置により社会体育施設の名称変更 くすのき近隣公園 さつき近隣公園 かわきた自然運動公園 有智郷市民公園 都々城市民公園 川口市民公園 馬場市民公園 八幡市民スポーツ公園 男山レクリエーションセンター
平成元年	・府が男山を鳥獣保護区に設定 ・住民記録の電算処理開始	・八幡小学校校舎大規模改造 ・八幡第二小学校校舎大規模改造
平成 2 年	・ホームヘルプセンター設置 ・第２、第４土曜日を閉庁、金曜夜間窓口開設	・八幡小学校校舎大規模改造 ・八幡第二小学校校舎大規模改造 ・橋本小学校校舎大規模改造 ・男山第二中学校研修用コンピュータ設置 ・男山中学校、男山第二中学校、男山第三中学校及び男山東中学校の市内４中学校にＬＬ教室設置
平成 3 年	・教育委員会だより発行 ・男山文化ホール開設 ・みどりの条例施行	・八幡小学校体育館大規模改造 ・八幡第二小学校体育館大規模改造 ・橋本小学校校舎大規模改造 ・橋本幼稚園大規模改造 ・男山第二中学校コンピュータ教室設置 ・男山市民図書館開設
平成 4 年	・男山を「ふるさと」の森に指定 ・ゆとり創造プラン策定	・学校週５日制実施(月１回) ９月１２日(土)スタート ・八幡第二小学校校舎大規模改造 ・橋本小学校体育館大規模改造 ・男山中学校、男山第三中学校、男山東中学校コンピュータ教室設置 ・八幡第三幼稚園大規模改造 ・きんめい近隣公園設置

年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
平成 5 年	・本庁完全週休２日制実施	・八幡市教育研究所開設 ・八幡第三小学校校舎大規模改造
平成 6 年		・八幡第三小学校校舎大規模改造 ・男山第二中学校校舎大規模改造
平成 7 年	・八幡市生涯学習推進計画策定 ・八幡市生涯学習推進実施計画策定	・学校週５日制実施（月２回） ・有都小学校校舎大規模改造 ・適応指導教室「エジソン広場」開設 ・病弱学級「たんぽぽ学級」開設 ・中央幼稚園休園
平成 8 年	・第３次八幡市総合計画を策定	・八幡第二小学校に「ことばの教室」開設 ・八幡幼稚園、八幡第三幼稚園３年保育試行実施
平成 9 年	・市制施行２０周年	・有都小学校体育館大規模改造 ・八幡幼稚園耐震補強・大規模改造 ・公立全幼稚園で３年制保育実施 ・都々城幼稚園、八幡第五幼稚園、八幡東幼稚園の３園休園 ・有智郷幼稚園を有都幼稚園に名称変更
平成 10 年	・第２次八幡市生涯学習推進実施計画策定 ・都市計画マスタープラン策定	・有都小学校（南棟）耐震補強・大規模改造 ・生涯学習センターの開設（旧男山文化ホール） ・ふるさと学習館の開設 ・八幡第二小学校コンピュータ教室設置 ・都々城幼稚園、中央幼稚園、八幡第五幼稚園、八幡東幼稚園の４園廃園 ・都々城市民センター解体工事
平成 11 年	・情報公開条例施行 ・みどりの基本計画策定	・有都小学校コンピュータ教室設置 ・中央小学校(北棟)耐震補強・大規模改造 ・八幡第四幼稚園大規模改修 ・八幡第四小学校、八幡第五小学校、南山小学校コンピュータ教室設置 ・橋本公民館バリアフリー整備工事
平成 12 年	・介護保険制度スタート ・地方分権推進一括法施行	・中央小学校コンピュータ教室設置 ・中央小学校（南棟）耐震補強・大規模改造 ・八幡第四幼稚園大規模改修 ・八幡小学校、八幡第三小学校、橋本小学校、八幡東小学校コンピュータ教室設置 ・男山公民館、男山児童センター大規模改修 ・市内全小学校自校炊飯開始
平成 13 年	・男女共同参画プランの策定 ・男山散策路「せせらぎルート」完成 ・八幡市環境基本計画の策定 ・個人情報保護条例の施行 ・行財政検討審議会の設置	・中央小学校校舎大規模改造 ・八幡第四小学校校舎改造 ・橋本幼稚園園舎増築 ・市内全中学校コンピュータ教室機器等更新 ・市民交流センター開設 ・小学校(八幡第二小、橋本小、有都小、八幡東小)の夏休みプール開放実施
平成 14 年	・八幡市環境自治体宣言 ・松花堂美術館オープン ・四季彩館オープン ・市制施行２５周年 ・市の花木に「つばき」を制定 ・第二京阪国道一部開通	・学校週５日制完全実施 ・美濃山小学校開校 ・美濃山コミュニティセンター開設 ・全小、中学校校内ＬＡＮ整備 ・八幡第四小学校校舎改造
平成 15 年	・八幡市環境マネジメントシステム運用開始 ・京都第二外環状道路一部開通 ・御幸橋(宇治川)架替	・中央小学校体育館耐震補強・大規模改造、プール改修 ・有智郷市民センター解体
平成 16 年	・有都福祉交流センターオープン	・八幡市立市民図書館に教科書センター開設 ・男山第三中学校耐震補強・トイレ改修 ・橋本幼稚園園舎増築
平成 17 年	・コミュニティバスやわた運行開始 ・八幡市危機管理基本マニュアルを策定	・八幡市文化芸術振興条例制定(府内初) ・男山第二中学校体育館耐震補強 ・学校安全対策整備(カメラ付インターホン設置)

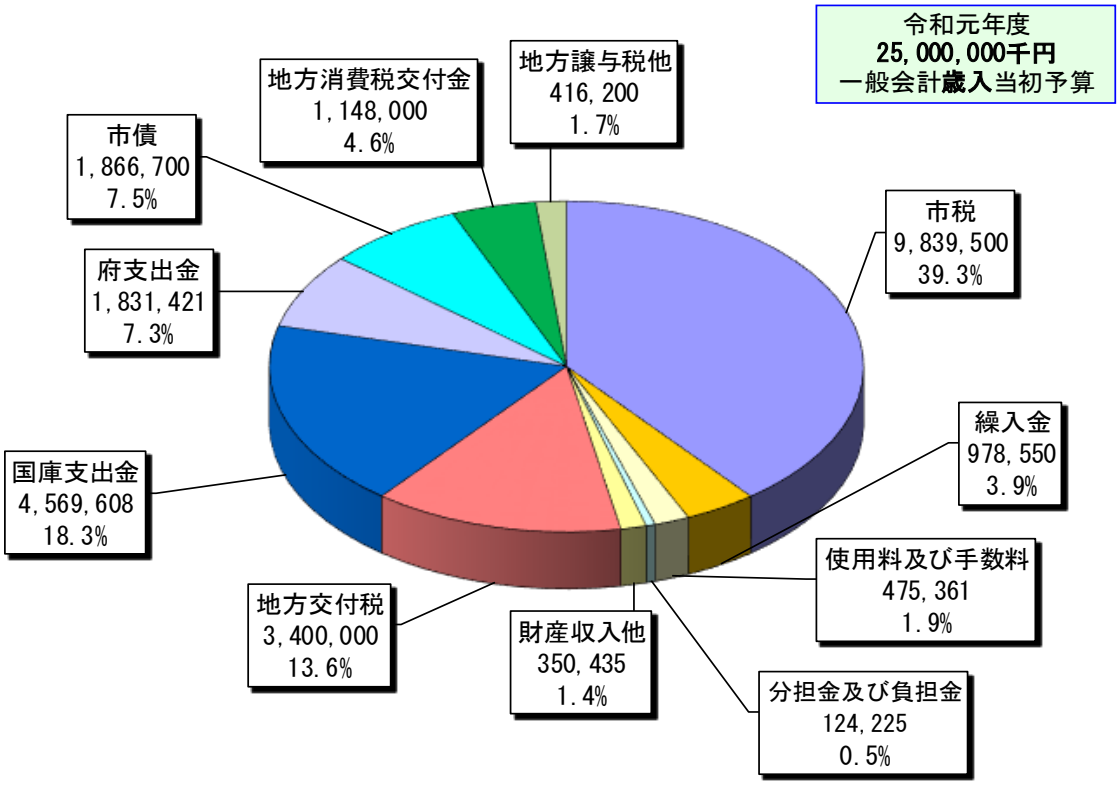
年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
平成 18 年	・地域包括支援センター設置 ・美しいまちづくりに関する条例施行 ・人権のまちづくり推進計画を策定 ・第４次八幡市総合計画を策定	・学校再編整備計画を策定 ・小学校統合推進協議会設置 ・学校改革プラン策定 ・中学校読み書き計算モジュール学習開始 ・中学校昼食サポート制度試行 ・学校前・後期制開始 ・八幡市民センター解体
平成 19 年	・第二京阪道路の側道部が開通 ・くすのき保育園を民営化 ・助役廃止、副市長を配置 ・地域活動支援センター「やまびこ」開設 ・収入役廃止、会計管理者配置 ・市制施行３０周年	・中学校昼食サポート制度本格実施 ・府立京都八幡高等学校開校 ・教育施設における通勤用自動車駐車許可制度開始 ・ゲーム機を使っての英単語モジュール学習開始 ・八幡第三小学校「小学生クラス対抗３０人３１脚全国大会」３位入賞
平成 20 年	・八幡市環境マネジメントシステムLAS-E第２ステージ全部門合格（全国初） ・新市長に明田功氏 ・後期高齢者医療制度スタート ・八幡市地域福祉計画を策定 ・市税をコンビエンスストアで納付可能に ・「やわたご意見たまて箱」設置	・八幡小学校と八幡東小学校を統合し、新生「八幡小学校」開校 ・八幡第三小学校と八幡第五小学校を統合し「さくら小学校」開校 ・八幡小学校（北棟南棟・体育館）耐震補強・大規模改造 ・八幡第三小学校耐震補強・大規模改造 ・美濃山小学校校舎増築 ・京都八幡高校レスリング部全国大会初優勝 ・有都小学校が「京都府学校給食優良学校」表彰
平成 21 年	・市ホームページ刷新 ・定額給付金全世帯に支給（合わせて、子育て応援特別手当支給） ・市男女共同参画推進条例施行 ・市住宅基本計画策定 ・広域連合「京都地方税機構」スタート	・石清水八幡宮摂社が京都府指定文化財に指定 ・八幡小学校（管理棟、給食棟）耐震補強・大規模改造 ・八幡第二小学校・橋本小学校・南山小学校プール改修 ・男山第二中学校（南棟）耐震補強・大規模改造 ・有都幼稚園大規模改造 ・八幡南山備前遺跡から大型竪穴住居跡発見 ・「やわた放課後学習クラブ」開始
平成 22 年	・市内公共施設の予約・空き情報閲覧がインターネットで可能に ・第二京阪道路全線開通 ・やわた流れ橋交流プラザにレストラン「八幡家」がオープン ・八幡市バリアフリー基本構想を作成 ・一般廃棄物処理基本計画を策定 ・新木津川大橋開通 ・八幡市次世代育成支援行動計画（後期計画）策定 ・子ども手当制度開始 ・木津川御幸橋架け替え工事終了、開通 ・ファミリーサポートセンター開設	・美濃山の女谷・荒坂横穴群から横穴８基と副葬品発見 ・旧八幡第二小学校と旧八幡第四小学校を統合し「くすのき小学校」開校 ・文化財保護課を新設し、ふるさと学習館に移転 ・石清水八幡宮境内で大塔跡及び瀧本坊跡等発見 ・国民文化祭プレ事業「おやじたちのコンサート」開催 ・男山第二中学校（中・北棟）耐震補強・大規模改造 ・くすのき小学校耐震補強・大規模改造 ・橋本小学校耐震補強・大規模改造、南棟増築 ・有都小学校（北棟）耐震補強・大規模改造、（南棟）大規模改造、プール改修 ・男山、男山第三中学校太陽光発電整備 ・男山、男山第三、男山東中学校空調設備整備
平成 23 年	・市初の官民協働事業による「やわた事典」刊行 ・八幡市地産地消推進計画を策定 ・国民健康保険被保険者証をカード化 ・第５次行財政改革実施計画を策定 ・東日本大震災救援活動に市職員派遣 ・地上アナログテレビ放送終了 ・市公共施設における受動喫煙防止対策実施 ・特産品開発「京・やわたブランド」誕生	・橋本小学校・くすのき小学校耐震補強・大規模改造 ・八幡第二、八幡第三幼稚園耐震補強・大規模改造 ・男山第二中学校・男山東中学校太陽光発電整備 ・男山第二中学校空調設備整備 ・有都小学校プール改修完了 ・南山小学校区から通学する中学校を「男山東中学校」から「男山第二中学校」に変更 ・「放課後学習クラブ」全小学校に拡充 ・国民文化祭・京都２０１１「おやじたちのコンサート」「松花堂昭乗展」開催 ・全小・中学校の耐震補強完了
平成 24 年	・新市長に堀口文昭氏 ・第２次八幡市環境基本計画を策定 ・八幡市高齢者健康福祉計画・介護保険事業計画（第５期）を策定 ・やわた流れ橋交流プラザ四季彩館１０周年 ・福祉避難所として７施設協定締結 ・第４次八幡市総合計画後期基本計画を策定 ・戦後２番目記録的豪雨で土砂崩れや浸水被害 ・市制施行３５周年	・石清水八幡宮境内国史跡指定 ・八幡市子どもの読書活動推進計画（第２次推進計画）を策定 ・「昭乗広場」完成 ・中村家住宅が八幡市初の国登録有形文化財指定 ・京都府学校給食放射性物質モニタリング検査実施 ・子どもやわたものしり博士検定実施 ・男山第三中学校（南棟）大規模改造 ・橋本幼稚園耐震補強・大規模改造

年 (1 月～12 月)	事　　項	
	行　政　等　の　概　要	学　校　等　の　概　要
平成 25 年	・市公共施設活用検討委員会設置 ・青色回転灯とステッカー取り付けて防犯パトロール車として運用開始 ・犯罪被害者等支援の連携協定を締結 ・市地域福祉推進計画を策定 ・台風１８号で大雨特別警報発令、市内各所で浸水被害 ・男山地域まちづくり連携協定締結	・有都こども園認可 ・男山公民館・橋本公民館の耐震補強・大規模改造 ・八幡第四幼稚園耐震補強・大規模改造 ・男山第三中学校（体育館、中棟、北棟）大規模改造 ・男山東中学校体育館大規模改造 ・草庵「松花堂」改修及び内園整備工事等 ・ふるさと学習館及び文化財保護課が旧八幡東小学校北校舎に移転 ・今井教育長退任、新教育長に谷口正弘氏 ・男山三中椹木亜美さん中学陸上競技選手権女子走幅跳全国優勝 ・中央小学校・南山小学校・男山第二中学校・男山東中学校の防災機能強化 ・全小学校の通報システム整備
平成 26 年	・健康マイレージ事業開始 ・八幡市住宅基本計画（後期計画）策定 ・男山地域再生基本計画策定 ・登録型本人通知制度実施 ・市福祉総務課・保護課が第二分庁舎に移転 ・病児保育事業開始	・松花堂及び書院庭園国の名勝に指定 ・志水公民館大規模改造 ・市内幼稚園・小学校の空調設備整備 ・八幡・くすのき・さくら・橋本・有都・美濃山各小学校及び男山第三中学校の防災機能強化 ・八幡小プール改修工事 ・男山第三中学校武道場大規模改造 ・男山東中学校トイレ大規模改造 ・男山スタディサポート事業開始 ・男山スタディサポートに伴う(旧八幡市教育研究所)改修 ・文化センター空調設備改修・大ホール天井耐震化 ・八幡市いじめ防止基本方針の策定
平成 27 年	・八幡市子ども・子育て支援事業計画策定 ・子育て拠点施設「すくすくの杜」開館 ・高品質てん茶の産地・八幡市～流れ橋周辺に広がる浜茶の景観～の京都府景観資産登録 ・流れ橋と上津屋の浜茶の文化庁日本遺産認定 ・「京都一安全安心・自然と歴史文化が調和する八幡市民ぐるみ推進運動」京都府警察本部と協定締結 ・マイナンバー通知カード送付	・八幡市いじめ防止対策委員会設置 ・八幡市総合教育会議設置 ・八幡市民図書館大規模改造 ・山柴公民館大規模改造 ・「石清水八幡宮本社１０棟」国文化審議会が国宝指定の答申
平成 28 年	・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律施行 ・公職選挙法改正により選挙権年齢を満１８歳以上に引き下げ ・八幡市子ども条例制定	・八幡市教育大綱の策定 ・男山中学校大規模改造（北校舎） ・川口コミュニティセンター大規模改造 ・南ヶ丘教育集会所大規模改造 ・中学校給食開始に伴う給食室等改修（中央小学校） ・石清水八幡宮本社１０棟の国宝指定
平成 29 年	・さくらであい館オープン ・第２次八幡市人権のまちづくり推進計画策定 ・第２次八幡市環境基本計画中間見直し版策定 ・やわたスマートウェルネスシティ構想策定 ・新名神高速道路(城陽ー八幡京田辺間)開通 ・八幡市駅前整備等観光まちづくり構想策定 ・市制施行４０周年	・中学校給食開始 ・中学校給食開始に伴う給食室等改修（くすのき小学校、有都小学校） ・男山中学校大規模改造（南校舎・武道場・体育館） ・男山中学校エレベーター設備等整備 ・スタディサポート事業開始 ・徒然草エッセイ大賞創設
平成 30 年	・第５次八幡市総合計画策定 ・大阪北部地震により市内各所で被害 ・八幡市新庁舎整備基本計画策定 ・やわたスマートウェルネスシティ計画策定 ・都市計画マスタープラン策定	・南山小学校トイレ改修 ・有都小学校無線 LAN 環境整備

１０　八幡市の財政

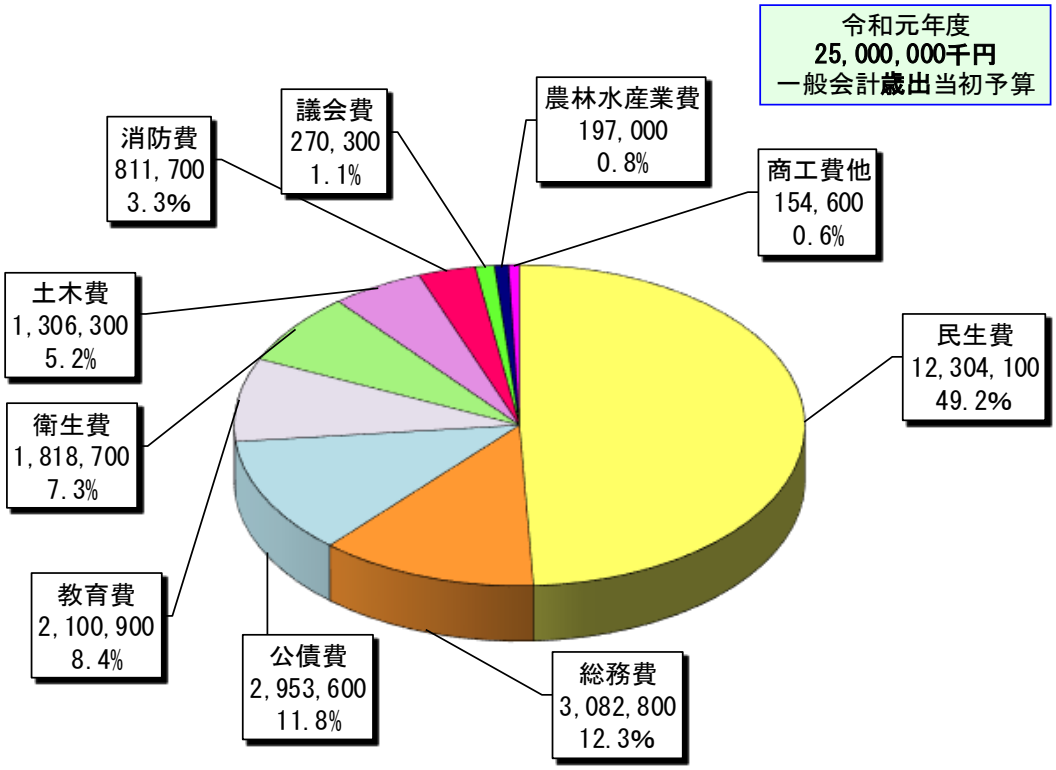
令和元年度一般会計歳入当初予算

（単位：千円）



令和元年度一般会計歳出当初予算

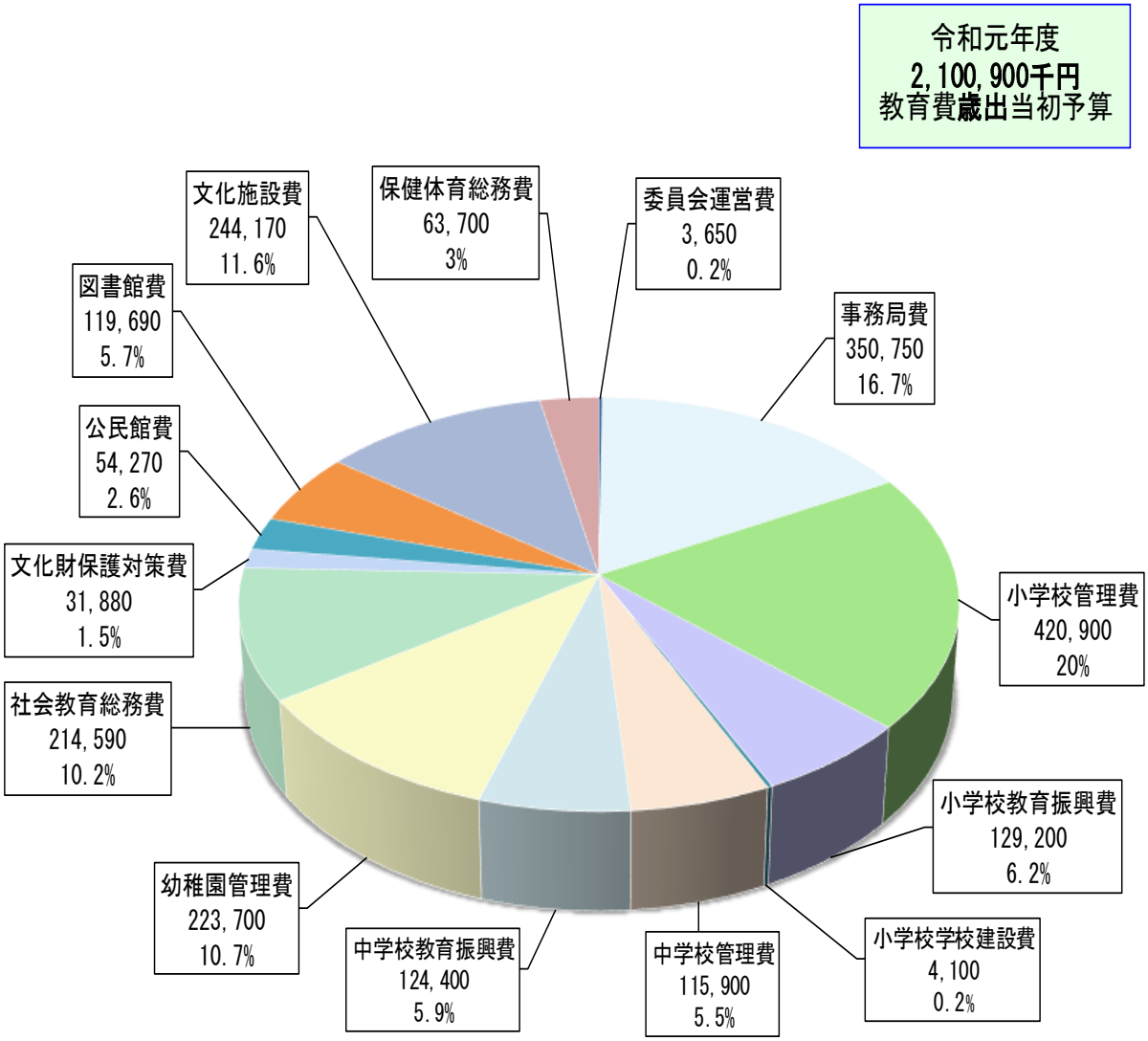
（単位：千円）



１１　八幡市の教育財政

令和元年度教育費歳出当初予算

（単位：千円）



第２節　学　校　教　育

１　学校教育の方針と目標

魅力ある学校づくりにより、質の高い学力をはぐくむ

～学校ＵＤ化構想の推進～

・一人一人の子どもの成長過程を大切にする

「学校ＵＤ化（ユニバーサルデザイン化）構想」の推進

・学力の向上を目指す効率的で効果的な取組と

ＩＣＴ（情報通信技術）を活用したｅスクール構想の推進

１　魅力ある学校・園づくり

（１）「確かな学力」「楽しい学校・園」「地域に支えられる学校・園」をキーワードに一人一人の子どもが、安心感や存在感をもって学校・園生活を送ることができる魅力ある元気な学校・園づくりを進める。

（２）教育の「かたち（体制・仕組）」と「きもち（発想・意識）」を変え、「まなび」を変えることによって、学校・園が幼児児童生徒にとって楽しい学びの場となるように努める。また、学校・園運営や教育方法などを積極的に改善し、教育効果のある学校・園づくりを進める。

（３）各学校・園においては、地域の自然や文化・人材などの資源を積極的に活用し、教育活動全体との関連のもと、学校・園の創意工夫による特色ある教育活動を展開できるようカリキュラム・マネジメントを進める。

（４）学校関係者評価や学校支援地域本部事業、学校支援協議会を活用し、家庭や地域に支えられる、開かれた学校・園づくりを推進する。

２　質の高い学力をはぐくむ

（１）基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を通して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の資質や能力の育成に努める。

（２）各種の調査などを活用し、児童生徒の学習状況を的確に把握するとともに、指導と評価の一体化を図り、個に応じたきめ細かな指導を行う。

（３）児童生徒の学力の向上を図るため、効率的で効果的な新しい指導方法を開発し、着実に結果を出していく取組とＩＣＴを活用したｅスクール構想を推進する。

（４）モジュール学習、少人数指導や複数の教員による指導等のよさをいかした授業など、本市で蓄積された実践を活用し、創意性を発揮して指導方法の工夫改善を進める。

（５）自学自習の確立を目指し、児童生徒にＰ（計画）Ｄ（実行）Ｃ（評価）Ａ（改善）のサイクルによる学習方法を身に付けさせるとともに、教育情報を家庭と学校で共有し、家庭と連携した学習習慣の定着に向けた取組を進める。

（６）「総合的な学習の時間」では、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにし、探究的な学習に主体的、協働的に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を育成する。

（７）読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、「八幡市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」を踏まえつつ、司書教諭及び学校図書館司書を中核として、すべての教職員が連携して、読書意欲の向上や読書習慣の形成などに努める。また、学校図書館を読書センター及び学習・情報センターとして位置付け、充実に努める。

（８）特別活動では、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、お互いのよさや可能性を発揮しながら課題を解決することを通して、集団活動の意義を理解し、行動の仕方を身に付け、課題解決のための合意形成や意思決定することができ、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を育成する。

３　校種間連携教育

（１）保幼小・小中・中高の校種間の連携を積極的に推進し、ガイダンス教育を適切に位置付け、校種間のスムーズな移行を図る。

（２）校種間連携のもと、学習意欲の向上や言語活動の充実を基盤として、学力の充実・向上を目指す取組を組織的に推進するとともに、小中高連携における教科研究の充実を図る。

（３）取組の成果を踏まえ、各学校・園間の連絡・調整を積極的に進め、持続可能で一体的な指導のできる「保幼小連携教育」及び「小中一貫教育」の体制づくりに努める。

（４）小中一貫教育については、９年間を見通した系統的・継続的な学習指導・生徒指導の多様な実践を積極的に行い、実証的なカリキュラムの作成に取り組む。

４　特別支援教育

（１）「障害者の権利に関する条約」に基づくインクルーシブ教育の理念および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を踏まえ、障がいにより教育上特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育課程を編成、実施するとともに合理的配慮に留意し、自立し社会参加する資質や能力を育てる。

（２）幼児・児童・生徒の障がいのある人への正しい理解及び特別支援教育についての認識を深める指導を充実する。

（３）交流及び共同学習を教育活動全体に位置付け、計画的・継続的に推進するとともに、特別支援教育について保護者や地域社会の理解と認識を深めるための啓発に努める。

（４）校・園内委員会や特別支援教育コーディネーターを機能的に活用するなど、障がいにより教育上特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒の個別の指導計画や教育支援計画等を作成し、学校・園全体として支援する校・園内体制の充実に努める。

（５）府立八幡支援学校との連携を図り、地域における特別支援教育のセンターとしての機能を活用し、特別支援教育の充実に努める。

５　幼稚園教育

（１）幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であることから、計画的に環境を構成し、柔軟性のある保育形態を取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、保育内容の充実を図る。

（２）自然とのかかわりや体験活動を積極的に取り入れ、感性や思考力の芽生えを培うとともに体力の向上を促す取組を行う。

（３）絵本や物語などに親しむ活動を通して、豊かな心情をはぐくみ、言語能力や表現力を育てる保育活動を展開する。

（４）様々な人とのかかわりの中で、他人の存在に気付き、人に対する信頼感や思いやりの気持ちなど、基本的人権尊重の芽生えをはぐくむ教育を充実させるとともに、社会生活上のルールや道徳性などの基礎を身に付けるように援助する。

（５）保護者の多様な価値観や育児不安に適切に対応するとともに、子どもの基本的な生活習慣の確立を図るために、家庭との連携を深める。また、地域全体の子育て支援に努める。

安心、安全な学校で、豊かな人間性、しなやかな身体をはぐくむ

- 望ましい友だち関係、主体的な規律ある生活の確立
- 不登校・いじめの解消に向けた総合的な取組の推進
- 自ら健康な生活を営む、たくましい実践力の育成
- 生涯を通じて体育・スポーツ・芸術文化活動に親しむ能力・態度の育成

１　生徒指導

（１）よりよい人格形成を促すために、教職員と児童生徒との深い信頼関係を基盤として、児童生徒の理解に努め、生徒指導の機能を生かしたきめ細かな指導と、適切な教育相談を行う。

（２）特別活動を充実し、多様な自然体験活動や社会奉仕体験活動を通して、豊かでたくましい心の育成と、存在感や充実感のある学校生活を送らせるための積極的な指導を進める。

（３）学校や社会における規範遵守の意義や重要性について、日常的な指導や学級活動・道徳などの時間において繰り返し指導を行って、児童生徒の規範意識の向上を図る。

（４）校・園長を中心として全教職員の一致した指導体制を確立し、幼小中高の連携はもとより、家庭や地域社会並びに関係諸機関との連携を図り、互いに協力して青少年の健全育成の観点に立って指導を行う。

（５）子どもたちの生活改善を図るために、生活リズムの確立に向けて、「早寝早起き朝ごはん」運動を推進する。

２　不登校・いじめ・虐待への対応

（１）不登校については、未然防止に努めるとともに、そのきっかけや状況を保幼小中の連携を通して把握し、適切な指導・支援を行う。また、スクールカウンセラーや教育支援センターなどの相談機関や家庭との緊密な連携を図り、その解決に向けたねばり強い取組を推進する。

（２）いじめ問題については、八幡市いじめ防止基本方針に基づき、八幡市いじめ防止対策委員会を設置し、実効力ある対策を推進する。各校は自校のいじめ防止基本方針に基づき、家庭及び関係諸機関と連携を深め、日常的な児童生徒の内面理解ときめ細かな指導を通して、早期発見・早期解決に努める。また、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係の育成に努める。

（３）「ネット上のいじめ」等の問題については、関係諸機関と連携した迅速かつ適切な対応を図るとともに、情報モラルについての指導を進める。

（４）児童虐待の防止と早期発見に努めるとともに、家庭及び関係諸機関と連携し、必要な支援を継続して行う。

３　芸術文化

（１）豊かな感性と生涯にわたって芸術を愛好する心情をはぐくむために、児童生徒の芸術文化活動を支援し、表現能力や鑑賞能力を伸ばすように努める。

（２）教育活動の中で、ふるさと学習や伝統文化を学ぶ機会を拡充し、ふるさとに対する愛着と豊かな人間性をもち、将来の八幡を担う市民性の育成を図る。

４　体育・スポーツ活動

（１）健やかな身体をはぐくむために、体育・スポーツ活動を、教育活動全体を通じて適切に行い、教員の指導力の向上、優れた指導者の確保、運動部活動の改善等特色ある学校体育の充実を図る。また、運動することの楽しさや喜びを体験させ、生涯にわたって体育・スポーツ活動に親しむ能力や態度を育てる。

（２）新体力テストの結果をもとに、自己の体力について理解させ、学校段階の接続及び発達の段階に応じつつ、各校の実態に即した取組により、子どもの体力や運動能力を上昇させることを目標として、積極的に体力・運動能力の向上を図る。

（３）小学校などにおける「運動遊びガイドブック」や「京のこども元気なからだスタンダード」を活用して、児童生徒の体力向上の取組を推進する。

一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし、社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

・一人一人が人権を尊重し合い、

共に生きる社会の実現を目指す教育の推進

・心身とも健康で、自己の将来に夢と希望をもつことのできる教育の推進

１　「ユニバーサルデザイン系」学習

～　ユニバーサルデザイン教育　～

（１）一人一人がかけがえのない存在として認め合い、共に生きる社会の実現を目指し、「ＵＤを学ぶ」「ＵＤで学ぶ」「ＵＤに学ぶ」学習を推進する。

～　人権・同和教育　～

（１）「部落差別の解消の推進に関する法律」等差別のない社会の実現をめざした法律、「京都府人権教育・啓発推進計画（第２次）」、「八幡市人権のまちづくり推進計画」を踏まえ、地域や学校の実態を十分考慮した人権教育推進計画を策定する。人権教育の推進に当たっては、同和教育の中で積み上げられてきた成果と手法への評価を踏まえ、すべての人の基本的人権を尊重する心をはぐくむとともに、同和問題を人権教育の重要な柱として位置付け、あらゆる人権侵害の解決に向けて実践する態度を育成する。

（２）児童生徒の学力の充実、進路保障を最重点課題として位置付け、個々の課題やニーズに応じた具体的な学習支援の方策を確立し、きめ細かな指導を進める。

（３）人権・同和問題学習について、校種間の連携を強化し、「人権学習資料集」等を活用し、普遍的な視点からのアプローチと個別的な視点からのアプローチにより、児童生徒の理解や認識の状況及び地域の実態を踏まえながら、学習内容や指導方法の改善・充実に努める。

（４）同和問題など様々な人権侵害の問題の解決を目指す総合的な取組を推進するため、社会教育や関係諸機関との連携を深める。

（５）人権・同和教育に係る研修を日常的・系統的に進め、鋭い人権感覚を養うとともに、人権尊重を踏まえた教育活動を推進していくための認識の深化と指導力の向上に努める。

～　道徳教育　～

（１）道徳の教科化を踏まえた道徳教育を推進する校内体制を整備し、全体計画や年間指導計画、指導方法の工夫改善を行うとともに、すべての教職員が協力して道徳教育を展開する。

（２）生命を大切にし、他人を思いやることのできる豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の要として、児童生徒の実態を考慮しながら、教育活動全体を通じて道徳性を養うよう努める。

（３）ボランティア活動などの社会奉仕体験活動、自然体験活動などの豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを積極的に展開し、児童生徒の道徳性を育てる。

（４）特別の教科　道徳では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、問題解決的な学習、体験的な学習等指導方法を工夫し、自己を見つめ物事を多面的・多角的に考え、道徳的な判断力、心情、実践的意欲と態度を育てる。

（５）授業公開や豊かな心をはぐくむ資料の活用等を通して、学校における道徳教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。

（６）児童生徒の日々の生活実態を常に把握するとともに、家庭や地域との連携を図り、好ましい人間関係、豊かな感性や社会性・公共性などを培う環境づくりに努める。

～　環境教育　～

（１）「八幡市環境自治体宣言」「環境方針（環境改善への決意）」や「八幡市環境マネジメントシステム」など本市の環境に対する取組への理解を図り、ゴミの減量・分別・リサイクル・省エネなど、学校における具体的な取組を通して環境教育の推進に努める。

（２）各教科などの指導においては、体験的な学習を積極的に取り入れ、生態系や自然・社会の事象についての興味・関心を高め、理解を深めるとともに、環境に対する豊かな感受性の育成に努める。

（３）自然調和型社会、低炭素社会及び資源循環型社会を目指し、家庭、地域社会、関係諸機関との連携を図り、それぞれの教育機能をいかした環境教育の推進に努める。また、地球環境問題に関する関心を高める。

～シティズンシップ教育～

（１）シティズンシップ教育を通して、法やルールについて理解し、個人としての権利と義務を行使し、自己実現を図る。また、社会の意思決定や運営の過程において、人や社会と積極的に関わろうとする資質を育成する。

２　「キャリア系」学習

～　キャリア教育　～

（１）児童生徒一人一人が自分のよさに気付き、将来への希望を持ち、目的意識を高め、キャリア教育を通して、望ましい職業観や勤労観を身に付けられるように指導する。また、個性や能力の伸長に努め、生涯にわたって心豊かにたくましく生きていくために、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。

（２）勤労体験や職場体験・見学などの活動を通して啓発的経験を充実させるとともに、組織的・系統的なキャリア教育を積極的に推進する。

～　健康安全教育　～

（１）児童生徒が健康・安全で活力ある生活を営むために必要な資質や能力を育成し、心身の調和的な発達を図る。そのため、学校においては、家庭や地域社会、関係諸機関と連携を図りながら、適切な健康安全に関する活動の実践を促し、児童生徒の発達段階を考慮して、健康安全教育を組織的、計画的に推進する。

（２）学校における食育を推進するため、食に関する指導計画に基づき、教科横断的な指導を行うとともに、生きた教材としての学校給食に地場産物の活用を推進し、その充実を図る。

（３）心身の成長発達に関して、適切に理解し行動することができるよう教科等との関連を図りながら発達段階を考慮して指導するとともに、家庭の理解を得ることに配慮する。

（４）防災教育、ＣＡＰ研修などを通して、身の回りの危険に気付き正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と態度を育成すると共に自分の身は自分で守る習慣をつける。

（５）学校における児童生徒の安全確保を図るため、施設・設備の安全点検、安全指導及び教職員研修等に関する学校安全計画を策定・実施する。また、地域社会の協力を得つつ、学校独自の「危機管理マニュアル」の検証と改善に努める。

（６）薬物乱用の有害性・危険性について正しい知識を児童生徒に習得させ、薬物乱用の根絶に向けた規範意識の向上に努める。

３　「情報コミュニケーション系」学習

～　情報教育　～

（１）「教育の情報化加速化プラン」を踏まえ、学校教育全体を通して、児童生徒の発達段階に応じ、情報を主体的に選択し、活用できる能力や情報社会に参画する態度などの情報活用能力の育成に努める。

（２）情報の価値についての認識を高めるとともに、ネット上でのコミュニケーション、プライバシーの保護や著作権など基礎的な情報モラルやマナーに関する指導の充実を図る。

（３）コンピュータや情報通信ネットワークなどのＩＣＴを積極的に活用して、児童生徒の興味・関心に応じた主体的な学習を展開するなど、指導方法の改善に努め、学力の向上を図る。

（４）教育情報通信ネットワークと校内ＬＡＮや地域イントラネットなどを活用して教育情報の共有化を図り、教育情報資源として広く活用できる取組を進める。

～　国際理解教育　～

（１）国際社会に生きる日本人の育成という観点に立ち、人権尊重の精神を基盤として、我が国の文化と伝統などを尊重するとともに、異文化を理解し尊重する態度や異なる文化をもった人々と共に生きていく資質や能力を育成する。

（２）小学校においては外国語活動等による中学校との連携を意識したコミュニケーション能力の育成に努める。中学校においては外国語等による小学校・高等学校等との連携を意識したコミュニケーション能力の育成に努める。

（３）外国人児童生徒や海外から帰国した児童生徒について、学校生活への適応を図るとともに、外国での生活習慣や生活経験の特性をいかすなど、適切な指導に努める。

（４）わが国の国旗・国歌の意義を理解し、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗・国歌も同様に尊重する態度を育てる。

教職員の資質能力の向上

・子どもの“夢”と“志”をはぐくむ、魅力ある教職員の育成
・社会のニーズに対応できる教職員の育成
・“カリキュラム・デザイナー”としての資質をもつ教職員の育成
・積極的にボランティア活動を推進する教職員の育成
・高い人権意識・倫理観をもち、自分の仕事の“質”に対して誇りと責任をもつ教職員の育成

1　教職員の使命と責任

（１）校長は、教育目標達成のため、自校の課題に応じた年間研修計画を策定する。また、教職員の研修と研修成果の発表を積極的に推進し、魅力ある教職員の育成及び学校の教育力の向上に努めるとともに、教職員の心身の健康管理に留意し、働きがいのある学校経営に努める。

（２）教職員は、社会の変化や時代のニーズを踏まえ、研修講座や研究指定校等の研究成果を積極的に活用し、校内研修や教育実践にいかして、意欲的に指導力の向上を図る。また、常に自らの健康に留意し、自己研修、人格の陶冶に励み、高い人権意識・倫理観を養う。

（３）教職員は、子どもたちや地域の実情を踏まえ、“カリキュラム・デザイナー”として企画力を発揮し、創意工夫を凝らした教育活動を展開できるように努める。

（４）教職員は、ボランティア活動などの社会奉仕体験活動を積極的に行うなど広く社会とかかわり、学校内外を問わず、幅広い人間関係を築くことによって、自己の人間性をより豊かにするように努める。

（５）教職員は、児童生徒や保護者の教育的ニーズを的確に把握し適切に対応するとともに、教職員相互の連携・協働体制の確立を図り、組織としての学校の教育力を高めるように努める。

（６）教職員は、学校の教育目標を達成するため学校経営方針により一人一人が、自分の仕事の“質”に対する誇りと責任を自覚し、教育活動を展開する。さらに教職員評価制度を活用して、資質向上に努め、児童生徒・保護者・地域の人々から信頼される教職員を目指し、確かな教育実践を通して、公教育の推進を図る。

（７）教職員は、「学校災害対応マニュアル」に基づき、災害発生時の児童生徒の生命、身体の安全確保に努める。

令和元年5月1日現在

学校名	開設年度	新増改築年度			校舎等 ㎡						屋内運動場 ㎡					校地面積 ㎡						プール			
		新築移転を含む	増築	大規模改造	校舎 保有面積 R造	校舎 保有面積 S造	校舎 借用面積 R造	校舎 借用面積 S造	校舎 合計	給食室	格技場	体育館 保有面積	体育館 借用面積	体育館 計	合計	保有面積 建物敷地	保有面積 運動場	保有面積 その他	保有面積 計	借用面積	合計	水面積 ㎡	規格 大プール m	規格 小プール m	附属室 ㎡
八幡小学校	M6	S42	S43.44.45.46.47.52.53	H19-H21	5,300	178	0	0	5,478	218	—	836	0	836	836	13,600	8,400	0	22,000	220	22,220	399	25×14	7×7	17
くすのき小学校	S47	(立) S46	S47.48.H3	H21-H22	5,367	210	0	0	5,577	408	—	798	0	798	798	9,481	8,405	2,067	19,953	0	19,953	420	25×14	10×7	74
さくら小学校	S49	(立) S48	S49.51.H6	H19	6,118	7	0	0	6,125	168	—	792	0	792	792	8,677	8,174	2,080	18,931	0	18,931	401	25×14	8.5×6	138
橋本小学校	S49	(立) S48	S53 H2.21.22	H21-H22	5,642	79	0	0	5,721	243	—	797	0	797	797	9,301	8,193	266	17,760	0	17,760	400	25×14	10×5	56
有都小学校	S50	(立) S49	S53.62.H7.9	H22-H23	3,628	124	0	0	3,752	253	—	645	0	645	645	8,993	8,416	0	17,409	0	17,409	400	25×14	10×5	55
中央小学校	S51	(立) S50	—	H11-H14	4,639	57	0	0	4,696	441	—	802	0	802	802	10,206	10,710	0	20,916	0	20,916	343	24.9×12	9.6×4.6	53
南山小学校	S62	(立) S62	H6	H21-H22	4,196	6	0	0	4,202	204	—	882	0	882	882	10,537	5,447	594	16,578	0	16,578	400	25×14	12.5×4	56
美濃山小学校	H14	(立) H13	H19	—	5,271	1,063	0	0	6,334	310	—	1,090	0	1,090	1,090	7,522	7,509	2,974	18,005	0	18,005	400	25×14	25×5	111
小学校計					40,161	1,724	0	0	41,885	2,245	—	6,642	0	6,642	6,642	78,317	65,254	7,981	151,552	220	151,772	3,163			560
男山中学校	S22	(立) S58	H29	H27-H29	7,360	35	0	0	7,395	—	430	999	0	999	1,429	12,089	15,478	0	27,567	0	27,567	—	—	—	—
男山第二中学校	S47	(立) S46	S48.49.50.53.57.58.62.H21	H21-H22	6,446	77	0	0	6,523	—	430	861	0	861	1,291	13,547	8,893	2,164	24,604	0	24,604	—	—	—	—
男山第三中学校	S50	(立) S49	S53.56.57.59	H24-H26	6,766	111	0	0	6,877	—	430	852	0	852	1,282	11,231	14,612	3,853	29,696	0	29,696	—	—	—	—
男山東中学校	S61	(立) S60	—	H25-H26	4,506	34	0	0	4,540	—	371	980	0	980	1,351	10,432	12,688	895	24,015	0	24,015	—	—	—	—
中学校計					25,078	257	0	0	25,335	—	1,661	3,692	0	3,692	5,353	47,299	51,671	6,912	105,882	0	105,882				
八幡幼稚園	S13	S46	S47.48	H9	957	5	0	0	962	—	—	—	0	0	0	1,500	1,915	0	3,415	88	3,503	—	—	—	—
八幡第二幼稚園(休園中)	S48	(立) S47	S48	H23	1,084	0	0	0	1,084	—	—	—	0	0	0	1,215	535	0	1,750	0	1,750	—	—	—	—
八幡第三幼稚園	S50	(立) S49	—	H23	1,155	0	0	0	1,155	—	—	—	0	0	0	1,144	1,482	0	2,626	0	2,626	—	—	—	—
八幡第四幼稚園	S52	(立) S51	H12	H24	1,209	0	0	0	1,209	—	—	—	0	0	0	1,290	1,039	0	2,329	0	2,329	—	—	—	—
橋本幼稚園	S49	S48	S54.H13.H17	H24	791	229	0	0	1,020	—	—	—	0	0	0	1,184	1,000	0	2,184	0	2,184	—	—	—	—
(有都こども園)	S32	S46	S51.H20	H21	663	212	0	0	875	—	—	—	0	0	0	1,689	400	0	2,089	0	2,089	20	—	5×4	—
幼稚園計					5,859	446	0	0	6,305	—	—	—	0	0	0	8,022	6,371	0	14,393	88	14,481				

(立)：立替施行　山城学校建設公社、住宅・都市整備公団(現・都市再生機構)、京阪電気鉄道㈱

(移)：新築移転

※　校舎保有面積には、ランチルームを含む。

幼稚園の園別、年齢別在籍者数・教員数(市独自数値)

令和元年5月1日現在

区分 / 園名	園数	市立教員数	総数		3歳		4歳		5歳	
			組数	園児数	組数	園児数	組数	園児数	組数	園児数
総数	5	38	17	273	6	72	6	96	5	105
八幡幼稚園		5	3	38	1	12	1	9	1	17
八幡第三幼稚園		5	3	37	1	9	1	15	1	13
八幡第四幼稚園		6	4	68	2	20	1	23	1	25
橋本幼稚園		5	3	56	1	12	1	18	1	26
(有都こども園)		17	4	74	1	19	2	31	1	24

参考 「京都市教育委員会への教育事務委託に係る児童生徒数」

令和元年5月1日現在

校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
美豆小学校	1	8	7	6	7	12	41
大淀中学校	6	5	8				19

※上記表の美豆小学校・大淀中学校(八幡市八幡長町、八幡樋ノ口及び川口高原地区)の学齢児童・生徒に係る教育に関する事務を、地方自治法第252条の2、同条の14、同条の15の規定に基づき、京都市教育委員会に委託しています。

小学校別、学年別在籍者数・教員数

令和元年5月1日現在

区分 / 校名	学校数	教員数	総数		1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年		特別支援学級	
			学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
総数	8	237	148	3598	19	510	21	594	21	592	21	610	20	572	23	624	23	96
八幡小学校		31	20	435	2	56	3	73	3	77	3	84	2	56	3	76	4	13
くすのき小学校		35	22	555	3	78	3	87	3	97	3	84	3	91	3	97	4	21
さくら小学校		24	17	400	2	62	2	62	2	68	3	77	2	53	3	65	3	13
橋本小学校		32	22	619	3	85	3	102	3	91	3	97	4	117	4	116	2	11
有都小学校		15	7	147	1	17	1	23	1	19	1	33	1	20	1	32	1	3
中央小学校		34	16	288	2	46	2	46	2	45	2	49	2	41	2	41	4	20
南山小学校		23	15	298	2	39	2	48	2	43	2	55	2	49	2	57	3	7
美濃山小学校		43	29	856	4	127	5	153	5	152	4	131	4	145	5	140	2	8

中学校別、学年別在籍者数・教員数

令和元年5月1日現在

区分 / 校名	学校数	教員数	総数		1学年		2学年		3学年		特別支援学級	
			学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	児童数
総数	4	139	57	1668	16	525	17	559	17	561	7	23
男山中学校		40	13	328	3	95	4	113	4	111	2	9
男山第二中学校		34	14	415	4	122	4	143	4	142	2	8
男山第三中学校		40	18	561	5	184	5	172	6	200	2	5
男山東中学校		25	12	364	4	124	4	131	3	108	1	1

4　学校（園）の所在地等

（令和元年 5月1日現在）

学校・園名	所在地	電話番号	校・園長名	教頭名
八幡小学校	八幡菖蒲池 12	981－3131	渡邊　眞弓	出島　望
くすのき小学校	男山金振 9	981－0108	羽野　豪	前野　あゆみ
さくら小学校	男山美桜 17	982－0608	松田　行生	田中　庄平
橋本小学校	橋本中ノ池尻 15-1	982－0606	櫛橋　卓仁	山口　雄弘
有都小学校	内里北ノ山 31	981－3143	鬼頭　宜孝	米田　正己
中央小学校	八幡小松 77	982－3312	北　和人	横山　達雄
南山小学校	八幡南山 7	983－2680	松岡　直也	井上　篤史
美濃山小学校	欽明台西 70	971－5117	内田　智子	寺川　裕一郎
男山中学校	八幡柿木垣内 18	981－3135	山﨑　高行	森田　浩行
男山第二中学校	男山石城 3	981－0191	笠原　直文	吉田　文彦
男山第三中学校	男山笹谷 3	982－8555	浅見　晶子	山下　信之
男山東中学校	内里砂畠 1-1	982－8880	森　淳	長谷川　郁子
八幡幼稚園	八幡今田 38	981－0180	津田　珠美	
八幡第二幼稚園	男山金振９	休園 (H31.4～)	休園 (H31.4～)	
八幡第三幼稚園	男山美桜 17	982－8566	西口　千鶴	
八幡第四幼稚園	男山松里 1	982－2447	加藤　敏美	
橋本幼稚園	橋本中ノ池尻 15-1	982－0607	三家本　富美子	
（有都こども園）	内里北ノ口 21-4	981－0873	辻　千奈美	

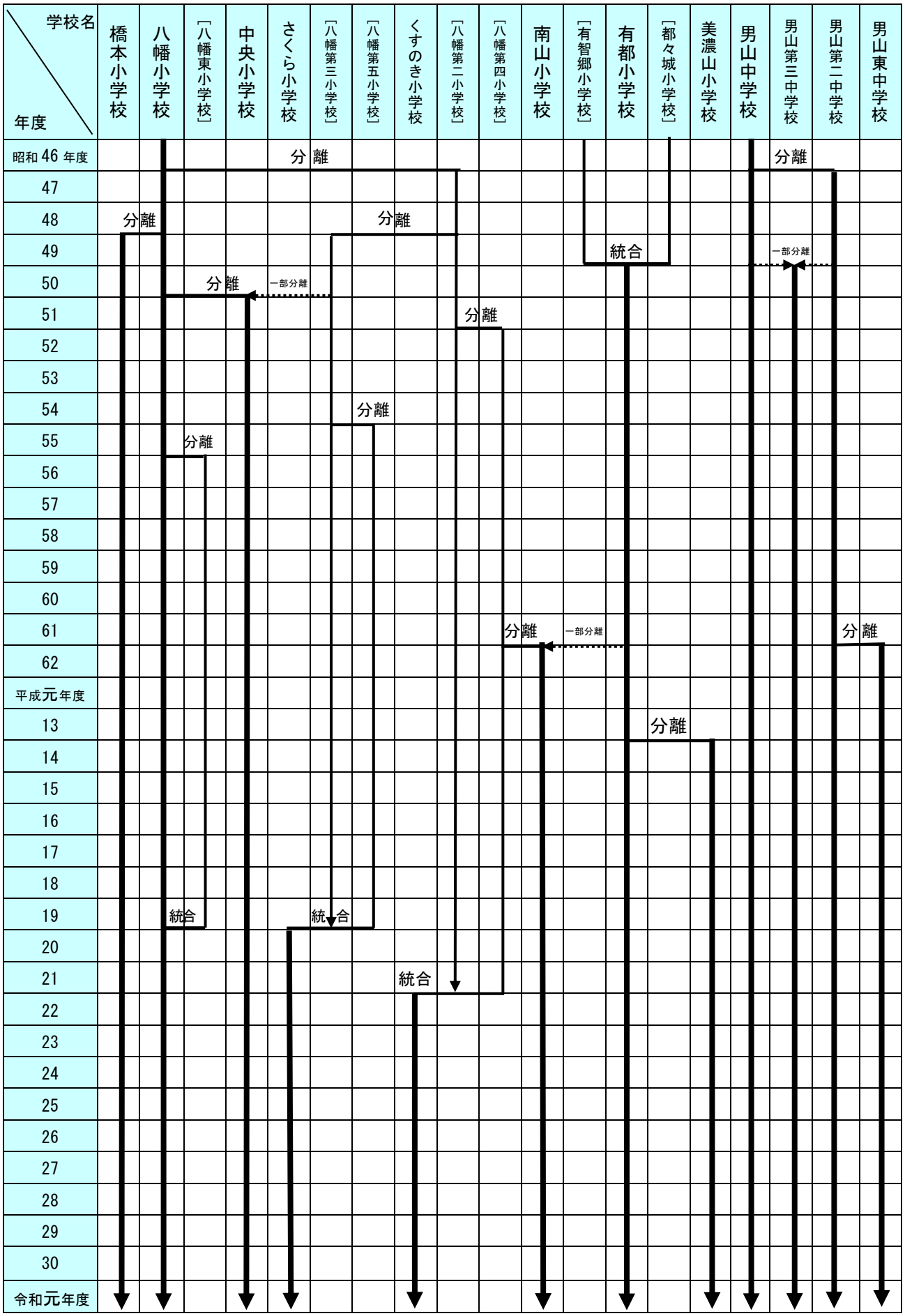
5　学校別使用教室数

（令和元年5月1日現在）

学校名	普通教室		特別教室																総面積
	教室数	面積 ㎡	理科	生活	音楽	図画工作	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	進路資料・指導	面積 ㎡	㎡
八幡小学校	20	1,329	2		2	1			1			1	1	4	1		1,098	2,427
くすのき小学校	22	1,408	2		2	1			1			1	1	2	1		1,121	2,529
さくら小学校	17	1,088	2	1	1	1			1			1	1	3	1		1,167	2,255
橋本小学校	22	1,448	2		2	1			1			1	1	2	1		996	2,444
有都小学校	7	451	1		1	1			1			1	1	3			976	1,427
中央小学校	16	1,022	1		1	1			1			1	1	2	3		993	2,015
南山小学校	15	919	2	1	2	1			1		1	1	1	2	1		1,130	2,049
美濃山小学校	29	1,977	1		1	1			1			1	1		1		891	2,868
小学校計	148	9,642	13	2	12	8			8		1	8	8	18	9		8,372	18,014
男山中学校	13	864	2		2		1	2	2			2	1	6	5	1	2,089	2,953
男山第二中学校	14	898	2		2		1	1	2			1	1	6	1	1	1,817	2,715
男山第三中学校	18	1,149	2		2		2	2	2		1	1	1	5	1	1	2,073	3,222
男山東中学校	13	788	2		1		1	1	1			1	1	1		1	1,168	1,956
中学校計	58	3,699	8		7		5	6	7	0	1	5	4	18	7	4	7,147	10,846
合計	**206**	**13,341**	**21**	**2**	**19**	**8**	**5**	**6**	**15**	**0**	**2**	**13**	**12**	**36**	**16**	**4**	**15,519**	**28,860**

※令和元年度公立学校施設台帳による。

６　小・中学校の設立と分離



7　学校(園)数、児童・生徒数の推移

（令和元年５月現在）

区分／年度	学校（園）数				園児・児童・生徒数					備考
	幼稚園（こども園）	小学校	中学校	計	幼稚園（こども園）	小学校	中学校	計	増加率（前年度比）	
昭和49年度	5	6	2	13	621	3,518	1,147	5,286	15.31	橋本幼・橋本小・八三小新設
50	6	5	3	14	774	4,120	1,291	6,185	17.01	男三中・八三幼新設、都々城小・有智郷小統合
51	6	6	3	15	821	5,008	1,446	7,275	17.62	中央小新設
52	8	7	3	18	877	5,685	1,661	8,223	13.03	八四小・八四幼・中央幼新設
53	8	7	3	18	969	6,467	1,931	9,367	13.91	
54	8	7	3	18	1,021	7,262	2,071	10,354	10.54	
55	9	8	3	20	984	7,865	2,283	11,132	7.51	八五小・八五幼新設
56	10	9	3	22	787	8,250	2,550	11,587	4.09	八東小・八東幼新設
57	10	9	3	22	703	8,606	2,924	12,233	5.58	
58	10	9	3	22	607	8,657	3,143	12,407	1.42	男山中移転
59	10	9	3	22	558	8,581	3,355	12,494	0.70	
60	10	9	3	22	447	8,405	3,563	12,415	△ 0.63	
61	10	9	4	23	871	8,034	3,811	12,716	2.42	男山東中新設
62	10	10	4	24	1,010	7,649	3,911	12,570	△ 1.15	全幼稚園二年制、南山小新設
63	10	10	4	24	1,015	7,127	3,933	12,075	△ 3.94	
平成元年度	10	10	4	24	875	6,733	3,758	11,366	△ 5.87	
2	10	10	4	24	778	6,524	3,573	10,875	△ 4.32	
3	10	10	4	24	757	6,195	3,347	10,299	△ 5.30	
4	10	10	4	24	653	5,994	3,150	9,797	△ 4.87	
5	10	10	4	24	571	5,837	2,961	9,369	△ 4.37	
6	10	10	4	24	504	5,620	2,739	8,863	△ 5.40	
7	10	10	4	24	438	5,332	2,601	8,371	△ 5.55	中央幼稚園休園
8	10	10	4	24	473	4,912	2,549	7,934	△ 5.22	八幡幼・八三幼三年制試行実施
9	10	10	4	23	567	4,591	2,438	7,596	△ 4.26	全幼稚園三年制、八五幼・都々城幼・八東幼の３園休園
10	10	10	4	23	613	4,332	2,378	7,323	△ 3.59	10/1　中央幼・八五幼・都々城幼・八東幼の4園廃園
11	6	10	4	20	625	4,013	2,249	6,887	△ 5.95	
12	6	10	4	20	637	3,870	2,153	6,660	△ 3.30	
13	6	10	4	20	602	3,773	2,067	6,442	△ 3.27	
14	6	11	4	21	593	3,790	1,862	6,245	△ 3.06	美濃山小新設
15	6	11	4	21	583	3,838	1,731	6,152	△ 1.49	
16	6	11	4	21	614	3,796	1,679	6,089	△ 1.02	
17	6	11	4	21	621	3,831	1,682	6,134	0.74	
18	6	11	4	21	612	3,869	1,691	6,172	0.62	
19	6	11	4	21	599	3,895	1,656	6,150	△ 0.36	H19年度→H20年度八幡小･八幡東小統合により「八幡小」、八幡第三小･八幡第五小統合により「さくら小」
20	6	9	4	19	575	3,979	1,673	6,227	1.24	
21	6	9	4	19	569	3,974	1,680	6,223	△ 0.06	H21年度→22年度八幡第二小･八幡第四小統合により「くすのき小」
22	6	8	4	18	549	4,006	1,697	6,252	0.47	
23	6	8	4	18	565	3,972	1,734	6,271	0.30	南山小学校区から通学する中学校を「男山東中学校」から「男山第二中学校」に変更
24	6	8	4	18	521	3,926	1,718	6,165	△ 1.69	
25	6	8	4	18	519	3,898	1,710	6,127	△ 0.62	有都こども園認可
26	6	8	4	18	476	3,815	1,744	6,035	△ 1.50	
27	6	8	4	18	510	3,783	1,732	6,025	△ 0.17	
28	6	8	4	18	406	3,757	1,753	5,916	△ 1.81	
29	6	8	4	18	345	3,704	1,699	5,748	△ 2.84	
30	6	8	4	18	294	3,693	1,724	5,711	△ 0.64	
令和元年度	5	8	4	17	273	3,598	1,668	5,539	△ 3.01	八二幼休園

8　通学区域（八幡市内に在住する児童、生徒が入学する学校を指定する規則に基づく）

（令和元年 5 月現在）

学　校　名	区　　城
八 幡 小 学 校	八幡地区のうち垣内山、吉野垣内、旦所、源氏垣外、西島（巡検道以南の区域を除く）、東島、石不動（一部）、春日部、中ノ町及び柳畑を含むこれらの区域以東で、かつ、神原、河原崎、五反田及び柿木垣内（18 番地から 56 番地のそれぞれの南側を結ぶ線から南の区域を除く）を含むこれらの区域以北の区域、川口地区
くすのき小学校	男山金振、男山竹園、男山香呂、男山石城、男山弓岡、男山吉井、男山松里、八幡地区のうち中ノ山、月夜田（市道八幡城陽線以北の区域及び市道土井南山2号線以東の区域を除く）、福禄谷（市道円福寺線以東の区域を除く）、柿ケ谷（八幡福禄谷 143-3 番地から八幡柿ヶ谷 57-3 番地を結ぶ線の以東の区域を除く）、長谷
さくら小学校	男山指月、男山長沢、男山美桜、男山笹谷、男山泉、男山八望、男山雄徳、八幡石不動（一部）
橋 本 小 学 校	西山足立、西山和気、西山丸尾、橋本地区
有 都 小 学 校	戸津地区（谷ノ口及び奥谷を除く）、内里地区（砂畠、柿谷、穴ケ谷、河原及び女谷を除く）、上奈良地区、下奈良地区、上津屋地区、野尻地区、岩田地区
中 央 小 学 校	八幡地区のうち市道八幡城陽線以南、長尾八幡線以西及び国道 1 号以東を除く区域で式部谷、清水井、岸本、長田、軸、柿木垣内（19 番地から 74 番地の 2 のそれぞれ北側を結ぶ線以北の区域を除く）、西島（巡検道以北の区域を除く）及び舞台を含むこれらの区域以南の区域
南 山 小 学 校	八幡地区のうち山田、安居塚、南山、備前、砂田、武蔵芝、水珀、月夜田（市道八幡城陽線以北及び市道土井南山 2 号線以西の区域を除く）、福禄谷（市道円福寺線以西及び 143-3 番地から 154-6 番地を結ぶ線の以西の区域を除く）、柿ケ谷（57-3 番地以西の区城を除く）、植松（市道八幡城陽線以北の区域を除く）、三反長（市道八幡城陽線以北及び府道長尾八幡線以東の区域を除く）、久保田（府道長尾八幡線以東の区域を除く）、一ノ坪（府道長尾八幡線以東及び府道富野荘八幡線以東の区域を除く）、美濃山地区のうち幸水、ヒル塚、宮ノ背（御幸谷川以西の区域で 1-12 番地、1-19 番地、1-20 番地のそれぞれ南側を結ぶ線から以北の区域）
美濃山小学校	戸津地区のうち谷ノ口、奥谷、内里地区のうち砂畠、柿谷、穴ケ谷、河原、女谷、美濃山地区（幸水、ヒル塚及び宮ノ背（御幸谷川以西の区域で 1-12 番地、1-19 番地及び 1-20 番地のそれぞれ南側を結ぶ線から以北の区域）を除く）、欽明台地区、八幡地区のうち一ノ坪（国道 1 号以北及び府道富野荘八幡線以西の区域を除く）

学　校　名	区　　城
男 山 中 学 校	八幡小学校、中央小学校の区域
男山第二中学校	くすのき小学校、南山小学校の区域
男山第三中学校	さくら小学校、橋本小学校の区域
男山東中学校	有都小学校、美濃山小学校の区域

八幡長町、八幡樋ノ口及び川口高原地区の児童、生徒にあっては、この表の規定にかかわらず、京都市教育委員会の指定する学校に入学するものとする。

９　特色ある教育活動及び研究指定等一覧

〈　小学校　〉

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
八 幡 小 学 校	重点研究：『国語科』 *京都府教育委員会指定* *学力向上システム開発校（２年次）* ※令和２年２月７日（金）に 研究発表会 特色ある教育活動 ・京都式「学力向上教育サポーター」事業（まなび・生活アドバイザー配置） ・ことばの力の育成 ・豊かな読書活動の推進	【研究主題】 主体的・対話的な学びを深め、「ことばの力」をはぐくむために ～読むこと領域の授業改善を通して～ 【具体的方策】 （１）本校児童の国語科の学力について分析し、全教員で共有する。全国学力・学習状況調査、京都府学力診断テスト、ＣＲＴテスト等を十分に活用する。 （２）国語科において、児童の意欲を引き出し、主体的で対話的な学びを深める指導方法を考え、特に読むこと領域の授業改善を推進するため、校内研修を行う。重点研究部と各学年が連携し、授業研究やことばの力を育成する取組を行う。 （３）児童の読書への意欲を喚起するため、めあてをもって行う読書や選書会、読み聞かせ等、多様な読書活動を推進する。 （４）モジュール「やわたっ子タイム」において、ことばの力や計算等基礎的な力を付けるための学習を積み重ねる。 （５）家庭学習の定着を進めるため「家庭学習の手引き」を全校配付し活用する。また、学校における学習の様子を保護者と共有し、児童への励ましにつなぐためにも「八小学習便り」を毎月発行する。
くすのき小学校	重点研究：『生徒指導』 特色ある教育活動 ・京都式「学力向上教育サポーター」事業（まなび・生活アドバイザー配置） ・教員養成サポートセミナー及び京都府「教師力養成講座」連携協力校	【研究主題】 ・児童の学習課題を捉え、育成すべき資質・能力を明らかにし、教職員が協働的な研究を行うことを通して学力充実を図る。 ・「授業と（生徒）指導の一体化」 一人一人がつながり、分かる喜びや楽しさを味わいながら、自ら進んで学ぶ力の育成 【具体的方策】 （１）意欲的・主体的に学びを深めるために、ＵＤの視点「焦点化」「視覚化」「共有化」・学び合いの視点を中心に授業改善を行い、どの子にも分かりやすいＵＤ授業をめざす。生徒指導の３機能「自己肯定」「自己決定」「共感的人間関係」を見据えた指導を行う。

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
くすのき小学校 （つづき）		（２）少人数授業加配の活用による授業形態の工夫（算数を軸に、T.T 授業や習熟度別授業等を単元・実態に応じて）を行う。 （３）ＩＣＴ機器を積極的に活用し、授業改善を推進する。 （４）漢字や計算などの基礎基本について徹底反復練習する。 また、「コグ・トレーニング（認知ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）」等、全校で一致した取組を行う。 （５）自主学習の習慣づけ・家庭学習での基礎・基本の定着（音読、漢字、算数プリントの三点セット） ・家庭学習の標準時間の設定と奨励 ・家庭学習の手引き配布 （低学年３０分、中学年４５分、高学年６０分） ・生活点検　年３回 （６）朝読書（毎日）、読書カード（読書貯金）の取組、図書ボランティアによる読み聞かせ（週１回）など読書指導の充実を図る。 （７）研究推進各部が連働した、「チーム学校」としての研究実践の推進体制を確立する。
さくら小学校	重点研究：『基礎基本の定着と基礎学力の向上』 特色ある教育活動 ・心の居場所サポーター配置事業 ・特別支援教育充実事業「やましろ未来っ子」研究推進校	モジュール学習を通しての反復指導による基礎基本の定着と基礎学力の向上 ＣＲＴの分析を通した基礎学力向上のための授業づくり 【具体的方策】 （１）落ち着いた学習基盤作り ＜チャイム席・聞き方・話し方＞の徹底 学習環境の充実（話す・聞くルール・声のものさし・ペアの約束・掲示） （２）学び合えるクラス作り 友だちの発表を大事に聞き合え、安心して自分の意見や考え、分からないということが言えるクラスの温かい雰囲気作り （３）１時間の授業の見通しを持つ １時間の授業の流れカードの掲示 （カードの位置づけによって、視覚による学習効果を高め、どの子にも学習の見通しを持ちやすくする） （４）授業研究の推進 研究主題をもとにした公開授業の実施 （５）読書活動の充実 年間４５冊／人以上 読書運動、読み聞かせ、朝の読書活動

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
さくら小学校 （つづき）		（６）モジュール学習（国語･算数） チャレンジ学習（補習学習）の実施 基礎学力の定着を目指して、計画的・系統的に実施 （７）児童の学力実態の把握と個に応じた指導 （８）家庭学習、学習習慣、生活習慣等の習慣形成の取組の推進 （９）放課後学習クラブを通じた自学・自習の取組の推進
橋 本 小 学 校	重点研究：『特別の教科道徳』 特色ある教育活動 ・２年間研究実践に取り組んだ京都式「チーム学校」推進事業の成果を引き継ぎ、充実させていく。	『豊かな心を育てるための教育の推進 』 ～自尊感情を育み、 自他を大切にする心の育成～ 【具体的方策】 （１）授業研究 「道徳教育の進め方」京都式ハンドブックを活用し、研究授業を実施する。 （２）道徳ファイルの活用 毎時間のワークシート・振り返りシートをためていく。 （３）道徳学習の掲示板の作成 橋本小「人権の日」（毎月１０日）に学習内容や振り返り等を掲示する。 （４）研修 道徳教育講座や先進校の視察等に積極的に参加し、伝達講習で校内研修の充実を図る。
有 都 小 学 校	重点研究：『情報教育』 *京都府小学校教育研究会* *情報教育部研究協力校* *（Ｈ２９～Ｒ１）* ※令和元年１１月１４日(木) に研究発表 特色ある教育活動 ・京都府教育委員会指定 「食に関する指導充実推進校」	『自ら学び、互いに考えを深め合い、 豊かに表現する子の育成』 ～ＩＣＴを効果的に活用し、 思考を「見える化」して深い学びを 進める授業づくり～ 【具体的方策】 （１）研究組織 「研究推進部」を中心に、「学年部」において具体的な授業を計画・実施する。 それを支援する「授業実践部」「情報モラル部」「環境充実部」と基礎・基本的な力をつける「学力充実部」を置く。 （２）「有都授業スタンダード」の実施 ＜４つの学習過程＞ ①導入(課題設定) ・学習意欲を引き出す場面設定 ・学習のめあての確認 ②展開１（情報収集・情報提示） ・課題解決に必要な情報を取捨選択

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
有 都 小 学 校 （つづき）		③展開２（分析・思考・判断） **・主体的・対話的で深い学び** 重点的な取組 ＊ICT の効果的活用＊ ＊画像や動画や図等の提示＊ （思考の見える化） ＊話し合い活動の充実＊ ・ペア学習・グループ学習等学習形態を工夫し協働して思考を深める。 ④まとめ（交流・相互評価・表現） ・表現と発信、相互評価 ・指導と評価の一体化 ＜留意点＞ ①生活に根ざした課題を設定 ②話し合い活動の充実 ③体験的活動を重視 ④授業形態の工夫 （個別、ペア、グループ、一斉） （３）その他の取組 ①児童の学力実態の的確な把握 ②授業のルール・学習規律の確立 ③読書活動の充実 ④業間学習の充実 ⑤合理的配慮・個に応じた指導 ⑥UD 化された授業 ⑦家庭学習習慣の形成 ⑧保幼小連携推進 ⑨男山東中キャンパス一貫教育推進
中 央 小 学 校	重点研究：『国語』 特色ある教育活動 ・特別支援教育充実事業「やましろ未来っ子」研究推進校 ・京都式「学力向上教育サポーター」事業（まなび・生活アドバイザー配置） ・心の居場所サポーター配置事業	【研究主題】 『基礎学力の定着と主体的・対話的に深く学び合う児童の育成～ユニバーサルデザインの視点を軸に書く取組から言語力を積み上げる～』 【具体的方策】 すべての教職員が研究推進部・学習環境整備部・基礎学力充実部のいずれかに所属し、研究活動を進める。 ① 研究推進部 ・授業改善に向けて、校内授業研の実施 ・アセスメントシートの活用 ・ＵＤ化授業の全校統一 ・学力テストの分析 ② 学習環境整備部 ・読書活動の充実 ・ICT 機器の活用 ・辞書引き ・校内掲示板の運営 ・家庭学習『家すた』の取組 ③ 基礎学力充実部 ・国語モジュール （漢字学習スタンダード）

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
中央小学校 （つづき）		・一斉辞書引きの時期 ・漢字読み名人大会 ・算数授業スタンダード ・メキメキタイム ・スタディ道場 ※学習に向かうための基盤づくりとして、下記の取組を実施する。 ・学級力向上プロジェクトの取組 ・学習規律の確立 ・朝トレ（体幹トレーニング、ビジョントレーニング）
南山小学校	重点研究：『算数科』	『主体的な学び・対話的な学びを育てる』～算数科における論理的表現力の視点から～ 【具体的方策】 （１）授業研究 ・導入部でのめあての提示法 問題場面の提示法 ゴールの提示法 ・展開部でのまとめ・振り返りに生かせる言語活動の充実の在り方 ・事前研（模擬授業）、研究授業と事後研により、児童の実態と教師のしかけの適合性を高める。 ・全校体制での実施（低中高３回） （２）環境整備 ・ペア学習・グループ学習・視覚にうったえる板書に必要な教材・教具の整備 ・学期に１回、各階に算数コーナーの設置（量感をつかめるもの、メートル法、数と量等） （３）授業の基本構築の統一 ・板書・ノート指導の在り方 ・ペア学習から全体の話合い活動への展開
美濃山小学校	重点研究：『国語科を中心とした全教科』 ※令和２年１月２９日（水）に自主研究発表会 特色ある教育活動 ・地域と連携した体験活動の推進	表現活動を取り入れた主体的・対話的な授業の創造 －表現しながら理解を深める学習者を育てる－ 【具体的方策】 （１）表現しながら理解（自己理解・他者理解・学習内容理解）を深めていく授業スタイルを開発することで、自ら問いを持ち、他者と協働しながら課題解決に向かおうとする意欲を持った児童を育てる。 （２）安心して表現活動に取り組めるような学級づくりについて研究する。 （３）児童の学びと成長を共に見守るために、地域や家庭との連携を推進する。

〈　中学校　〉

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
男 山 中 学 校	『重点研究』： 学校教育目標の実現に向けた校内のユニバーサルデザイン化 特色ある教育活動 （１）少人数学級編制・ティームティーチングによる指導方法の改善 （２）すべての教科における教科書の内容を読み取る力と話す・聞く等の言語力の向上 （３）読書活動の開発と朝読書の推進 （４）補充学習・学習相談・家スタとリンクしたモジュール学習・ふりスタ・学力アップ集中講座等による基礎基本の徹底と学習意欲の高揚、自学自習の姿勢の確立 （５）職場体験学習・上級学校訪問・大学訪問・ビジネスマナー講座等、キャリア教育や進学意識向上の推進 （６）希望進路実現に向けた進路対策学習会 （７）教育集会所における学習支援事業への協力 （８）ＱＵを活用した学級集団の分析と学級経営 （９）男山中学校キャンパス小中一貫教育 （10）校内たいこ祭り・絆フェスタ・地域の諸行事への参加等による地域との連携 （11）京都式学力向上教育サポーター事業「まなび・生活アドバイザー」（SSW）配置	すべての教育活動をユニバーサルデザインの考え方に基づき展開することにより、以下に掲げる学校の実現を図る。 （１）生徒一人一人を大切にする教育を実践し、地域に誇れる魅力ある学校 （２）確かな学力と生涯を通して学び続けるための基礎基本を着実に身につける学校 （３）地域や保護者から信頼されるとともに地域に開かれた学校 （４）清潔で、安全で、秩序があり、居場所が感じられる温かい雰囲気のある落ち着いた学校 【指導の重点】 （１）焦点化・視覚化・共有化による「わかった・参加した」意識が高まるとともに得点力の向上につながる授業の創造と特別な支援を要する生徒の実態に応じた個別支援 （２）読解力の向上を図るための、教科指導と読書指導 （３）希望進路の実現を目指した粘り強い生徒指導と進路指導 （４）男山中学校キャンパス小中一貫教育の推進による円滑な接続 （５）快適に生活できる校内環境整備
男山第二中学校	『重点研究』： 自尊感情・規範意識を高め豊かな人間性をはぐくみ、自らの進路を切り拓く、心豊かでたくましく主体的に社会に貢献できる資質・能力の育成 特色ある教育活動 ・二中キャンパスで取り組む、小中学校の相互理解と学力向上のための授業改善 ・生徒を中心に据えた絆、ネットワークづくり ・地域の学習・環境支援活動	市民から信頼され、安全で落ち着いた環境をつくり、生徒がいきいきと輝く学校をめざす。 生徒の”夢”と”志”をはぐくみ、自尊感情を高める教育の実現のために、きめ細かな個に応じた指導を積極的に進め、確かな学力の向上を図る実践的研究を進める。 【具体的方策】 （１）授業規律を確立 ・生徒指導の三機能を生かした教科指導。（自己決定の場、自己存在の場、共感的立場） ・複数指導による個に応じたきめ細かな指導

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
男山第二中学校 （つづき）	・京都式「学力向上教育サポーター」事業（まなび・生活アドバイザー SSW 配置） ・特別支援教育充実事業「やましろ未来っ子」研究推進校	（２）学力充実・向上のための取組 ・二中学力向上チャレンジ わかる授業を創る。（ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善と二中スタンダードの構築） ・家庭学習習慣定着のための取組 『週間（習慣）課題』の実施 ・テスト前学習、長期休業中の補充学習、入試対策のための学習会の実施 ・学習環境の整備 （３）実践的態度に結びつく人権学習の推進 ・ＱＵアンケート（分析による効果的な活用） （４）人権が大切にされる学校環境づくり ・美しい学校環境づくり ・あいさつ・コミュニケーション力の育成、スキルアップ運動 ・いじめを許さない等の人権意識の向上 ・自尊感情、規範意識を育む教育の推進 （５）家庭、地域との連携のさらなる推進 ・学校支援地域本部事業との連携
男山第三中学校	『重点研究』： 主体的に学ぶ力を培い、心豊かにたくましく生きる生徒の育成 【教育活動】 １．将来を展望し、自ら進路を切り拓く力を身につけるための質の高い学力をはぐくむ ２．一人ひとりの豊かな人間性を磨く中で、互いに認め合い、高め合う集団づくり	さまざまな「つながる」を意識した教育を目指す。 【具体的方策】 （１）ユニバーサルデザインを視点並びに「生徒指導の機能」をいかした、授業改善と基礎基本の定着 （２）全ての教科・領域で言語活動の充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法の工夫・改善を行い、活用する力（思考力・判断力・表現力）を育成する。 （３）家庭と連携し、主体的な学習習慣の定着を目指し、「評定 1」を克服するための支援 （４）京都式少人数授業を推進し、個に応じた指導の充実 （１）「特別の教科　道徳」を充実させ「考え議論する道徳授業」を確立する。 （２）規律ある生活習慣の確立と、人権尊重を基盤とした自己指導の力を育成する （３）どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にし、学校行事・生徒会活動・学級活動等の指導を計画的に行う （４）特別な支援を必要とする教育的ニーズに応じた教育の推進

学　校　名	教　科・領　域	研　究　主　題　等
男山第三中学校 （つづき）	３．安心安全で美しい環境の中から育まれる健やかな心と体づくり ４．地域に親しまれ、地域に信頼される学校づくり	（１）「学校いじめ防止基本方針」に基づいたいじめの未然防止と早期発見・適切かつ迅速な対応を組織的に推進 （２）教育相談機能を充実し、個々の状況に応じた効果的な対応を組織的に行うことによる不登校の課題解消 （３）危機管理意識を高め、自他の「いのち」と「からだ」を守り、大切にする意識を高める取組 （４）主体的に美しい環境を創り、保ち、広げていく実践に基づく環境教育の充実 （１）「学校支援地域本部」を中心とし、地域との連携を図り、社会総がかりで取り組む教育を推進 （２）小中一貫教育の充実を目指し、三中キャンパスにおける組織づくりなど、一貫教育のための基盤の確立
男山東中学校	『重点研究』： 論理的思考を基盤とした『学びをつなぐカリキュラム・マネジメント』～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～ *京都府教育委員会指定* *学力向上システム開発校（２年次）* （１）「深い学び」の精緻化 ～教科の見方・考え方を意識した資質能力の育成～ （２）教科等横断的な学び→カリキュラム・マネジメントの実施 （ＳＤＧｓカレンダー、パッケージ授業、コラボ授業） ※令和元年１１月２９日(金)に研究発表会 特色ある教育活動 ・小中連携・交流 ・食育･松花堂弁当づくり	【重点項目】 （１）論理的思考による「精緻化」 （２）カリキュラム・マネジメント（学習内容・学習方法の「構造化」） ・パッケージ授業（総合的な学習の時間×各教科） ・コラボ授業（教科×教科）（教科×外部資源） ・ＳＤＧｓを基盤とした学習（教科×SDGs） ・教師による「育成すべき資質・能力」の意識化 ・教科の特性による「見方・考え方」を意識する

園　　名	特色を生かした取組	地域に開かれた園の取組
八 幡 幼 稚 園	○のびのびと体を動かし、意欲的に活動する幼児をはぐくむための環境づくりと指導の工夫 ・異年齢交流 ・保育園との交流 ・栽培・収穫体験 ○健康な心と体をつくる取組 ・サッカー体験 ・体操、マラソン、挑戦タイム ○読書推進活動 ・絵本の日（親子の読み聞かせ） ・図書館デー（市民図書館の活用） ・八幡おはなしの会 ・園の絵本の貸し出し ○地域の自然や歴史･文化を生かす取組 ・キッズウォーク （身近な自然を散策） ・たいこ祭りへの参加 ・文化協会（お茶会） ○保育園・小学校・中学校・高校との交流や連携の推進 ○環境教育の推進 ・クリーンデー（月１回） ・廃品回収エコポイントの取組（ＰＴＡ）	○子育て支援活動 ・園開放（ちびっこあつまれ） ・園庭開放の実施 ・子育て相談の実施（すっきりルーム） ・保護者への絵本の読み聞かせ（ほっこりタイム） ・親子ふれあい遊びの促進 ・預かり保育の実施 ・子育て講演会の実施 ○地域交流活動 ・シルバー人材センター、民生児童委員、福祉委員との交流 ・エンゼルエコー（三世代交流合唱団） ・木工遊び体験 ・敬老会への参加 ・絆フェスタへの参加
八幡第三幼稚園	○読書推進活動 どんぐり文庫の貸し出し・お話会・マザーズティーチャー・図書館の活用・どんぐりタイム・おはなしタイム・日々の絵本読み聞かせ ○地域の自然や環境の活用 地域の四季折々の自然と文化にふれる活動 ○保育園・小学校・中学校・高校との交流や連携の推進 ○遊びや生活経験を豊かにする取組 ・たて割り保育、園外保育 ・栽培活動・書道教室・サッカー・お茶会体験 ・キャンプファイヤー ○サポートママの活躍 リサイクル・絵本読み聞かせ・ガーデニング・クラフト ○環境教育の推進 ・みんなでクリーン（全園児） ○「子ども・地域の安全・安心見守り隊」の取組（安全パトロール隊）	○子育て支援活動 ・園開放（ちびっこ広場） ・園庭開放 ・預かり保育の実施 ・絵本コーナーの貸し出し ・子育て講演会の実施 ・親子ふれあい遊びの促進 ○地域交流活動 ・八寿園や老人クラブ連合会 七夕交流 敬老のつどい 焼き芋大会 餅つき大会 お正月遊び交流　など ・八幡市文化協会 お茶会 書道教室

園　　名	特色を生かした取組	地域に開かれた園の取組
八幡第四幼稚園	○読書推進活動(絵本大好き活動) ・園内の絵本貸し出し ・お話タイム(地域の人と交流) ・お話会 ・図書館デー ・日々の絵本の読み聞かせ ・親子で本のしおりや帯づくり ○保護者の保育参加 ・ワイワイハーモニー ・ガーデニングママ ・お話ママ ○様々な人とふれあう活動 ・小学校や中学校、高校との交流や連携 ・地域の人と交流 ・八幡第二幼稚園と交流 ○遊びや生活を豊かにする活動 ・なかよしタイム（異年齢交流） ・サッカー体験・栽培収穫体験 ・キャンプファイヤー・書道体験 ・お茶会体験 ○環境教育の推進 ・親子でクリーンデー ・リサイクル活動 ・ビオトープ池の観察	○子育て支援事業 ・園開放や園庭開放の実施 ・地域ボランティアや絵本アドバイザーによる取組 ・預かり保育の実施 ・子育て講演会の実施 ・子育て相談の実施 ・絵本の貸し出しや親子ふれあい遊びの促進 ○地域交流活動 ・男山第二中学校区学校支援地域本部との交流 ・地域安全見守り隊 ・地域の運動会参加 ・サマー親子ランドでの交流 ・地域の夏祭り参加 ・地域の餅つき大会参加 ・敬老会や文化祭等への参加と交流 ・マラソン大会見守り隊
橋 本 幼 稚 園	○自ら考え、行動する力をはぐくむためには、どのような教師の関わりや環境構成が必要か。 ・「幼児期の終わりまでに育てたい 10 の姿」に照らし合わせて、幼児の育ちを考えていく。 ○園内外の自然を活かした取組 ・園外保育 ・野菜の栽培と収穫 ○異年齢児交流活動 ・ハッピースマイルデー ○親子グリーンデー活動 ・親子で一緒に花を植え、育てるエコ活動 ～地域に愛される園を目指して～ ○読書推進活動 ・地域お話しボランティア－すみれ－ ・八幡おはなしの会 ・お話ママ ・橋小図書委員による読み聞かせ ○保幼小中高との連携活動 ・橋本小学校との交流 ・男山第三中学校との交流 ・京都八幡高校との交流（職場体験） ○ボランティアママ＆パパの登用 ・園芸活動・園開放＆園庭開放 ・お話ママ・クリーンママ ・餅つきパパ ・キャンプファイヤーパパ　…等	○子育て支援活動 ・園開放、園庭開放の実施 ・預かり保育の実施 ○地域交流活動 ・地域登山グループ「はちまんさん会」ＯＢとの交流 園外保育（自然観察） キャンプファイヤー 餅つき ・地域老人会との交流 ・地域サークルとの交流 「橋本小学校コーラスサークル」 ・読み聞かせボランティアとの交流

園　　名	特色を生かした取組	地域に開かれた園の取組
（有都こども園）	○園内外の自然を生かしての取組 ・園外保育での、自然と触れ合う遊び ・いろいろな野菜の栽培活動と収穫 ・親子での菜園活動 ○異年齢保育 ・異年齢の関わりを大切にしたホーム保育活動及び乳児との交流 ○保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校との交流 ・二園交流（みやこ保育園） ・小学校との連携・交流 （学校探検、授業参観、図書室訪問、図書委員・図書司書の読み聞かせ・行事交流、出前授業など） ・中学校・高校との交流 （クリスマス交流・職場体験） ○環境・エコ活動 ・美化活動の実施（保護者会と共に砂場の砂上げ、草引き等） ・廃品・ベルマーク回収（保護者会と共に） ・キャップの回収 ○絵本活動 ・素話・読み聞かせ・おはなしの会 ○健康な心と体をつくる取組 ・リズム遊び ・サッカー体験 ・毎朝の体操 ○食育活動 ・給食献立の食材を三原色に分類 ・収穫物を利用したクッキング活動	○子育て支援活動の充実 ・園開放（月１回） ・赤ちゃんの広場（月１回） ・離乳食の展示（年３回） ・ぴよぴよらんど（毎週金曜日） ・ちびっこらんど（毎週月・火曜日） ・子育て講演会の実施 ・子育て相談の実施 ・預かり保育の実施 ○地域交流活動 ・田んぼや畑での栽培活動を通して地域のいろいろな人たちとのふれあいを楽しむ。 ・地域の方とグランドゴルフ ・茶摘み・イチゴ摘み・田植え ・稲刈り・もちつき・とんどさんなどの伝承行事 ・特別養護老人ホーム「有智の郷」との交流 ・民生児童委員との交流（絵本読み聞かせやコーナー遊び等） ・八幡市女性会との交流（５歳児とナイロンたわし作り）

１０ 八幡市内中学校進路状況

区分			平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
進学者（就職進学者含）	高等学校	全日制	491	504	524	543	563	504	517	569	489	532
		定時制	20	17	8	6	7	12	5	7	8	5
		通信制	29	22	23	15	20	21	22	41	28	27
	高等専門学校		2	1	1	0	2	0	3	2	0	1
	特別支援学校高等部		1	9	6	3	6	4	8	5	7	9
	小計		543	553	562	567	598	541	555	624	532	574
教育訓練機関等入学者	専修学校		2	0	0	0	0	0	0	1	2	0
	各種学校		0	1	0	0	0	2	1	1	1	0
	公共職業訓練校		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		2	1	0	0	0	2	1	2	3	0
その他	就職者		3	0	0	5	1	6	3	3	1	3
	その他		6	9	4	1	7	4	4	5	7	8
卒業者総数			554	563	566	573	606	553	563	634	543	585
進学率(%)通連校含む			98.0	98.2	99.3	99.0	98.7	97.8	98.6	98.4	98.0	98.1

１１　学校給食

八幡の歴史を学ぶ松花堂弁当給食をはじめ、さまざまな行事食や郷土食、鍋給食、地産地消の給食を実施している。

（1）実施状況（令和元年度）

①給食実施校　　市内全小中学校（12校）
②児童生徒数　　５，266人
③調理員数　　正規職員12人、嘱託員26人、再任用2人、臨時職員10人
④調理方式　　単独調理場方式（8校、うち親子方式3校）
⑤給食形態　　完全給食　週5日（パン1回・米飯4回）
⑥給食回数　　小学校1年184回、2～5年190回、6年188回
　　中学校1年174回、2年173回、3年162回（4中学校平均）

（2）米飯給食の実施状況

①実施回数　　週4回
②炊飯形態　　自校炊飯（中学校分は小学校で炊飯）
③米穀　　八幡産ヒノヒカリ

（3）学校給食費

小学校　1食単価　240円
中学校　1食単価　280円

（4）施設形態

ドライシステム調理場・・・・・・4校
ウエットシステム調理場・・・・4校

食育の推進

①八幡市学校給食研究会による食に関する調査研究の実施
②栄養教諭を中核とした食に関する指導の実施
③平成 20 年度子どもの健康を育む総合食育推進事業（文部科学省）
　　実践中心校……八幡小学校
④平成 20、21、22 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……八幡小学校
平成 22、23、24 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……くすのき小学校
平成 23 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……有都小学校
平成 25、26、27 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……中央小学校
平成 28 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……美濃山小学校
平成 29、30、31 年度食に関する指導充実事業（京都府）実践中心校……有都小学校

（5）沿　革

年　月	事　　項
昭和 23 年　5 月	八幡小学校において補食給食開始(脱脂粉乳と味噌汁)
24 年	都々城小学校・有智郷小学校において捕食給食開始
35 年	都々城小学校・有智郷小学校において完全給食開始
38 年　4 月	八幡小学校において完全給食開始
	栄養士設置
55 年　4 月	八幡市学校給食委員会設立
56 年　4 月	学校給食で合成洗剤から石けんへ変更
	週 1～2 回委託炊飯による米飯給食試行開始
56 年　9 月	月 1 回委託炊飯による米飯給食実施
59 年　9 月	週 2 回委託炊飯による米飯給食実施
62 年　9 月	3 年計画で給食用食器の改善(アルマイト製→ポリプロピレン製 5 点セット)
63 年　9 月	学校給食用牛乳に紙パックを導入
平成 元年　1 月	橋本小学校、京都府学校給食優良学校努力校を受賞
2 年　9 月	週 3 回委託炊飯による米飯給食実施
	市内全小学校にオーブン(焼物機)を導入
3 年　9 月	市内全小学校で先割れスプーンを廃止し個人箸と普通のスプーンを導入
4 年　11 月	八幡小学校が平成 4 年度学校給食優良学校文部大臣表彰を受賞
11 年　1 月	橋本小学校が平成 10 年度京都府学校給食優良学校表彰を受賞
12 年　8 月	中央小学校給食室大規模改修（セミドライ方式）
9 月	米飯給食を委託炊飯から自校炊飯へ変更
14 年　4 月	美濃山小学校において完全ドライ方式による給食室を開設
18 年	平成 18・19 年度文部科学省「食育推進事業」の実践中心校（有都小学校）
19 年　1 月	中学校昼食サポート制度開始
20 年	平成 20 年度文部科学省「食育推進事業」の実践中心校（八幡小学校・中央小学校）
20 年　12 月	週 3.5 回自校炊飯による米飯給食実施
21 年　1 月	有都小学校が平成 20 年度京都府学校給食優良学校表彰を受賞
4 月	給食費改定（1 食単価 220 円→240 円　月額 3,700 円→4,000 円）
22 年　3 月	くすのき小学校給食室大規模改修（セミドライ方式）
4 月	週 4 回自校炊飯による米飯給食実施
8 月	有都小学校給食室大規模改修（セミドライ方式）
23 年　8 月	八幡市中学校昼食調査研究会設置
25 年　6 月	八幡市中学校給食検討委員会設置
27 年　6 月	八幡市中学校給食開始準備委員会設置
28 年　10 月	中学校給食開始に伴う中央小学校給食室改修（ドライ方式）
29 年　2 月	中学校給食開始に伴うくすのき小学校、有都小学校給食室改修（ドライ方式）
	市内全中学校に配膳室を整備
4 月	中学校昼食サポート制度終了
5 月	親子方式による中学校給食開始

１２　児童・生徒の平均体位の状況

〈小学校〉

〈男子〉

項目		学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年
身長（ｃｍ）	八幡市	Ｈ２９	115.8	122.9	128.1	133.5	138.1	144.6
		Ｈ３０	116.4	122.0	128.8	133.5	138.9	144.5
	京都府	Ｈ２９	116.6	122.5	128.2	133.9	139.0	144.8
		Ｈ３０	117.1	122.5	128.8	133.7	139.3	145.4
体重（ｋｇ）	八幡市	Ｈ２９	21.1	24.2	26.9	30.6	33.0	38.2
		Ｈ３０	21.2	23.8	27.6	30.5	34.1	37.1
	京都府	Ｈ２９	21.2	23.9	26.7	30.5	33.8	37.5
		Ｈ３０	21.5	23.8	27.2	30.0	33.9	37.8

〈女子〉

項目		学年	１年	２年	３年	４年	５年	６年
身長（ｃｍ）	八幡市	Ｈ２９	115.1	121.2	127.8	133.5	139.9	147.0
		Ｈ３０	115.1	121.2	127.0	133.9	140.5	146.8
	京都府	Ｈ２９	115.9	121.7	127.4	133.8	140.3	146.8
		Ｈ３０	115.6	121.8	127.6	133.5	140.4	147.1
体重（ｋｇ）	八幡市	Ｈ２９	20.8	23.5	26.7	30.3	33.9	39.1
		Ｈ３０	20.8	23.5	26.7	30.2	34.4	38.8
	京都府	Ｈ２９	21.0	23.5	26.2	29.8	33.8	38.5
		Ｈ３０	20.9	23.5	26.2	29.7	34.1	39.0

※数値は平均値

〈中学校〉

〈男子〉

項目		学年	１年	２年	３年
身長（ｃｍ）	八幡市	Ｈ２９	152.8	159.8	164.7
		Ｈ３０	151.9	160.0	165.7
	京都府	Ｈ２９	152.7	159.7	166.0
		Ｈ３０	152.5	159.5	165.4
体重（ｋｇ）	八幡市	Ｈ２９	44.4	48.4	53.5
		Ｈ３０	43.3	49.5	53.8
	京都府	Ｈ２９	43.2	47.9	54.6
		Ｈ３０	43.1	48.3	53.3

〈女子〉

項目		学年	１年	２年	３年
身長（ｃｍ）	八幡市	Ｈ２９	152.3	154.8	156.4
		Ｈ３０	152.1	155.5	156.5
	京都府	Ｈ２９	151.9	155.5	156.4
		Ｈ３０	152.4	155.4	156.7
体重（ｋｇ）	八幡市	Ｈ２９	43.9	46.5	49.7
		Ｈ３０	43.2	47.4	49.3
	京都府	Ｈ２９	42.6	47.0	49.4
		Ｈ３０	42.7	46.7	49.8

※数値は平均値

１３　教職員研修実施状況

平成 30 年度概要

平成 30 年度の学校教育の方針と目標は、以下のとおりである。
「魅力ある学校づくり～学校UD化構想の推進～」
・一人一人の子どもの成長過程を大切にする「学校UD化（ユニバーサルデザイン化）構想」の推進
・学力の向上を目指す効率的で効果的な取組と、ICT（情報通信技術）を活用したeスクール構想の推進
「社会のニーズに応じた教育の推進」
・一人一人が人権を尊重し合い、共に生きる社会の実現を目指す教育の推進
・心身とも健康で、自己の将来に夢と希望をもつことのできる教育の推進
「健やかな人づくり教育の推進」
・望ましい友だち関係、主体的な規律ある生活の確立
・不登校・いじめの解消に向けた総合的な取組の推進
・自ら健康な生活を営む、たくましい実践力の育成
・生涯を通じて体育・スポーツ・芸術文化活動に親しむ能力・態度の育成
「教職員の資質能力の向上」
・子どもの“夢”と“志”をはぐくむ、魅力ある教職員の育成
・社会のニーズに対応できる教職員の育成
・“カリキュラム・デザイナー”としての資質をもつ教職員の育成
・積極的にボランティア活動を推進する教職員の育成
・高い人権意識・倫理観をもち、自分の仕事の“質”に対して誇りと責任をもつ教職員の育成

この方針と目標を達成するためには、八幡市内の幼・小・中学校の教職員の資質を高め、指導力・実践力の向上を図ることが大切である。従来より研修講座は「京都府総合教育センターでの研修講座を補完する研修」及び「教育現場で活用できる実践的な研修」を目指し、ワークショップ形式での講座などを行い、受講者が実習・体験を通し、自らが主体的にスキルアップできる講座の開設を目指してきた。

平成 30 年度の特色は次の５点である。
⑴若手教員が多くなった現状を受け、若手教員の教師力向上を図る研修講座を実施した。
⑵特別支援教育へのニーズが依然高く、教師の力量の向上を図った。
⑶子どもたちに分かる授業を展開するためには、規律のある学級経営が必要不可欠なため、小中とも学級経営力が身に付くように講座を設定した。
⑷新学習指導要領に円滑に移行するための小学校外国語活動・外国語科の研修講座を中学年と高学年に分けて実施した。
⑸多様な児童生徒に対応するために、養護教員対象講座を開講し、子どもの身体のつかい方・見え方等についての研修を実施した。受講対象を、小・中学校の養護教員に加え、保・幼・認定こども園の教員にも広げた。

平成 30 年度実施状況

月	日	曜	講　座　名	内　容
5	18	金	小学校外国語教育（中学年）	英語力と英語指導力の向上
5	24	木	不登校未然防止	不登校の未然防止と早期の対応
6	4	月	小学校外国語教育（高学年）	英語力と英語指導力の向上
6	7	木	安全（防災）教育	安全（防災）について
6	22	金	特別支援教育Ⅰ	特別支援教育について
7	6	金	授業力等向上（UD）	通常学級での発達障がい等も含めた児童生徒への対応
7	10	火	授業力向上	主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善
10	19	金	特別支援教育Ⅱ	通常学級での発達障がい等の園児への対応
10	23	火	養護教員対象講座	子どもの身体のつかい方・見え方等について
11	1	木	虐待未然防止	虐待未然防止と早期対応
11	8	木	シティズンシップ教育	シティズンシップ教育について
11	29	木	学級経営	学級経営を考える

１４　教育支援センター

（平成５年４月１日教育研究所開設・平成24年４月１日教育支援センター開設）

(1) 目　的

平成31年度八幡市教育委員会「学校教育の重点」にもとづき、園・学校・関係機関との連携を強め、不登校対策及び特別支援教育の推進並びに教育相談の充実を図る。

(2) 事　業　概　要

①教育相談

児童生徒の健全な成長・発達を願い、保護者や学校から、電話、来所等により相談を受ける。

相談申し込みを受理する際は、専門的な知識を有するスーパーバイザー（大学教授）より助言を得て、児童生徒及びその保護者に対してカウンセラーが、定期的にカウンセリング・プレイセラピーを行う。また、教育支援教室「さつき」に通室している児童生徒の教育相談を行う。

相談活動を行っていく上で、各校の教育相談担当者やスクールカウンセラー等との連携を図り、より効果的な活動を進める。

②不登校解消に向けた取組

本市学校教育の大きな課題である不登校の解消に向けて、不登校の状況把握及び課題分析を行い、各学校や関係機関との連携を強めるなかで、不登校児童生徒数の減少および不登校を未然に防止する取組を進める。

不登校児童生徒の学校復帰に向けて、カウンセラーによる教育相談に加えて、不登校児童生徒支援のための教育支援教室「さつき」において、通室児童生徒の課題を踏まえて小集団での指導、個別の指導等効果的な支援を進め、将来的な社会的自立に向けて支援する。

③特別支援教育

各学校や園、関係機関と連携し、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導・必要な支援を行う。

教職員の特別支援教育に関する専門性の向上に向けて、校内研修・授業研究への指導助言、特別支援学級・通級指導教室の運営・指導内容についての指導助言、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育についての指導助言を行う。

(3) 所　員　構　成

（5.1現在）

	H30	R元		H30	R元
所長	1名	1名	庶務	1名	1名
主幹(指導主事)	1名	1名	心理相談員（カウンセラー）	7名	6名
指導主事	3名	2名	支援指導員	11名	11名
教育相談員	2名	2名	スーパーバイザー	1名	1名

(4) 施　設・設　備

所在地　京都府八幡市男山笹谷2

TEL　075（982）3001

FAX　075（982）3002

施　設	事務室	131㎡	教育相談室１	38㎡
	教育支援教室「さつき」	839㎡	教育相談室２	22㎡
	（教室・相談室・教材室）		教育相談室３	24㎡
			プレイルーム	63㎡

○　教育相談事業

平成 29・30 年度月別電話・面接・訪宅相談

内容	校　種	年度	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
電話相談	幼稚園	H29	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学校	H29	7	9	10	10	2	10	9	8	11	13	9	14	112
		H30	7	1	3	1	0	10	12	22	11	9	13	5	94
	中学校	H29	41	56	54	26	25	90	81	71	36	62	38	37	617
		H30	12	34	44	23	24	29	53	48	43	77	89	78	554
	小　計	H29	48	65	64	37	27	100	90	79	47	75	47	51	730
		H30	19	35	47	24	24	39	65	70	54	86	102	83	648
面接相談	幼稚園	H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小学校	H29	51	55	58	55	16	56	67	62	60	63	69	53	665
		H30	33	40	40	37	10	37	60	52	38	46	43	44	480
	中学校	H29	77	91	76	76	24	93	93	88	52	65	79	51	865
		H30	55	63	49	48	25	49	106	73	71	41	46	41	667
	小　計	H29	128	146	134	131	40	149	160	150	112	128	148	104	1,530
		H30	88	103	89	85	35	86	166	125	109	87	89	85	1,147
訪宅相談	小学校	H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学校	H29	0	0	2	0	0	1	3	6	3	0	4	2	21
		H30	12	22	15	11	5	15	19	32	8	14	13	0	166
	小　計	H29	0	0	2	0	0	1	3	6	3	0	4	2	21
		H30	12	22	15	11	5	15	19	32	8	14	13	0	166
合　計		H29	176	211	200	168	67	250	253	235	162	203	199	157	2,281
		H30	119	160	151	120	64	140	250	227	171	187	204	168	1,961

【平成 30 年度】

平成 30 年度の相談件数は、29 年度に比べ 320 件減少した。小中学校ともに、相談件数の総数は減少したが、中学校の訪宅相談については 145 件増加した。相談はしたいが来所しにくい現状がうかがえる。

相談内容別に見ると、中学校では「不登校」「登校しぶり」に関する相談が全体の 86%を占めている。また、小学校では「性格・行動」に関する相談が 36%あるものの、「不登校」「登校しぶり」に関する相談が全体の 50%を占めている。小中ともに不登校が大きな課題になっていることを示している。

平成 30 年度は市内の不登校児童生徒数が小中学校ともに増加した。様々な要因が複合しているケースが多いが、教育支援教室「さつき」に入室して学校復帰の支援をしているケースも多くある。相談内容が多様化・複雑化してきている中、個々の状況に合った支援を保護者や学校、関係機関等と連携して、きめ細かに相談を進めてきている。

第３節　社　会　教　育

１　社会教育の方針と目標

生涯学習社会の実現に向けた学習環境の整備と充実

・市民のライフスタイルに応じた学習機会の提供と学習環境整備の推進

・社会教育施設等の総合的な活用の促進

・社会教育関係団体などとの連携・協力

・社会教育関連部署などにおける相互連携の確立

１　学習環境整備の推進

（１）　市民のライフスタイルに応じた多様な学習機会の提供や自発的な学習活動を支援するとともに、生涯学習を支える社会教育の促進に必要な調査・研究を進め､学習環境と社会教育施設の耐震化等整備・充実に努める。

（２）　生涯学習センターを中心に市民に対する学習情報の提供と相談機能を充実し、公民館等社会教育施設が連携して、各分野にわたる学習活動を推進する。また、市民の自発的な学習活動やボランティア活動の促進に努めるとともに、大学等との連携を進め、地域課題をはじめ、国際理解、環境問題への取組、地域の安全などの現代的課題に関する学習活動を推進する。

（３）　社会教育施設における地域イントラネットの使用により、市民が情報収集と活用能力を身に付けられるよう、情報化社会に対応した学習機会の充実に努める。その際、プライバシーの保護や著作権など基礎的な情報モラルを確立できるように留意する。

（４）　市民図書館では、「八幡市子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）」に沿って、子どもの成長に合わせた読書活動の支援及び子ども関係施設との協力をするとともに、成人に向けては、子育て・健康・就労など、市民生活に必要な情報・資料を迅速かつ継続的に提供することで、更なる生活支援・向上に努める。

２　相互連携の確立

（１）市民の生涯にわたる学習機会の拡充や地域社会の形成を図る上で、社会教育関係団体などの果たす役割は重要であり、団体の自主性を尊重し、その活動の意義を重視しつつ、活性化に努めるとともに、相互連携を進める。

（２）社会教育関連部署などが相互に連携して、より効果的、効率的な事業展開を図る。

あらゆる人権問題について正しい理解と認識を深めるための学習活動の推進

- あらゆる人権問題について正しい理解と認識を深めるための学習活動の推進
- 男女共同参画社会の実現に向けた学習活動の推進
- 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進
- 障がいのある人の自立と社会参加の促進
- 国際理解を深めるための学習活動の推進

１　学習活動と社会参加活動の促進

（１）　同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の正しい理解と認識を深めるため学習機会を拡充するとともに、その取組を通して人権意識の高揚に努める。また、学習活動を効果的に推進するため、社会教育関係職員及び社会教育関係団体指導者の資質の向上に努めるとともに、学校、関係機関や団体などの連携を促進する。

（２）「八幡市男女共同参画プラン　るーぷ計画Ⅱ」の趣旨を踏まえ、男女共同参画社会の形成を目指した多様な学習機会の充実と幅広い学習内容の充実に努める。

（３）　いわゆる団塊の世代をはじめとする中高齢者が進んで参加できる多様な学習機会の提供に努めるとともに、社会生活で培った知識や能力を地域社会で生かせる環境を整え、中高齢者の社会参加活動を支援し、世代間交流など学習活動の充実を図る。

（４）　インクルーシブの理念に基づき、障がいのある人が積極的に参加できる学習講座や文化・スポーツ活動の拡充を図るとともに、社会教育活動に参加しやすい環境づくりに努める。

（５） 市内に在住する外国人をともに生きるパートナーとして、その人権を十分尊重し、保障するよう努めるとともに、国籍、民族、文化の違いを認め合い、国際理解を深めるための学習機会を提供する。

家庭・地域社会の教育力の向上

- 家庭の教育力向上を図るための学習活動の推進
- 地域社会の教育力向上を図るための体験機会の充実
- 地域活動を支援するボランティア活動の促進

１　家庭・地域社会の教育力の向上

（１） 家庭･学校･地域社会のそれぞれの教育機能がその特性を活かしながら相互に連携し、子どもを育てる学校支援の事業を推進する。

（２） 生命を大切にする心や思いやりの心などの豊かな心をはぐくむ上で、家庭の果たす役割が大きいとの観点から、家庭の教育力を高めるための学習の機会を提供する。

（３）子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付ける上で、乳幼児期からの読み聞かせなどが効果的であることから、家庭における読書の重要性について理解が深められるよう努める。

（４） 学校施設などを活用して、地域の教育力等を活かした学習活動の充実を図るとともに、児童の自主学習力と学習意欲の向上を支援する。

（５） 地域の人々が交流を深め、誰もが安全・安心に暮らせる地域づくりを推進するため、防災・防犯なども視野に入れた学習機会の提供に努めるとともに、様々な体験活動の拡充を図る。

（６） 社会生活上の道徳・モラルの向上や地域活動を支援するボランティア活動の促進など、子どもたちを取り巻く環境の健全化を図る。

（７） 関係機関･団体との連携を密にしながら、有害薬物に対する注意喚起やインターネット上の有害情報対策等の啓発を含めた社会環境浄化の取組などに努める。

青少年を育成する活動の充実

・新しい時代を切り拓く力、他人を思いやる心を持った青少年の育成

1　活動の促進

（１）ふれあい体験学習やふれあい交流事業、世代間交流などを通して青少年の健全育成に努める。

（２）安全・安心な活動拠点として社会教育施設などを活用し、青少年の文化芸術･スポーツ･地域交流活動を支援する。

（３）さまざまな活動や講座を開催して、自発的かつ主体的に学び行動できる青少年を育成するための機会の充実を図る。

（４）青少年に社会の一員としての自覚を促すとともに、青少年の健全な育成に対する市民の理解と協力を深めるため、青少年が大人や社会に向けて訴えたいことを発表する機会を設ける。

文化活動と生涯スポーツの振興

・豊かな人間性をはぐくむための地域における文化活動の促進

・健康でいきいきとした市民生活を実現するための生涯スポーツの振興と競技水準の向上

1　文化活動と生涯スポーツの振興

（１）「八幡市文化芸術振興基本方針」に基づき、市民一人ひとりの自主的、主体的な文化芸術活動をより一層促進し、心豊かな活力ある地域社会の実現を図る。

（２）生活にうるおいと喜びをもたらし、豊かな人間性をはぐくむため、文化活動に関する情報提供や優れた芸術文化にふれる機会の提供に努めるとともに、文化行事の開催等を通じて、地域における多様な文化活動の振興を図る。

（３） 伝統文化の理解と継承、芸術の鑑賞や創作活動など、地域に根付いた多様な文化活動の促進を図るとともに、国際理解のための学習活動を進め、新しい文化の創造に努める。

（４） 各種スポーツ教室や大会等の開催を通じて、生涯スポーツへの関心を深め競技力向上を図る。

（５） 学校体育施設の開放等により、地域でのスポーツ活動を促進するほか、子どもから青少年、大人、高齢者、障がい者が楽しめるニュースポーツの普及を図る。

（６） 文化やスポーツの発展に貢献している人や団体を顕彰し、文化やスポーツの振興を図る。

文化財の保護と活用

・市内文化財の保存・整備とさらなる活用

・市民の文化財保護意識の高揚

１　文化財保護意識の高揚と文化財の活用

（１）「八幡市文化財保護条例」の趣旨に沿って、数多くの貴重な文化財を次代に継承していくために、適切な保護に努める。

（２） 文化財保護意識を高めるため、所有者や関係団体との連携に努めるとともに、出前講座、体験学習、社会科見学などを通じて、その普及啓発に努める。

（３） 市民が郷土の歴史を知ることによって、まちに誇りと愛着を持てるよう文化財の活用を図る。

（４）文化財保護の基盤づくりとして、継続的に文化財の調査及び収集・整理、保存・整備を行う。

２　社会教育の現状

１　青少年教育

家庭や地域社会の教育力を充実し、環境を整備するなかで、子どもの頃から自分で課題を見つけ、自分で学び、自分で考えることのできる資質や能力、それを支えるための心身共に豊かな「人間力」を培っていく必要があるため、放課後や週末に学校施設等を有効利用し安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の参画を得て子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動など、さまざまな体験学習を進める。

また、子どもたちが家庭や地域で過ごす時間が増え、家庭や地域の役割がますます重要になってくることから、各種団体との連携を行い、地域住民との交流活動等の機会を提供し、地域での取り組みを支援する。

２　成人教育

成人教育では、変化の激しい時代にあって、幅広い年齢層の様々な課題や要望に応じ、生活のあらゆる場において、いつでも、どこでも、だれでもが生涯にわたり継続して学習活動ができることが求められている。同時に地域の成人が中心となって地域の絆づくりと地域コミュニティの再生が課題となっており、生涯学習センターを中心に市内公民館等で学習の機会と場の提供をさらに進め、住民同士のふれあいと絆づくりに向けて引き続き取り組みを進めていく。

３　人権・同和教育

同和問題をはじめ女性や子ども、障がい者等様々な人権問題を市民みんなの課題として、人権・同和教育の推進を図るため、市民学習会、小学校区別学習会、街頭啓発活動等を行い市民の人権意識の高揚に努める。

４　学習活動等

【 生涯学習センター 】

生涯学習の振興に関する各種の施策等を集中的、体系的、総合的に行うために、施設規模や機能を拡充し、学習活動推進の中心となる機関として、市民の自主的な学習活動を支援する。

（１）学習情報の提供（情報交流プラザ、インターネット他）
（２）学習相談体制の整備（生涯学習アドバイザーの設置）
（３）各種講座の開講
・青少年講座　　７講座　　年間 ７回
・女性講座
・成人講座　　計 １７講座　　年間 ３３回
・高齢者講座
（生涯学習開講式・フェスティバル・高齢者大学・いにしえを学ぶ　歴史余話等　）
・障がい者学習支援講座　　１講座　　年間 ２回
（４）指導者等の養成（生涯学習人材バンクへの登録と活用）
（５）中央公民館の機能（公民館の管理・運営の統括）

【 公民館 】

市内に６館ある公民館等は、生涯学習センターを中心に、市民の身近な学習活動の拠点として、地域の特性を生かし、市民のニーズに即した各種の学習講座を開講する。

また、各種の情報提供や人材育成、サークル交流などのネットワーク化を進め、公民館まつりなど学習の成果を発表できる機会を設ける。

（１）多様な学習講座の開設
（市民ニーズに応じた多様な講座、教室等の開催他）
（２）自発的な学習活動の支援（登録サークルの支援他）
（３）サークル活動や学習成果の発表機会の提供（公民館まつり他）

５　関連団体

体育協会・文化協会・女性会・郷土史会・人権教育推進協議会・
ＰＴＡ連絡協議会・青少年育成補導委員会

３　社会体育の現状

八幡市における地域に根ざしたスポーツの推進を図るべく、身近な地域でのスポーツを通じて、世代間の交流をはじめ地域コミュニティの形成を図り、市民一人ひとりが自発的に生涯にわたってスポーツに親しむことができる事業の展開と環境の整備が必要である。また、生涯スポーツ、健康・体力づくり、地域スポーツと競技スポーツの一層の振興を図るため学校体育施設の開放を行い、スポーツクラブ等が活動する場を提供し、スポーツ・レクリエーションの活性化を進める。

主　な　事　業

・ウォーキング等スポーツ教室
　市民ふれあいウォーキング　　年２回
　ノルディックウォーキング　　年１回
　子どもわくわく教室（サッカー、陸上教室、ソフトテニス
　　バスケットボール、バトントワリング）

・市民マラソン大会　12 月

・スポーツ推進委員派遣事業　年間随時

・市民総合体育大会　　4 月～3 月通年

学校体育施設開放

地域住民に最も身近な施設である、小学校、旧小学校の体育館・運動場及び中学校の体育館・格技場を学校教育に支障のない限りにおいて、体育館・格技場は有料、運動場は無料で、八幡市内における社会体育の普及及び振興に資することを目的にスポーツ・レクリエーション活動の場として開放を行っている。利用可能な団体は、八幡市スポーツクラブ登録団体・ＰＴＡ・自治会等。

4　社会教育関係者名簿

(1) 社会教育委員並びに公民館運営審議会委員

（平成３１年４月現在）

役　　職	氏　　名
委　員　長	和田　喜昭
副委員長	家村　咲栄
委　　員	北　和人　本郷　俊明　高橋　寿子　筧　格 松本　益千嘉　平井　万里　藤野　中孚　笠井　たみ子

(2) スポーツ推進委員

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名
委　員　長	佐野　恵理子
副委員長	今井　美千江　壽昌謙介
委　　員	山口修平　千葉昌尚　鷹野明子　堤　博美 梶浦　純美代　中村政夫　柴田　由香里　北村治美 定本由紀　津野法子　三宅智久　清川悦郎 宮川千明　池　一栄　松田和代　大黒　綾 宿利宣夫　牧野正裕　阪下泰男　山本泰也 松浦悠爾

5　社会教育関係団体名簿

(1) 文化協会

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名		
会　　長	吉 田　元 男		
副　会　長	川 瀬　眞 吾	中 村　豊美（事務局長兼任）	筧　　格
事　務　局	池 田　浩 士	大 野　美智子	沼 倉　　裕
	松 本 百合子		
会　　計	高 桑　真 子		
監　　査	佐々木　智子	森 脇　　勉	

（連盟）・・・・・・・・・・・・・（部会）
美　術・・・・・・・・・・・・・書道、手工芸、絵画、陶芸、写真
茶華道・・・・・・・・・・・・・茶道、華道
文　芸・・・・・・・・・・・・・短歌・俳句、国際・交流、民話、学芸、歴史
囲碁将棋・・・・・・・・・・・・囲碁、将棋
園　芸・・・・・・・・・・・・・園芸、自然文化
邦　楽・・・・・・・・・・・・・謡曲、舞踊、三曲、民謡、詩吟
ダンス・・・・・・・・・・・・・社交ダンス、ダンス
歌　謡・・・・・・・・・・・・・歌謡、器楽
音　楽・・・・・・・・・・・・・合唱、管弦
太　鼓・・・・・・・・・・・・・和太鼓

(2) 人権教育推進協議会

（令和元年６月現在）

役　　職	氏　　名	
会　　長	石 川　　純	
顧　　問	岩 成　　功	
副　会　長	越 本　敏 生	松 田　行 生
会　　計	澤 井　　剛	
事 務 局 長	岡 村　淳 史	
監　　事	佐 野　智 子	入 江　良 子

(3) 青少年育成補導委員会

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名		
会　　長	山 本　　均		
顧　　問	森 川　信 隆		
副　会　長	衣 笠　弘 美（会計兼務）	福 井　純 史	高 橋　寿 子
幹　　事	内山田　　朗	吉 川　栄 樹	北 村　正 憲
	山 本 由佳理		
支部長代表	森 田　広 大		
会 計 監 査	竹 口　澄 子	百々　恵美子	

(4) ＰＴＡ連絡協議会

（令和元年６月現在）

役　　職	氏　　名　（校・園名）
会　　長	田島　祥充（男山第二中学校）
副　会　長	道家　千英（男山東中学校）　梶原　桂子（橋本小学校）
庶　　務	真殿　智子（八幡小学校）
会　　計	小崎　幸子（八幡第三幼稚園）　和田　美智代（南山小学校）
会 計 監 査	井﨑　真由子（美濃山小学校）
事　務　局	吉田　文彦（男山第二中学校）

(5) 八幡市女性会

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名
会　　長	田野　照子
副　会　長	田中　節子（会計兼務）　岡島　洋子
庶　　務	青井　八重
体育部部長	浦野　千代子
監　　事	桝井　紀子　永野　町子

(6) 郷土史会

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名
会　　長	小山　嘉巳
副　会　長	田村　敬次
会　　計	菅原　　博
庶　　務	藤井　洋勝
幹　　事	赤井　眞人　米川　幸夫
監　　事	小泉　勝彦　内山　昭登
顧　　問	金森　徳雄

(7) 一般社団法人八幡市体育協会

（令和元年５月現在）

役　　職	氏　　名		
会　　長	河原崎　保		
副　会　長	阪下　泰男	松本　益千嘉	
常務理事	井上　義弘		
理　　事	増田　直貴	田島　祥充	菊田　泰司
	鷹野　晃三	坂尾　敬士	石井　　力
	有馬　克式	坂口　勝久	浦入　賢一郎
	長村　平和	宮川　千明	山口　栄太郎
	西村　　勇	狩野　久男	尾高　富士美
	藤原　邦男	松崎　孝二	島田　雅司
	森井　昌美		
会　　計	粟井　　正		
監　　事	和田　喜昭	森地　　武	

構成団体	加盟団体
スポーツ少年団	少年野球連盟・サッカー協会少年団部会・剣道連盟少年団部会 柔道少年団部会・空手道連盟少年団部会 バトンスポーツ少年団・硬式野球スポーツ少年団 ソフトテニススポーツ少年団・拳法スポーツ少年団 ジュニアレスリングスポーツ少年団 バスケットボール協会少年団部会
競技種目団体連合	社会人野球連盟・サッカー協会・剣道連盟・柔道連盟 空手道連盟・ソフトボール協会・テニス協会・陸上競技連盟 卓球連盟・バレーボール連盟・バスケットボール協会 バドミントン協会・ゲートボール連合・グラウンドゴルフ連盟 日本伝統古武道連盟・ゴルフ協会
レクリエーション連合	健康体操連盟・太極拳協会・はちまんさん会（登山） 女性レクリエーション連盟
地域体育振興会連合	吉井松里・笹谷・Ａ地区
学校・学識経験者	小学校体育連盟・中学校体育連盟・公園施設事業団 学識経験者

６　社会教育施設等

名　　称	所 在 地	TEL･FAX	設置年度	敷地面積	建物面積	構　　造
※教育施設 生涯学習センター	男山竹園 2-3	TEL 983-6002 FAX 983-1726	平成 10 年 11 月	2,206.38 ㎡	3,261.00 ㎡	鉄筋コンクリート ３階建（図書館含）
男山公民館	男山八望 3-4	TEL 981-4204 FAX 981-4205	昭和 50 年 10 月	1,300.0 ㎡	840.52 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
橋本公民館	橋本堂ヶ原 36	TEL 982-8572	昭和 55 年 11 月	1,065.00 ㎡	830.0 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
志水公民館	八幡岸本 35-4	TEL/FAX 981-5880	昭和 56 年 4 月	659.97 ㎡	569.61 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
山柴公民館	八幡山柴 48、49 合地	TEL/FAX 982-0004	昭和 59 年 4 月	809.97 ㎡	570.65 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
※コミュニティ施設 川口コミュニティセンター	川口萩原 24-1	TEL/FAX 982-3344	昭和 63 年 4 月	778.91 ㎡	516.80 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
美濃山コミュニティセンター	欽明台西 70	TEL 981-2312	平成 14 年 4 月	美濃山 小学校内	616.0 ㎡	鉄筋コンクリート ３階建１階部分内
※教育施設 南ヶ丘教育集会所	八幡軸 29-4	TEL 982-5010	昭和 55 年 8 月	1,080.41 ㎡	1,154.85 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建
※文化施設 八幡市文化センター	八幡高畑 5-3	TEL 971-2111 FAX 971-2114	昭和 58 年 11 月	約 9,000 ㎡	4,749.5 ㎡	鉄筋コンクリート ４階建
松花堂庭園	八幡女郎花 79-1	TEL 981-0010 FAX 981-0009	昭和 52 年 11 月	約 22,940 ㎡ 美術館 （外園に 別館あり）	延面積 2,151 ㎡ （書院等）	・内園 ・外園 ・昭乗広場
松花堂美術館	八幡女郎花 43-1		平成 14 年 4 月		延面積 2,396 ㎡	平家建 １階展示ホール 地下展示室
※教育施設 市民交流センター	八幡名残 23-1	TEL/FAX 983-9202	平成 13 年 7 月	1,854.7 ㎡	622.0 ㎡	鉄筋コンクリート ２階建

7　社会体育施設等

○全施設とも管理運営は「公益財団法人 八幡市公園施設事業団」で行っています。
住　　所　　八幡市野尻正畑１２
電話番号　　９８１－６１１１

名　　称	所　在　地	ＴＥＬ	設置年度	敷地面積	構　　造
くすのき近隣公園	男山竹園 1-1	981-2102	昭和 47 年 4 月	19,544 ㎡	軟式野球場 テニスコート
さつき近隣公園	男山笹谷 1	981-9450	昭和 50 年 7 月	20,464 ㎡	多目的広場 テニスコート 市民プール
かわきた 自然運動公園	八幡林ノ元 12 地先	―	昭和 48 年 4 月	31,629 ㎡	多目的広場
川口市民公園	川口浜地先	―	昭和 58 年 3 月	26,116 ㎡	多目的広場
馬場市民公園	八幡馬場 85-1	―	平成元年 4 月	15,068 ㎡	多目的広場
八幡市民体育館・ スポーツ公園	野尻正畑 12 他	981-6111	昭和 62 年 7 月	56,638 ㎡	体育館 多目的広場 テニスコート クラブハウス
男山 レクリエーション センター	八幡大谷 85-21	983-1611	平成 15 年 3 月 (勤労者福祉施設から用途変更)	32,416 ㎡	ソフトボール場 宿泊施設 多目的コート

８　市立図書館

（１）所 在 地

八幡市民図書館
京都府八幡市八幡菖蒲池１２番地
電話番号　（０７５）　９８２－７３２２
ＦＡＸ番号（０７５）　９８１－８５３０
郵便番号　６１４－８０８２

男山市民図書館
京都府八幡市男山竹園２番地３
電話番号　（０７５）　９８２－４１２３
ＦＡＸ番号（０７５）　９８２－３３２５
郵便番号　６１４－８３７６

（２）利用時間

開 館 日　＜八幡市民図書館＞
月・火・水・木曜日　午前 10 時から午後７時まで
（八幡市民図書館の児童図書室は６時まで）
土・日曜日　午前 10 時から午後５時まで
＜男山市民図書館＞
火・水・木・金曜日　午前 10 時から午後７時まで
土・日曜日並びに祝日開館日　午前 10 時から午後５時まで

休 館 日　＜八幡市民図書館＞
金曜日・祝日（土・日曜日の場合は開館）
毎月最終の木曜日・年末年始・特別整理期間等
＜男山市民図書館＞
月曜日
祝日の翌日（金曜日が祝日の場合は休館）
毎月最終の木曜日・年末年始・特別整理期間等

（３）沿　革

年　月	事　項
昭和 51 年　11 月	大型バスを移動図書館車に改造した「ふるさと」による巡回貸出開始。事務所を八幡市男山八望の市コーナー内に設ける。
昭和 55 年　1 月	市の基本構想に定めた“緑ゆたかな文化の都市づくり”の施設として、図書館を建設するための図書館準備室を教育委員会事務局内に設ける。
12 月	八幡市八幡菖蒲池の旧市役所庁舎跡に八幡市民図書館新築落成・12 月 25 日に開館式を挙行、同日午後 1 時から業務開始。
昭和 57 年　4 月	対面朗読サービスを開始。
昭和 58 年　4 月	休館日の変更、コピー手数料の値下げ等図書館条例および規則の一部を改正。
7 月	自動車文庫「ふるさと」の改造。図書収容冊数を 1,200 冊から 1,800 冊に増加。
昭和 60 年　2 月	八幡市民図書館朗読ボランティア・サークル発足。
6 月	レコード、カセットテープの貸出開始、電話朗読サービス開始。
昭和 61 年　1 月	コンピュータをライブラリアン K-3(日本メモレックス)からメルコム 80(三菱電機)に変更。
12 月	ＣＤ(コンパクト・ディスク)の貸出開始。
昭和 62 年　3 月	自動車文庫「ふるさと」新車更新。車輌は 29 人乗マイクロバス改造で、図書収容冊数 2,300 冊。
平成　2 年　3 月	八幡市民図書館の参考図書室と事務室の改修工事を行い、成人図書室に隣接して参考図書室を設置。事務室を 3 階に移転。
平成　3 年 12 月	男山市民図書館(現八幡市立生涯学習センター１階)新築落成。12 月 1 日に開館式を挙行、同日午後 1 時から業務開始。個人貸出の冊数制限を一人 4 冊 2 週間から 12 冊 3 週間とする。

年　　月	事　　項
平成　9年　4月	八幡市駅前の観光案内所に、返却ポスト設置。
12月	コンピュータをパソコン(三菱電機)によるクライアント・サーバー方式に変更。
平成 10年 10月	開館以来八幡市立図書館の貸出総数が1,000万冊を達成。
平成 11年　3月	八幡市立図書館条例及び規則の一部改正。
4月	コピー手数料1枚10円に値下げ。
7月	八幡・男山市民図書館の両館で、除籍雑誌のリサイクル市を開催。
平成 13年　1月	開館 20 周年記念式典。自動車文庫「ふるさと」を新車更新。車輌は LP ガス使用のデリバリータイプで図書収容冊数1,000冊。
平成 14年　1月	京都府総合目録ネットワークに参加。
平成 15年　1月	図書館のホームページを開設。インターネットによる蔵書検索が可能となる。
6月	橋本公民館内に返却ポスト設置。
平成16年　3月	コンピュータ・システムを更新。
10月	インターネットによる予約受付、Ｅメールによる取り置き連絡サービスを開始。
平成17年　1月	八幡市図書館協議会から「市民図書館の管理運営のあり方について」の答申を受ける。
3月	「八幡市子どもの読書活動推進計画」を策定。
平成19年　4月	今年度より、祝日にあたる土曜日を開館とする。
平成20年　6月	八幡市民図書館参考図書室にイントラネット端末を２台設置。インターネット情報検索機能を整備。
12月	男山第二中学校ブロック推薦図書目録『本っておもしろい読書ってたのしいーあの先生がすすめる１冊ー』小学生版、中学生版を作成・配布。
平成21年　7月	コンピュータ・システムを更新。京都府図書館総合目録ネットワークの横断検索稼動。
平成22年　3月	八幡市立小中学校教員・市民図書館員・教育委員・教育長・市長による推薦図書目録『みんなの本だな 小学生版』『みんなの本棚 中学生版』を作成・配布。
6月	朝日新聞データベースの利用開始。
6月	子育て支援コーナーを八幡市民図書館児童図書室に新設し、マタニティと子育て関連図書を児童図書室に集約。
平成23年　6月	休館日を変更。八幡市民図書館は毎週金曜日を休館、男山市民図書館は毎週月曜日・祝日の翌日を休館とする。
10月	子育て支援コーナーを男山市民図書館に新設。
平成24年　2月	ヤングアダルトコーナーを八幡市民図書館児童室に設置。
4月	「八幡市子どもの読書活動推進計画（第二次）」を策定。
8月	美濃山コミュニティセンター内に返却ポストを設置。
平成25年 12月	観光パンフレット等市内情報のコーナー設置。
平成26年　9月	八幡市民図書館大規模改修工事実施。
12月	コンピュータ・システム更新。
平成27年　4月	八幡市民図書館リニューアルオープン。
平成29年　2月	男山市民図書館空調設備等改修工事実施。
平成30年　4月	「八幡市子どもの読書活動推進計画（第三次）」を策定。
11月	雑誌スポンサー制度導入。（契約行為）

（４）運営方針

奉仕計画に定めた「気軽に親しめる利用しやすい図書館」「誰でも何でも知ることのできる図書館」「市内全域サービスの拠点となる図書館」を目標に図書館活動を推進しており、これらの目標達成のために、次のようなサービスを実施している。

1. 貸出と読書案内
2. 読書普及(研修会・講演会等の開催)
3. 調査研究に役立つ資料提供・紹介
4. 文献複写サービス
5. 自動車文庫の運行
6. 図書館の利用に障がいのある人へのサービス
7. 郷土資料・行政資料の収集と提供
8. 図書等活字媒体の他、多様な情報媒体の収集と提供

（５）図書館協議会

（令和元年７月現在）

役　　職	氏　　名	適　　用
会　　長	小 牧　久 仁	学識経験者
副　会　長	高 橋　　武	朗読ボランティアサークル
委　　員	吉 川　栄 樹	青少年育成団体
委　　員	真 殿　智 子	ＰＴＡ連絡協議会
委　　員	森 川　正 子	女性団体
委　　員	伊東　知恵美	八幡おはなしの会
委　　員	笠 原　直 文	校長会代表
委　　員	藤 下　　昭	市民公募

（順不同・敬称略）

（６）所蔵資料

１．図　書

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

		児童図書	成人図書	参考図書	郷土・行政
0	総記	488	5,619	1,365	103
1	哲学・宗教	478	6,303	226	117
2	歴史・地理	1,887	13,438	1,495	841
3	社会科学	1,086	23,323	1,870	1,039
4	自然科学	7,791	11,964	732	126
5	技術・工学	3,528	19,149	555	254
6	産業	304	5,525	327	130
7	芸術・スポーツ	4,986	18,637	570	182
8	言語	583	2,630	534	33
9	文学	875	11,496	739	120
F	日本の小説	11,484	22,037		17
E	日本のエッセイ	12	5,260		46
N	外国の小説	9,535	2,470		
B	個人伝記	254	1,615	1	16
M	マンガ	8	2,146		
ブンコ	文庫		32,805		2
えほん	絵本	16,678	27		
紙芝居	紙芝居	948	14		
ﾀﾞｲｶﾂｼﾞ	大活字図書		1,657		
G	外国語の図書	408	35		
小　計		61,333	186,150	8,414	3,026
全館合計		258,923			

2. 雑 誌

八幡市民図書館		男山市民図書館	
購 入	113 種	購 入	105 種
寄 贈	26 種	寄 贈	19 種

3. 新 聞

八幡市民図書館		男山市民図書館	
購 入	9 種	購 入	10 種
寄 贈	2 種	寄 贈	3 種

4. 視 覚 資 料

	児童	成人
レコード	0 点	595 点
テープ	0 点	326 点
CD	2 点	2,007 点
VT・DVD （VT～ビデオテープ）	1 点	74 点

5. 点 字

八幡市民図書館	男山市民図書館
20 冊	14 冊

（7）利用状況

	全 体	八幡市民図書館	男山市民図書館	自動車文庫 （移動図書館）
利用者数	11,650 人（市民の 16.4 %）			
貸出冊数	520,919 冊 （市民 1 人当り 7.3 冊）	231,611 冊 （うち児童書 49,495 冊）	274,224 冊 （うち児童書 57,246 冊）	15,084 冊 （うち児童書 7,497 冊）
団体貸出	4,261 冊	1,955 冊	722 冊	1,584 冊
調査・相談	691 冊	501 冊	190 冊	
コピーサービス	8,940 冊	6,206 冊	2,734 冊	

障害者サービス	全 体	
点字図書・雑誌貸出	644 タイトル	645 冊
録音図書・雑誌貸出	443 タイトル	443 冊
郵送貸出		380 冊
送達貸出		693 冊

（８）年度別統計

年　度	登録者数（人）	登録率（%）	蔵書数（冊）	うち児童書	貸出冊数（冊）	うち自動車文庫	うち男山市民図書館	人口一人当り貸出冊数
昭和55年度	13,825	—	35,201	21,747	100,851	21,747		—
56年度	18,014	26.5	54,323	23,215	339,703	69,128		5.14
57年度	13,378	19.3	68,073	27,650	369,671	81,736		5.44
58年度	15,058	21.3	83,045	32,797	403,260	100,455		5.82
59年度	15,900	22.2	92,110	35,708	426,200	111,347		6.03
60年度	15,704	21.6	104,505	39,999	461,404	115,169		6.42
61年度	16,666	22.8	113,699	40,583	493,419	119,579		6.77
62年度	16,947	23.1	123,641	43,392	500,844	119,295		6.84
63年度	16,619	22.5	134,245	44,707	497,709	114,124		6.73
平成元年度	16,209	21.8	140,897	44,835	479,963	106,881		6.45
2年度	15,627	20.3	146,209	43,717	449,171	89,475		5.97
3年度	20,523	27.1	179,891	54,610	628,943	66,417	189,446	8.29
4年度	21,874	28.8	195,241	56,697	814,211	27,468	495,730	10.72
5年度	21,530	28.3	208,082	58,002	795,784	17,113	481,706	10.44
6年度	21,314	28.0	217,535	56,141	779,065	15,124	460,997	10.24
7年度	20,795	27.5	223,294	56,802	747,556	17,123	427,155	9.88
8年度	19,974	26.6	228,206	55,650	695,219	13,583	391,255	9.25
9年度	18,834	25.3	233,620	56,366	654,478	19,374	370,738	8.79
10年度	17,845	24.2	239,295	56,275	661,295	9,256	390,899	8.96
11年度	17,339	23.6	243,560	56,921	664,245	7,791	398,570	9.04
12年度	16,487	22.5	243,699	58,409	629,048	8,037	379,633	8.59
13年度	16,998	23.0	239,112	57,920	606,065	7,176	364,679	8.22
14年度	17,350	23.4	240,068	59,818	608,081	6,250	365,633	8.20
15年度	17,723	23.9	237,234	59,334	610,111	8,541	369,723	8.23
16年度	14,688	19.8	237,131	58,104	596,751	8,397	357,473	8.05
17年度	16,067	21.7	239,512	58,413	557,712	7,564	335,978	7.55
18年度	15,720	21.3	242,384	58,139	562,628	8,409	342,867	7.66
19年度	14,704	19.9	241,537	58,376	571,670	8,337	341,407	7.76
20年度	15,329	20.7	241,722	58,507	599,548	8,398	352,921	8.10
21年度	14,574	19.7	243,695	58,776	620,859	9,459	363,232	8.38
22年度	14,692	19.8	242,478	58,709	612,291	9,203	350,867	8.25
23年度	14,197	19.1	237,946	58,877	621,371	10,003	353,534	8.38
24年度	14,555	19.8	244,936	59,225	607,021	10,859	342,010	8.25
25年度	14,226	19.4	237,206	40,468	601,202	11,867	334,896	8.22
26年度	12,946	17.7	240,160	61,130	539,973	13,294	416,802	7.40
27年度	13,486	18.6	243,610	60,693	529,486	11,408	333,914	8.18
28年度	12,547	17.4	247,333	58,827	524,938	15,014	237,403	7.30
29年度	12,292	17.2	256,761	60,898	533,100	15,084	276,379	7.44
30年度	11,650	16.4	258,923	61,333	520,919	15,084	274,224	7.32

年度別統計内訳（貸出冊数）
◆八幡市民図書館◆

年度（開館日数）	図書				雑誌		紙芝居	視聴覚資料				合計
	児童	成人	参考	郷土	児童	成人		レコード	テープ	ＣＤ	ＶＴ	
昭和55年度（71）	51,136	27,968										79,104
56年度（273）	152,066	117,516	993									270,575
57年度（273）	143,398	142,976	1,561									287,935
58年度（274）	143,315	156,640	2,850									302,805
59年度（274）	138,917	172,496	3,440									314,853
60年度（264）	137,843	194,625	13,767									346,235
61年度（274）	120,332	202,210	3,057		2,448	12,131	13,936	3,459	15,583	684		373,840
62年度（276）	119,120	207,286	4,538		2,434	12,932	14,279	3,138	15,662	2,160		381,549
63年度（269）	113,378	216,485	4,634		1,812	11,152	12,898	1,871	16,578	4,777		383,585
平成元年度（276）	107,930	214,614	5,208		1,753	10,466	10,363	1,133	16,263	5,352		373,082
2年度（245）	98,103	218,050	4,433		1,720	11,094	7,965	808	12,913	4,610		359,696
3年度（272）	99,121	226,794	3,820		1,737	11,044	7,077	489	16,448	6,550		373,080
4年度（275）	73,608	183,413	3,049		1,873	10,585	4,259	308	9,324	4,594		291,013
5年度（272）	73,070	190,244	3,416		2,052	9,957	5,037	185	7,509	5,495		296,965
6年度（274）	72,835	194,839	3,671		2,142	10,834	4,222	102	6,986	7,313		302,944
7年度（279）	67,032	198,340	3,673		1,900	11,503	4,051	22	6,893	9,864		303,278
8年度（277）	66,682	190,460	2,544	520	1,854	10,923	3,517	4	5,522	8,261	94	290,381
9年度（273）	58,459	184,303	2,115	575	1,411	11,953	2,999	2	4,761	6,704	84	273,366
10年度（278）	50,982	181,333	1,873	448	1,216	11,796	3,060	6	4,064	6,312	60	261,150
11年度（279）	48,911	180,645	1,824	418	1,014	11,746	2,545	3	3,628	7,014	136	257,884
12年度（278）	42,977	172,342	1,486	426	993	11,365	2,480	4	2,453	6,759	93	241,378
13年度（278）	40,291	167,871	1,260	381	1,281	11,986	2,323	10	2,182	6,584	41	234,210
14年度（276）	45,408	164,862	1,263	492	1,042	11,768	2,495	4	1,918	6,924	22	236,198
15年度（279）	45,755	160,965	1,429	492	1,064	12,053	2,174	8	1,746	6,122	39	231,847
16年度（280）	49,531	156,868	1,075	386	1,054	12,072	2,193	2	1,486	6,175	41	230,883
17年度（277）	45,898	145,871	900	342	669	11,423	2,003	1	1,225	5,650	188	214,170
18年度（277）	47,908	145,879	745	362	845	10,682	2,099	2	762	4,903	165	214,352
19年度（279）	49,894	152,363	802	395	1,006	10,369	2,264	0	330	4,373	130	221,926
20年度（278）	55,699	163,233	720	424	940	10,018	2,426	1	112	4,537	119	238,229
21年度（281）	56,005	173,266	638	589	1,055	10,270	2,051	5	31	4,165	90	248,165
22年度（278）	58,605	176,335	699	604	11,946		4,032	－	－	－	90	252,311
23年度（281）	58,767	180,343	693	590	13,411		4,030	－	－	－	－	257,834
24年度（283）	55,710	180,584	584	539	13,500		3,244	－	－	－	－	254,161
25年度（282）	55,401	179,070	602	594	14,224		1,925	－	－	2,610	13	254,439
26年度（122）	25,791	76,674	236	199	6,014		734	－	5	983	6	110,642
27年度（279）	54,533	176,417	567	489	12,081		1,079	0	10	1,986	2	247,164
28年度（283）	57,634	194,832	510	538	14,852		1,465	0	4	2,682	4	272,521
29年度（284）	50,750	173,577	528	489	13,036		1,277	0	2	1,977	1	241,637
30年度（283）	48,102	167,607	384	450	12,030		944	0	34	2,058	2	231,611

年度別統計内訳（貸出冊数）
◆男山市民図書館◆

年度（開館日数）	図書				雑誌		紙芝居	視聴覚資料				合計
	児童	成人	参考	郷土	児童	成人		レコード	テープ	ＣＤ	ＶＴ	
平成3年度（90）	82,795	85,582	280		953	4,510	5,666	0	2,653	7,007		189,446
4年度（275）	191,377	246,413	768		4,036	16,565	11,586	1	7,870	17,114		495,730
5年度（272）	143,817	277,708	1,012		3,454	19,966	9,054	0	7,621	19,074		481,706
6年度（278）	124,765	279,462	995		2,891	19,889	7,927	1	6,427	18,640		460,997
7年度（279）	99,341	276,893	988		2,167	20,135	7,037	0	3,763	16,831		427,155
8年度（277）	87,594	259,731	646	305	1,823	18,103	5,067	0	3,186	14,780	20	391,255
9年度（273）	73,411	255,103	621	208	1,748	18,968	4,548	0	2,647	13,443	41	370,738
10年度（278）	77,688	272,157	625	194	1,807	19,359	4,719	0	2,472	11,816	52	390,889
11年度（279）	78,345	277,638	667	231	1,980	21,270	3,978	0	2,455	11,974	32	398,570
12年度（278）	80,517	260,113	508	160	1,294	19,442	4,176	1	2,006	11,384	32	379,633
13年度（278）	75,293	250,568	482	182	1,068	18,466	3,579	0	1,660	13,356	25	364,679
14年度（277）	79,216	246,815	495	183	1,169	18,265	3,330	0	1,778	14,367	15	365,633
15年度（280）	82,144	248,194	531	179	1,445	18,784	3,401	0	1,247	13,795	3	369,723
16年度（281）	77,905	241,219	494	176	1,289	19,205	3,251	1	1,132	12,791	10	357,473
17年度（278）	74,019	228,477	459	252	891	17,176	2,882	2	932	10,885	3	335,978
18年度（278）	80,609	230,531	416	144	902	15,440	2,900	0	822	11,081	22	342,867
19年度（280）	79,762	223,538	409	148	924	13,904	2,594	0	758	9,325	45	331,407
20年度（279）	74,359	249,516	429	165	929	14,730	2,740	2	448	9,354	249	352,921
21年度（282）	76,525	257,260	337	180	1,061	14,964	2,493	7	431	9,597	377	363,232
22年度（278）	76,595	250,249	287	264	14,606		8,866	－	－	－	－	350,867
23年度（284）	78,747	250,809	297	231	15,182		8,268	－	－	－	－	353,534
24年度（288）	74,497	244,634	245	140	15,069		7,425	－	－	－	－	342,010
25年度（288）	70,645	239,110	221	210	15,649		2,525	－	－	6,506	30	334,896
26年度（289）	88,847	297,105	304	347	23,290		2,708	－	343	6,511	23	419,478
27年度（288）	72,072	234,862	227	239	17,704		2,422	0	229	6,150	9	333,914
28年度（231）	50,683	167,985	227	154	12,626		1,545	0	97	4,084	2	237,403
29年度（286）	57,195	199,570	135	177	13,191		1,563	0	125	4,418	5	276,379
30年度（285）	55,395	201,374	121	156	12,252		1,220	0	159	3,532	15	274,224

年度別統計内訳（貸出冊数）
◆自動車文庫◆

年度（開館日数）	図書				雑誌		紙芝居	視聴覚資料				合計
	児童	成人	参考	郷土	児童	成人		レコード	テープ	ＣＤ	ＶＴ	
昭和55年度（72）	15,020	6,727										21,747
56年度（231）	45,623	23,505										69,128
57年度（217）	52,545	29,191										81,736
58年度（211）	65,429	35,026										100,455
59年度（223）	74,336	37,011										111,347
60年度（216）	76,702	38,467										115,169
61年度（225）	71,888	38,833			42	942	7,874					119,579
62年度（197）	69,150	42,186			63	631	7,265					119,295
63年度（185）	65,622	41,220			33	707	6,542					114,124
平成元年度（190）	62,076	39,463			33	648	4,661					106,881
2年度（164）	50,760	34,435			56	640	3,584					89,475
3年度（163）	39,219	24,081			31	513	2,573					66,417
4年度（139）	17,299	8,901			32	152	1,084					27,468
5年度（108）	10,119	6,260			9	75	650					17,113
6年度（99）	8,771	5,769			8	78	498					15,124
7年度（99）	9,895	6,649			7	108	464					17,123
8年度（109）	8,144	4,918	9	5	2	38	461	0	6	0	0	13,583
9年度（116）	6,111	3,882	3	2	2	9	365	0	0	0	0	10,374
10年度（114）	5,820	3,190	4	0	2	13	227	0	0	0	0	9,256
11年度（115）	4,534	3,023	2	1	0	2	227	0	2	0	0	7,791
12年度（114）	4,543	3,132	0	1	48	7	306	0	0	0	0	8,037
13年度（98）	3,920	3,012	1	0	6	21	216	0	0	0	0	7,176
14年度（103）	3,371	2,666	0	0	17	19	177	0	0	0	0	6,250
15年度（101）	4,353	3,771	5	17	9	81	305	0	0	0	0	8,541
16年度（97）	4,661	3,244	3	2	3	152	318	0	0	14	0	8,397
17年度（ 95）	3,910	3,301	2	1	1	147	200	0	0	2	0	7,564
18年度（97）	4,066	3,894	5	2	4	167	263	0	0	8	0	8,409
19年度（99）	4,315	3,694	1	2	25	89	209	0	0	2	0	8,337
20年度（97）	4,067	4,020	1	0	26	98	186	0	0	0	0	8,398
21年度（98）	4,802	4,384	1	14	9	120	129	0	0	0	0	9,459
22年度（98）	4,606	4,453	6	14	131		－	0	0	0	0	9,210
23年度（92）	4,976	4,829	3	5	187		－	0	0	3	0	10,003
24年度（98）	5,873	4,792	3	5	178		－	0	0	8	0	10,859
25年度（102）	6,114	5,278	4	4	237		230	0	0	0	0	11,867
26年度（86）	6,737	6,211	1	4	340		176	0	0	1	0	13,470
27年度（92）	5,997	4,990	5	0	229		186	0	0	3	0	11,410
28年度（107）	7,442	6,975	7	3	429		152	0	0	6	0	15,014
29年度（99）	7,654	6,860	8	2	420		133	0	0	7	0	15,084
30年度（99）	7,395	7,042	5	0	542		100	0	0	0	0	15,084

年度別統計内訳（貸出冊数）
◆全館合計◆

年　度	図　　書				雑　誌		紙芝居	視　聴　覚　資　料				合計
	児童	成人	参考	郷土	児童	成人		レコード	テープ	ＣＤ	ＶＴ	
昭和55年度	66,156	34,695	0									100,851
56年度	197,689	141,021	993									339,703
57年度	195,943	172,167	1,561									369,671
58年度	208,744	191,666	2,850									403,260
59年度	213,253	209,507	3,440									426,200
60年度	214,545	233,092	13,767									461,404
61年度	192,220	241,043	3,057		2,490	13,073	21,810	3,459	15,583	684		493,419
62年度	188,270	249,472	4,538		2,497	13,563	21,544	3,138	15,662	2,160		500,844
63年度	179,000	257,705	4,634		1,845	11,859	19,440	1,871	16,578	4,777		497,709
平成元年度	170,006	254,077	5,208		1,786	11,114	15,024	1,133	16,263	5,352		479,963
2年度	148,863	252,485	4,433		1,776	11,734	11,549	808	12,913	4,610		449,171
3年度	221,135	336,457	4,100		2,721	16,067	15,316	489	19,101	13,557		628,943
4年度	282,284	438,727	3,817		5,941	27,302	16,929	309	17,194	21,708		814,211
5年度	227,006	474,212	4,428		5,515	29,998	14,741	185	15,130	24,569		795,784
6年度	206,371	480,070	4,666		5,041	30,801	12,647	103	13,413	25,953		779,065
7年度	176,268	481,882	4,661		4,074	31,746	11,552	22	10,656	26,695		747,556
8年度	162,420	455,109	3,199	830	3,679	29,064	9,045	4	8,714	23,041	114	695,219
9年度	137,981	443,288	2,739	785	3,161	30,930	7,912	2	7,408	20,147	125	654,478
10年度	134,490	456,680	2,502	642	3,025	31,168	8,006	6	6,536	18,128	112	661,295
11年度	131,790	461,306	2,493	650	2,994	33,018	6,750	3	6,085	18,988	168	664,245
12年度	128,037	435,587	1,994	587	2,335	30,814	6,962	5	4,459	18,143	125	629,048
13年度	119,504	421,451	1,743	563	2,355	30,473	6,118	10	3,842	19,940	66	606,065
14年度	127,995	414,343	1,758	675	2,228	30,052	6,002	4	3,696	21,291	37	608,081
15年度	132,252	412,930	1,965	688	2,518	30,918	5,880	8	2,993	19,917	42	610,111
16年度	132,097	401,331	1,572	564	2,346	31,429	5,762	3	2,618	18,980	51	596,753
17年度	123,827	377,649	1,361	595	1,561	28,746	5,085	3	2,157	16,537	191	557,712
18年度	132,583	380,304	1,166	508	1,751	26,289	5,262	2	1,584	15,992	187	565,628
19年度	133,971	379,595	1,212	545	1,955	24,362	5,067	0	1,088	13,700	175	561,670
20年度	134,125	416,769	1,150	589	1,895	24,846	5,352	3	560	13,891	368	599,548
21年度	137,332	434,910	976	783	2,125	25,354	4,673	12	462	13,762	467	620,856
22年度	139,806	431,037	992	882	26,683		12,898	－	－	－	90	612,388
23年度	142,490	435,981	993	826	28,780		12,298	－	－	3	0	621,371
24年度	136,080	430,010	832	684	28,747		10,669	－	－	8	0	607,030
25年度	132,160	423,458	827	808	30,110		4,680	－	－	9,116	43	601,202
26年度	121,375	379,990	541	550	29,644		3,618	1	348	7,495	29	543,591
27年度	132,602	416,269	799	728	30,014		3,687	0	239	8,139	11	592,488
28年度	115,759	369,792	744	695	27,907		3,162	0	101	6,772	6	524,938
29年度	115,599	380,007	671	668	26,647		2,973	0	127	6,402	6	533,100
30年度	110,892	376,023	510	606	24,824		2,264	0	193	5,590	17	520,919

（９）建物の概要

【八幡市民図書館】

規　模　　・鉄筋コンクリート造　　・地上３階建　一部４階　１，７９８.12㎡
　　・床面積内訳（１階　５６５.21㎡　２階　５５７.64㎡
　　３階　５６１.02㎡　４階　　７８.25㎡　塔屋３６.00㎡）

内　訳

室　名	室　数	面　積（㎡）	室　名	室　数	面　積（㎡）
児童図書室	1	250	事務室	1	144
機械室	1	42	参考図書室	1	147
便所	3	78.9	福祉コーナー	1	40
授乳室	1	4.1	対面朗読室	2	10
多目的トイレ	1	4.1	集会室	1	80
自動車文庫・作業室	1	33	書庫	3	203
車庫	1	66	ホール・階段	3	198
成人図書室	1	250	その他		248.02
			計		1,798.12

【男山市民図書館】

規　模　　・鉄筋コンクリート造　・地上３階建　３，２６１㎡のうち　１階７９０㎡

内　訳

室　名	面　積（㎡）
開架フロア	515
おはなしのへや	33
対面朗読室	17
書庫	81
事務室	84
その他	60
計	790

９　文化財概要

八幡市内の文化財一覧

（令和元年５月現在）

国　宝

種　別	名　　称	員　数	時　代	指定年月日	所有者又は管　理　者	所在地
建造物 １件	石清水八幡宮本社本殿	１棟	寛永 11 年 (1634)	平成 28 年 2 月 9 日	石清水八幡宮	八幡高坊
	摂社武内社本殿	１棟				
	瑞籬	１棟				
	幣殿及び舞殿	１棟				
	楼門	１棟				
	東門	１棟				
	西門	１棟				
	廻廊	３棟				

重　要　文　化　財

種　別	名　　称	員　数	時　代	指定年月日	所有者又は管　理　者	所在地
建造物 ４件	石清水八幡宮摂社若宮社本殿	１棟	江戸前期	平成 20 年 12 月 2 日	石清水八幡宮	八幡高坊
	摂社若宮殿社本殿	１棟				
	摂社水若宮社本殿	１棟				
	摂社住吉社本殿	１棟				
	東総門	１棟				
	西総門	１棟				
	北総門	１棟				
	摂社狩尾社本殿	１棟	慶長 6 年 (1601)			橋本狩尾
	石清水八幡宮五輪塔	１基	鎌倉	昭和 32 年 2 月 19 日	石清水八幡宮	八幡高坊
	伊佐家住宅主屋	１棟	享保 19 年 (1734)	昭和 50 年 6 月 23 日	個人	上津屋 浜垣内
	長蔵	１棟	明治 20 年 (1887)	昭和 55 年 12 月 18 日		
	内蔵	１棟	延享 3 年 (1746)			
	東蔵	１棟	延享 3 年頃 (1746 頃)			
	乾蔵	１棟	弘化 4 年 (1847)			

重 要 文 化 財（つづき）

種 別		名 称	員 数	時 代	指定年月日	所有者又は管 理 者	所在地
建造物 4 件		正法寺 本堂	1 棟	寛永 7 年 (1630)	昭和 59 年 5 月 21 日	正法寺	八幡清水井
		大方丈	1 棟				
		唐門	1 棟				
美術工芸品 19 件	絵画 2 件	絹本著色如来像	1 幅	（高麗）	昭和 52 年 6 月 11 日	正法寺	八幡清水井
		絹本著色石清水曼荼羅図	1 幅	鎌倉	昭和 34 年 12 月 18 日	正法寺（京都国立博物館寄託）	
	彫刻（像内納入品含む）10 件	木造達磨大師坐像	1 躯	室町	昭和 2 年 4 月 25 日	圓福寺	八幡福禄谷
		木造阿弥陀如来立像	1 躯	鎌倉	昭和 10 年 4 月 30 日	寿徳院（京都国立博物館寄託）	八幡山路
		紙本墨書筑前国守庁宣写	1 通	建治元年 (1275)			
		紙本墨書仮名消息、詠草、夢記	13 通				
		木造阿弥陀如来坐像	1 躯	鎌倉	大正 6 年 4 月 5 日	正法寺	八幡清水井
		木造元三大師坐像	1 躯		大正 7 年 9 月 12 日	正法寺（京都国立博物館寄託）	
		木造行教律師坐像	1 躯	平安	大正 12 年 8 月 4 日	神應寺	八幡西高坊
		木造釈迦如来坐像	1 躯	正平 16 年 (1361)	昭和 10 年 4 月 30 日	法園寺	八幡源氏垣外
		消息料紙墨書法華経	8 巻	鎌倉～南北朝	昭和 10 年 4 月 30 日	法園寺（京都国立博物館寄託）	八幡源氏垣外
		紙本墨書法華経	8 巻				
		紙本墨書梵網経	2 巻				
		紙本墨書文永四年行清奉納目録並二再興文書	8 通				
		木造薬師如来立像	1 躯	平安	明治 34 年 8 月 2 日	薬薗寺	八幡森垣内
		木造童形神坐像	4 躯	平安～鎌倉	平成 18 年 6 月 9 日	石清水八幡宮	八幡高坊
	工芸品 1 件	石燈籠	1 基	永仁 3 年 (1295)	昭和 37 年 2 月 2 日	石清水八幡宮	八幡高坊
	書跡典籍 4 件	類聚国史巻第１、第５	2 巻	嘉禄 3 年 (1227)	昭和 38 年 7 月 1 日	石清水八幡宮	八幡高坊
		石清水八幡宮護国寺略記	1 巻	寛喜 4 年 (1232)	平成 12 年 6 月 27 日		
		大方等大集経	8 巻	天平 12 年 (740)	昭和 54 年 6 月 6 日	正法寺（京都国立博物館寄託）	八幡清水井
		大般若経	577 帖	奈良	昭和 11 年 5 月 6 日	圓福寺	八幡福禄谷

重 要 文 化 財（つづき）

種 別		名 称	員 数	時 代	指定年月日	所有者又は管 理 者	所在地
美術工芸品 19件	古文書 2件	石清水八幡宮文書	810巻 368冊 21帖 897通 5幅 10鋪 11顆	平安～鎌倉	昭和36年2月27日	石清水八幡宮	八幡高坊
		石清水八幡宮田中宗清願文	2巻	貞永元年(1232) 天福元年(1233)	平成11年6月7日		

国 指 定 史 跡 名 勝 天 然 記 念 物

種 別	名 称	指定面積	指定年月日	所有者又は管 理 者	所在地
史跡 2件	松花堂およびその跡	1,557.82㎡	昭和32年7月1日	石清水八幡宮 八幡市	八幡高坊 八幡女郎花
	石清水八幡宮境内	245,627.63㎡	平成24年1月24日	石清水八幡宮ほか	八幡高坊 八幡平ノ山 八幡大芝
名勝 1件	松花堂及び書院庭園	4,203.7㎡	平成26年10月6日	八幡市	八幡女郎花

国 登 録 有 形 文 化 財

種 別	名 称	員 数	時 代	登録年月日	所有者又は管 理 者	所在地
建造物 3件	中村家住宅大歌堂	1棟	大正6年頃(1917頃)【※大正後期増築】	平成24年8月13日	個人	八幡山柴
	中村家住宅上の蔵	1棟	大正6年(1917)			
	中村家住宅表門	1棟	昭和前期			

京 都 府 指 定 有 形 文 化 財

種 別		名 称	員 数	時 代	指定年月日	所有者又は管 理 者	所在地
建造物 5 件		正法寺 小方丈	1 棟	江戸前期	昭和 58 年 4 月 15 日	正法寺	八幡清水井
		書院	1 棟	宝永 4 年 (1707)			
		鐘楼	1 棟	元和 7 年 (1621)			
		松花堂	1 棟	寛永 14 年 (1637)	昭和 59 年 4 月 14 日	八幡市	八幡女郎花
		善法律寺 本堂	1 棟	江戸前期	平成 16 年 3 月 19 日	善法律寺	八幡馬場
		表門	1 棟	宝暦 9 年 (1759)			
		御園神社 本殿	1 棟	元禄 14 年 (1701)	平成 19 年 3 月 16 日	御園神社	上奈良御園
		石清水八幡宮 摂社石清水社 本殿	1 棟	江戸前期	平成 21 年 3 月 24 日	石清水八幡宮	八幡高坊
		摂社石清水社 神水舎	1 棟	・石造部分 寛永 15 年 (1638) ・木造部分 文化 12 年 (1815)			
		摂社石清水社 鳥居	1 基	寛永 13 年 (1636)			
		校倉（宝蔵）	1 棟	江戸中期			
美術工芸品 9 件	彫刻 3 件	木造神像 男神像(5 躯→) 1 躯 女神像 2 躯 僧形神像 1 躯	(8 躯→) 4 躯	平安～室町	（ ）内、男神像 5 躯のうち 4 躯「童形神坐像」平成 18 年 6 月 9 日重要文化財指定により府指定解除		
					平成 10 年 3 月 13 日	石清水八幡宮	八幡高坊
		木造阿弥陀如来立像	1 躯	文暦 2 年 (1235)	平成 23 年 3 月 25 日	宝寿院（山城郷土資料館寄託）	美濃山大塚
		木造阿弥陀如来立像	1 躯	弘安 8 年 (1285)	平成 30 年 3 月 23 日	正法寺	八幡清水井
	工芸品 2 件	鰐口	1 口	元弘 2 年 (1332)	昭和 60 年 5 月 15 日	神應寺	八幡西高坊
		雲版	1 面	永徳 2 年 (1382)	昭和 61 年 4 月 15 日	本妙寺	八幡城之内

京都府指定有形文化財（つづき）

種別		名称	員数	時代	指定年月日	所有者又は管理者	所在地
美術工芸品 9件	書跡典籍 1件	紺紙金字無量寿経	2巻	平安	平成19年3月16日	正法寺（山城郷土資料館寄託）	八幡清水井
		紺紙金字観無量寿経	1巻				
		紺紙金字阿弥陀経	1巻				
	古文書 2件	正法寺文書	9,383点	鎌倉～明治	平成4年4月14日	正法寺（山城郷土資料館寄託）	八幡高坊
		林家文書	1,467点	南北朝～明治	平成23年3月25日	個人（山城郷土資料館寄託）	八幡清水井
	考古資料 1件	石清水八幡宮境内出土品	12個	江戸時代	平成30年3月23日	石清水八幡宮	八幡東浦

京都府指定史跡名勝天然記念物

種別	名称	指定面積	指定年月日	所有者又は管理者	所在地
史跡 1件	狐谷横穴群	1,634㎡	昭和58年4月15日	京都府	美濃山狐谷
名勝 1件	正法寺庭園	774㎡ 374㎡	平成元年4月14日	正法寺	八幡清水井 八幡式部谷
天然記念物 1件	石清水八幡宮御文庫のクスノキ及び神楽殿のクスノキ	244㎡	昭和61年4月15日	石清水八幡宮	八幡高坊

京都府登録有形文化財

種別	名称	員数	時代	登録年月日	所有者又は管理者	所在地
建造物 2件	内神社　本殿	1棟	江戸中期	昭和58年4月15日	内神社	内里内
	松花堂書院	1棟	江戸前期	昭和59年4月14日	八幡市	八幡女郎花
	玄関	1棟				

京都府登録無形民俗文化財

名称	登録年月日	保護団体	所在地
御園神社のずいき御輿・天狗・獅子	平成19年3月16日	上奈良区	上奈良御園

京都府文化財環境保全地区

名称	決定年月日	所有者又は管理者	所在地
内神社文化財環境保全地区	昭和58年4月15日	内神社	内里内
正法寺文化財環境保全地区	平成 2年 4月17日	正法寺	八幡清水井 八幡式部谷 八幡隅田口

京都府暫定登録有形文化財

種別		名称	員数	登録年月日	所有者又は管理者	所在地
美術工芸品 22件	絵画 13件	紙本著色徳川家康像	1幅	平成29年9月29日	正法寺	八幡清水井
		紙本著色相応院像	1幅			
		絹本著色仏涅槃図	1幅			
		絹本著色釈迦十六善神像	1幅			
		絹本著色地蔵菩薩像	1幅			
		絹本著色十王十本地仏図	1幅			
		絹本著色伝観経変相図	1幅			
		絹本著色観音像	1幅			
		絹本著色釈迦如来像	1幅			
		絹本著色文殊菩薩像	1幅			
		絹本著色普賢菩薩像	1幅			
		絹本著色十八羅漢像　右幅	1幅			
		絹本著色十八羅漢像　左幅	1幅			

京都府暫定登録有形文化財（つづき）

種別		名称	員数	登録年月日	所有者又は管理者	所在地
美術工芸品 22件	彫刻 4件	木造阿弥陀如来立像	1躯	平成29年9月29日	正法寺	八幡清水井
		木造阿弥陀如来坐像	1躯			
		木造観音菩薩坐像	1躯			
		木造勢至菩薩坐像	1躯			
	古文書 1件	伊佐家文書	一括	平成29年12月27日	個人	上津屋浜垣内
	考古資料 3件	円筒棺 ヒル塚古墳出土	1点	平成29年12月27日	八幡市	八幡東浦
		渦巻装飾付剣 ヒル塚古墳出土	1口			
		方格規矩鳥文鏡 ヒル塚古墳出土	1面			
	歴史資料 1件	伊佐家和算関係資料	一括	平成29年12月27日	個人	上津屋浜垣内

京都府暫定登録有形民俗文化財

名称	員数	登録年月日	所有者又は管理者	所在地
八幡の神札・護符等版木及び関連用具	36点	平成29年12月27日	八幡市	八幡東浦
上津屋の川舟	1隻			

八 幡 市 指 定 文 化 財

種 別		名　　称	員 数	時　代	指定年月日	所有者又は管　理　者	所在地
美術工芸品 17件	絵画 5件	松鳩図絵馬	1 面	天明 7 年（1787）	昭和 61 年 5 月 27 日	石清水八幡宮	八幡高坊
		神応寺障壁画	21 面	江戸初期	平成 9 年 11 月 11 日	神應寺	八幡西高坊
		絹本著色孔雀図	1 隻	江戸後期	平成 18 年 4 月 4 日	善法律寺	八幡馬場
		絹本著色行教和尚像	1 幅	天文 5 年（1536）			
		絹本著色僧形八幡像	1 幅	文明 5 年（1473）			
	彫刻 10 件	木造地蔵菩薩立像	1 躯	鎌倉初期	昭和 61 年 5 月 27 日	世音寺	八幡神原
		木造釈迦如来坐像	1 躯	平安	平成 8 年 12 月 3 日	念佛寺	八幡旦所
		木造天部形立像（伝帝釈天立像）	1 躯	平安	平成 8 年 12 月 3 日	西遊寺	橋本中ノ町
		木造矜羯羅童子立像	1 躯	南北朝～室町前期	平成 13 年 11 月 13 日	神應寺	八幡西高坊
		木造制多迦童子立像	1 躯				
		木造地蔵菩薩立像	1 躯	平安後期	平成 18 年 4 月 4 日	善法律寺	八幡馬場
		木造宝冠阿弥陀如来坐像	1 躯	南北朝			
		木造十一面千手観音立像	1 躯	鎌倉後期			
		木造地蔵菩薩坐像（伝八幡大菩薩像）	1 躯	平安末期			
		木造不動明王坐像	1 躯	鎌倉			
		木造愛染明王坐像	1 躯	鎌倉			
	古文書 1件	本妙寺文書	40 通	室町～江戸	平成 8 年 6 月 11 日	本妙寺	八幡城之内
	考古資料 1件	西山廃寺出土品	一括	白鳳～南北朝	昭和 61 年 5 月 27 日	八幡市教育委員会	男山松里

八幡市立ふるさと学習館

（令和元年５月現在）

目　　的

市内から出土した考古資料や、市民から寄贈された民俗資料を整理して、調査研究を行い広く公開するため展示をしている。またそれらの資料は、学校の学習教材として提供したり、体験学習などで活用している。さらに、地域の歴史や文化に関する質問・相談にも対応している。

開館時間

午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分

休　館　日

毎週土曜日・日曜日・国民の祝日
1 月 2 日から同月 4 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで

使　用　料

無料（ただし、団体利用の場合は事前の申込みが必要）

施設概要

収蔵展示室…内里八丁遺跡の弥生時代の水田模型、ヒル塚古墳出土の粘土槨や埴輪円筒棺などの考古資料と、農耕用や物資を運ぶ舟など人々の生活を示す資料、碾茶（てんちゃ）や筍栽培といった八幡の産業に関する資料等を展示している。

埋蔵文化財展示室 …市内より出土した弥生時代から江戸時代の考古資料を、イラストや模型と共にわかりやすく展示している。〔約 100 点〕

展示資料【弥生時代】美濃山の集落群など【古墳時代】大芝古墳、女谷・荒坂横穴群【飛鳥時代】四天王寺の瓦を焼いた楠葉平野山窯跡、【奈良時代】西山廃寺（足立寺（そくりゅうじ））・志水廃寺・美濃山廃寺【中近世】上津屋遺跡、上奈良遺跡、清水井遺跡、石清水八幡宮

民俗展示室 …民俗資料とは、人々が長い時間をかけて工夫を重ねてきた生産や生活の道具。ここでは、主に米作りに使われた道具（農具）を作業の流れに沿って、写真やパネルと合わせて展示している。〔約 40 点〕

体験学習室 …畳を敷いて、ちゃぶ台や火のし、火鉢などの生活道具を展示し、昔の暮らしを再現している。

所　在　地

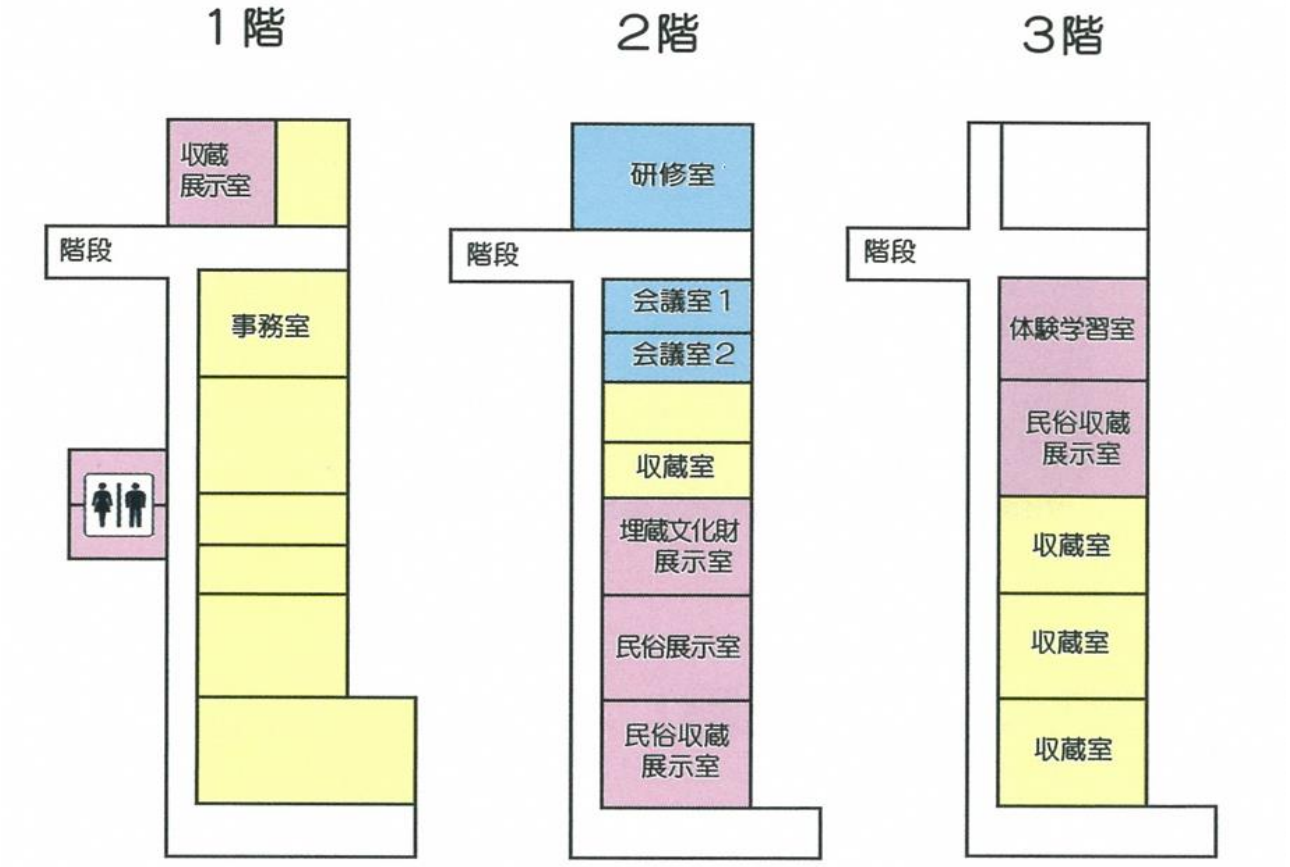
八幡市八幡東浦 5 番地（旧八幡東小学校内）
ＴＥＬ(075)972-2580　ＦＡＸ(075)972-2588

構造・規模

鉄筋コンクリート造　３階建　　建築面積：約 748 ㎡　　延べ床面積：約 2007 ㎡

開設年月日

平成 10 年 12 月 6 日（平成 25 年 2 月 25 日付移転）



市内遺跡一覧

番号	名　　称	種　別	所在地	遺跡の概要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
1	御幸橋遺跡	古墳	八幡	御幸橋の西 2 本目橋脚の下	須恵器横瓶、木棺破片	平地	古墳	全壊	
2	橋本経塚	経塚	橋本北ノ町	一字一石経塚	一字一石経石	平地	室町		
3	鳩ヶ峰経塚	経塚	八幡大谷			山頂	平安後期		
3-1	鳩ヶ峰1号経塚	経塚	八幡大谷		常滑壺、瓦経、刀剣	山頂	平安後期		
3-2	鳩ヶ峰2号経塚	経塚	八幡大谷	鳩ケ峰山頂	銅鋳製鍍金経筒（永久 4 年銘）	山頂	平安後期		
4	木津川河床遺跡	集落	八幡、川口、下奈良、上奈良	標高 10m の木津川河川敷他 京都市境　東西 4700×南北 2500m　竪穴住居・貯蔵穴・掘立柱建物・溝・土坑・井戸、1982～86・89・91・94・98～2002・04・06・07・11・12・13 年調査	弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、陶磁器、石器（石斧）、銭貨、金環、滑石製紡錘車、瓦、刀子	平地	弥生～近世		
5	井関経塚	経塚	下奈良井関		磁器	平地	中世	完存	
6	石不動古墳	前方後円墳	八幡石不動	全長 88m、後円部径 60m、同高 8m、前方部幅 35m、同高 5m、葺石・埴輪・粘土槨 2 基、1943・81 年調査	画文帯神獣鏡、石釧、勾玉、管玉、小玉、棗玉、短甲、剣、刀、鏃、刀子、斧	丘陵頂	古墳前期後半	半壊	
7	西山廃寺（足立寺跡）	寺院跡	男山長沢	丘陵南斜面、東西 30×南北 50m、塔（一辺 5.2m）、金堂、築地、塔心礎移築保存 1968・71 年調査	瓦、土師器、須恵器、瓦器、緑釉陶器、輸入磁器、近世陶磁器、鉄釘、宋銭、磚仏、戯画瓦	丘陵腹	奈良～中世	全壊	①

番号	名　　称	種　別	所在地	遺跡の概要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
8	西山瓦窯跡 （足立寺瓦窯跡）	瓦窯	西山和気	丘陵南斜面　西山廃寺の西南、ロストル式平窯、 長 3.4×幅 1.9m、窯体移築、1971 年発掘	瓦	丘陵腹	奈良	全壊	
9	式部谷遺跡	銅鐸出土地	男山指月	昭和 37 年土取中発見、付近で弥生後期土器出土	突線紐式 6 区画袈裟襷文銅鐸、弥生土器	丘陵腹	弥生	消滅	
10	茶臼山古墳	前方後方墳	男山笹谷	全長 50m、後方部一辺 33m、同高 5m、前方部幅 10m、同高 3m、葺石・埴輪列、 竪穴式石室内舟形石棺 1915・68 年調査	石釧、刀、鏃、埴輪 （円、形象）、和同開弥、金箔	丘陵頂	古墳前期後半	消滅	②
11	西車塚古墳	前方後円墳	八幡大芝	全長 120m、後円部径 60m、同高 8m、前方部幅 60m、同高 5m、3 段築、葺石埴輪列、墳丘西側堀割、竪穴式石室、後円部頂に八角堂 1902・94・99 年調査	三角縁神獣鏡、盤龍鏡、画文帯神獣鏡、仿製六獣鏡、仿製規矩鏡、鍬形石、車輪石、石釧、滑石釧、碧玉、合子、勾玉、管玉、ガラス小玉、水晶丸玉、刀剣、鉄斧、円筒埴輪	台地	古墳前期後半	完存	③
12	東車塚古墳	前方後円墳	八幡女郎花	史跡松花堂庭園内、前方部削平、後円部築山として利用、推定全長 90m、後円部径 50m、前方部幅 30m、葺石・埴輪列、粘土槨（後円部）、木棺直葬？（前方部） 1897・2000 年調査	内行花文鏡、三角縁神獣鏡、仿製鼉龍鏡、仿製六獣鏡、硬玉、勾玉、素環頭大刀、刀剣、斧、鏃、甲冑	平地	古墳前期後半 ～中期前半	半壊	
13	志水廃寺	寺院	八幡月夜田	東西 150×南北 170m、瓦積基壇方 10m 以上、 1977、80、2006 年調査	瓦類、鬼面文軒丸瓦、土師器、須恵器、黒色土器	丘陵裾	奈良～ 平安中期	半壊	④
14	志水瓦窯	瓦窯	八幡中ノ山	1996・97・98 年調査	瓦（平瓦・丸瓦）	丘陵腹	奈良		
14-1	志水 1 号窯	瓦窯	八幡中ノ山	丘陵南斜面、地下式有階段式登窯、全長 5.2×幅 1.4m、志水廃寺所用瓦を焼成	丸瓦、平瓦、土師器	丘陵腹	奈良	完存	⑤
15	中ノ山遺跡	散布地	男山弓岡、 男山石城、 男山吉井	東西 170×南北 210m	弥生土器、土師器、円筒埴輪、瓦（丸、平）	丘陵腹	弥生～奈良	消滅	
16	幣原遺跡	集落	男山竹園、 男山松里、 八幡福禄谷	東西 280×南北 350m、竪穴住居 1968・99 年調査	弥生土器、石匙、土師器、須恵器	丘陵腹	弥生後期～ 古墳前期	消滅	
17	長谷遺跡	散布地	男山竹園、 男山香呂	東西 360×南北 300m	土師器、瓦器	丘陵頂	古墳～中世	消滅	
18	南山遺跡	集落	八幡安居塚、 八幡南山	東西 260×南北 150m、竪穴住居 1986・93 年調査	弥生土器、土師器	丘陵腹	弥生後期～ 古墳前期	半壊	
19	南山古墳群	古墳	男山吉井、 八幡安居塚 八幡福禄谷 八幡備前			丘陵腹	古墳	消滅	
19-1	南山 1 号墳	古墳	男山吉井	円墳		丘陵腹	古墳	全壊	
19-2	南山 2 号墳	古墳	男山吉井	円墳		丘陵腹	古墳	全壊	
19-3	南山 3 号墳	古墳	八幡安居塚	円墳		丘陵腹	古墳	全壊	
19-4	南山 4 号墳	古墳	八幡福禄谷	円墳		丘陵腹	古墳	全壊	
19-5	南山 5 号墳	古墳	八幡福禄谷	円墳	箱式石棺？	丘陵頂	古墳	全壊	
19-6	南山 6 号墳	古墳	八幡備前			丘陵腹	古墳	消滅	
19-7	南山 7 号墳	古墳	八幡備前	方墳、1997 年調査	須恵器、鉄製品	丘陵腹	古墳中～後期	消滅	

番号	名　　称	種 別	所在地	遺跡の概要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
20	ヒル塚古墳	古墳	美濃山ヒル塚	方墳、一辺 52m 以上、高7.5m、3段築、葺石、埴輪列、粘土槨、埴輪円筒棺 1989・2002年調査	須恵器、方格規矩鏡、鏡片、銅製飾り金具、鉄槍、鉄刀、鉄剣、鉄鏃、鉄製農工具類、弥生土器、土師器皿、銭貨、鉄製武器、円筒棺	平地	古墳前期末	半壊	⑥
21	西二子塚古墳	古墳	美濃山西ノ口	円墳、葺石、埴輪列、礫床、1912年調査	直刀、鉄斧頭、土師器、須恵器、練玉、砥石、埴輪	丘陵腹	古墳中期	消滅	
22	東二子塚古墳	古墳	美濃山幸水	円墳、葺石、埴輪、礫床、1919年発掘 80・90年調査	仿製獣形鏡、鏃、直刀、須恵器、埴輪	丘陵腹	古墳中期	全壊	
23	金右衛門垣内遺跡 （井ノ元遺跡）	集落	美濃山井ノ元	弥生時代中期拠点集落の可能性。1984年発掘	ナイフ形石器、弥生土器、石包丁、石斧、石鏃、石錐、磨製石剣、磨製石鏃、土製紡錘車、石製模造品（勾玉、有孔円板）、管玉、管玉未成品、須恵器	台地	弥生中期 ～ 古墳	完存	
24	美濃山遺跡	集落	美濃山井ノ元、美濃山野神、美濃山狐谷、美濃山中尾、 美濃山本郷、 美濃山出島他	甕棺、弥生中～後期の土坑・溝、古墳時代の円筒棺・土坑墓、方形周溝遺構、旧本郷・井の元・狐谷遺跡 1982・2004・07・10年 調査	弥生土器、土師器、 須恵器、埴輪、陶器、石器	台地	弥生中期 ～ 奈良	完存 ～ 半壊	
25	柿谷古墳	古墳	内里柿谷	円墳、直径20m、高さ5m 木棺直葬・土器棺. 2010年調査	須恵器、土師器、陶磁器、鉄製品、石器、石造五輪塔部品	丘陵腹	古墳後期	全壊	
26	王塚古墳	古墳	美濃山大塚	大正 4(1915)年に墳丘北西の主体部（粘土槨長 7.3×幅1.3m）発掘。後円部墳丘径62m,古墳全長 76m 以上の前方後円墳。段築,葺石 1915・2005・06・08年調査	内行花文鏡、二神二獣鏡、仿製内行花文鏡、仿製規矩文鏡、仿製半円方形帯神獣鏡、仿製盤竜鏡、仿製神獣鏡、衝角付冑、短甲、刀、剣、鏃、斧、ガラス小玉,埴輪	丘陵稜	古墳中期 中頃	半壊	⑦
27	美濃山横穴群	横穴墓	美濃山大塚	丘陵東斜面、6基以上、 1927年調査	須恵器、金属	丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
1	美濃山1号横穴	横穴墓	美濃山大塚	東向、全長 3.1m、奥壁幅1.8m、27年発掘	金環、切子玉、刀子、須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
2	美濃山2号横穴	横穴墓	美濃山大塚	1号横穴の南東向		丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
3	美濃山3号横穴	横穴墓	美濃山大塚	2号横穴の南東向		丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
4	美濃山4号横穴	横穴墓	美濃山大塚	3号横穴の南東向		丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
5	美濃山5号横穴	横穴墓	美濃山大塚	南東向		丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
6	美濃山6号横穴	横穴墓	美濃山大塚	東向、全長 2.8m、 玄室長 2.2×幅 2.3m		丘陵腹	古墳後期 後半	完存	
28	小塚古墳	古墳	美濃山出島	円墳又は墳丘削平		台地	古墳	全壊	
29	美濃山廃寺	寺院	美濃山古寺	礎石・掘立併用の中心建物,掘立・総柱建物,区画溝,鍛冶炉,1977・99～2003・11年調査	瓦類、須恵器、土師器、覆鉢形土製品、奈良三彩瓶、ヒサゴ形土製品	台地	奈良	半壊	⑧
30	荒坂古墳	古墳	内里女谷	円墳又は横穴、1969 年土取り工事中須恵器出土	須恵器（坏、坏蓋、高坏、壺等）	丘陵稜	古墳後期	全壊	

番号			名　　称	種　別	所在地	遺跡の概要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
			女谷・荒坂横穴群	横穴墓	美濃山御毛通、美濃山荒坂、内里女谷　他	京田辺市境 1993、2000～02、09～10、15～16 年調査	土師器、須恵器、瓦	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		⑨
31	荒坂A	1	荒坂 A-1 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	丘陵南東斜面、東向、全長 6.5m×幅 2.0m		丘陵腹	古墳後期		
		2	荒坂 A-2 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	全長 3.9m 玄室幅 2.8m		丘陵腹	古墳後期		
		3	荒坂 A-3 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	全長 7.4m×幅 2.1m		丘陵腹	古墳後期		
		4	荒坂 A-4 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	玄室天井陥没		丘陵腹	古墳後期		
		5	荒坂 A-5 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没		丘陵腹	古墳後期		
		6	荒坂 A-6 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没		丘陵腹	古墳後期		
		7	荒坂 A-7 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没		丘陵腹	古墳後期		
		8	荒坂 A-8 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没		丘陵腹	古墳後期		
		9	荒坂 A-9 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	東向、今池西側大谷川西側丘陵上		丘陵腹	古墳後期		
		10	荒坂 A-10 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	東向、今池西側大谷川西側丘陵上		丘陵腹	古墳後期		
		11	荒坂 A-11 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	東向、今池西側大谷川西側丘陵上		丘陵腹	古墳後期		
		12	荒坂 A-12 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	東向、玄室 2.8m、今池西側大谷川西側丘陵上、2012～13 調査により重複し、欠番扱い		丘陵腹	古墳後期		
		13	荒坂 A-13 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	玄室天井一部陥没、今池西側大谷川西側丘陵上、2012～13 調査により重複し、欠番扱い		丘陵腹	古墳後期		
		14	荒坂 A-14 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	今池西側大谷川西側丘陵上、2012～13 調査により重複し、欠番扱い		丘陵腹	古墳後期		
		15	荒坂 A-15 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没、今池西側大谷川西側丘陵上、2012～13 調査により重複し、欠番扱い		丘陵腹	古墳後期		
		16	荒坂 A-16 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没、今池西側大谷川西側丘陵上		丘陵腹	古墳後期		
		17	荒坂 A-17 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	天井陥没、今池西側大谷川西側丘陵上		丘陵腹	古墳後期		
		18	荒坂 A-18 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	近世導水施設　1993 年試掘、99 年発掘		丘陵腹	古墳後期	消滅	
		19	荒坂 A-19 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	全長 2m　1993 年試掘		丘陵腹	古墳後期		
		20	荒坂 A-20 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1993 年試掘、玄室長 3.0m		丘陵腹	古墳後期		
		21	荒坂 A-21 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1993 年試掘、玄室長 3.0m		丘陵腹	古墳後期		
		22	荒坂 A-22 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1993 年試掘、天井崩落、玄室長 3.0m 以上	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期		
		23	荒坂 A-23 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2002 年発掘、全長 5.3m 以上、玄室長 2.1m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期		
		24	荒坂 A-24 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2002 年発掘、全長 8.2m 以上、玄室長 2.8m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期		
		25	荒坂 A-25 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 5.6m 以上、玄室長 2.6m	須恵器、土師器、鉄釘、刀子	丘陵腹	古墳後期		
		26	荒坂 A-26 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 9.8m 以上、玄室長 3.6m	須恵器、土師器、鉄釘、刀子、耳輪、臼玉、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		27	荒坂 A-27 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 9.0m 以上、玄室長 3.0m	須恵器、鉄釘、鉄製品、耳輪	丘陵腹	古墳後期		
		28	荒坂 A-28 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 15.7m 以上、玄室長 5.5m	須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀、不明鉄製品、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		29	荒坂 A-29 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全 9.4m、玄室長 2.5m	須恵器、土師器、鉄釘、刀子、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		

番号			名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
31	荒坂A	30	荒坂 A-30 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 11.6m 以上、玄室長 4.2m	須恵器、土師器、鉄鏃	丘陵腹	古墳後期		
		31	荒坂 A-31 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 15.7m 以上、玄室長 5.8m	須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀、刀子、鎹、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		32	荒坂 A-32 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 14.0m、玄室長 4.2m	須恵器、土師器、鉄釘、楔、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		33	荒坂 A-33 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 9.5m 以上、玄室長 2.9m	須恵器、土師器、鉄釘、耳輪	丘陵腹	古墳後期		
		34	荒坂 A-34 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 13.0m 以上、玄室長 5.4m、石棺	須恵器、土師器、鉄鏃、不明鉄製品、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		35	荒坂 A-35 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 12.4m、玄室長 4.0m	須恵器、土師器、鉄鏃、鉄刀、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		36	荒坂 A-36 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 10.9m、玄室長 2.2m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期		
		37	荒坂 A-37 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 9.4m、玄室長 2.7m	須恵器、土師器、鉄釘、不明鉄製品、耳輪	丘陵腹	古墳後期		
		38	荒坂 A-38 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 14.5m、玄室長 3.2m	須恵器、土師器、鉄鏃、鉄釘、不明鉄製品	丘陵腹	古墳後期		
		39	荒坂 A-39 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 10.3m、玄室長 2.8m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期		
		40	荒坂 A-40 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 11.4m、玄室長 2.5m	須恵器	丘陵腹	古墳後期		
		41	荒坂 A-41 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 14.3m、玄室長 2.9m	須恵器、刀子、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		42	荒坂 A-42 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 13.6m、玄室長 3.1m	須恵器、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		43	荒坂 A-43 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2012 年発掘、全長 12.3m、玄室長 3.3m	須恵器、土師器、耳輪、人骨	丘陵腹	古墳後期		
		44	荒坂 A-44 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	南向、未調査		丘陵腹	古墳後期		
		45	荒坂 A-45 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、墓道のみ調査		丘陵腹	古墳後期		
		46	荒坂 A-46 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、墓道のみ調査		丘陵腹	古墳後期		
		47	荒坂 A-47 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、墓道のみ調査		丘陵腹	古墳後期		
		48	荒坂 A-48 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、玄室長 3.1m、玄室のみ遺存	須恵器	丘陵腹	古墳後期		
		49	荒坂 A-49 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、全長 6.5m、玄室長 4.0m	遺物等なし	丘陵腹	古墳後期		
		50	荒坂 A-50 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、全長 7.2m、玄室長 4.0m	遺物等なし	丘陵腹	古墳後期		
		51	荒坂 A-51 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	2016 年発掘、全長 13.2m、玄室長 2.9m	須恵器、土師器、人骨	丘陵腹	古墳後期		
	荒坂B	1	荒坂 B-1 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、全長 18.0m、玄室長 2.8m	須恵器、土師器、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		2	荒坂 B-2 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、礫床 全長 10.6m、玄室長 2.1m	須恵器、土師器、馬具、鉄製武器、刀子、人骨	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		3	荒坂 B-3 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、礫床 全長 11.4m、玄室長 3.8m	須恵器、土師器、鉄鏃、刀子、鉄釘、石突	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		4	荒坂 B-4 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 18.7m、玄室長 4.6m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		5	荒坂 B-5 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、礫床 全長 13.3m、玄室長 2.4m	須恵器、土師器、玉類、鉄製武器、円筒埴輪	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		6	荒坂 B-6 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 21.3m、玄室長 3.3m	須恵器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		7	荒坂 B-7 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 16.7m、玄室長 2.4m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		8	荒坂 B-8 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 8.0m、玄室長 4.1m	須恵器、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		9	荒坂 B-9 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 7.4m 以上、玄室長 3.4m	須恵器	丘陵腹	古墳後期	消滅	

番号			名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
31	荒坂B	10	荒坂 B-10 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 17.0m 以上、玄室長 4.0m	須恵器、土師器、耳環、刀子、鉄製武器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		11	荒坂 B-11 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 14.9m、玄室長 3.6m	須恵器、土師器、刀子、鉄製武器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		12	荒坂 B-12 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘　全長 11.8m 以上、玄室長 3.3m	須恵器、土師器、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		13	荒坂 B-13 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、礫床 全長 12.7m 以上、玄室長 4.5m	須恵器、土師器、鉄鏃	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		14	荒坂 B-14 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘　全長 13.3m 以上、玄室長 3.5m	土師器、ミニチュア土器、ガラス玉、耳環、鉄製武器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		15	荒坂 B-15 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 8.2m 以上、玄室長 3.1m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		16	荒坂 B-16 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 9.1m 以上、玄室長 4.5m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		17	荒坂 B-17 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 12.2m、玄室長 4.4m	須恵器、土師器、鉄鏃、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		18	荒坂 B-18 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘　全長 12.7m 以上、玄室長 3.4m	須恵器、土師器、刀子、人骨	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		19	荒坂 B-19 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 9.5m 以上、玄室長 3.4m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		20	荒坂 B-20 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘、 墓道長 3.9m以上		丘陵腹	古墳後期	消滅	
	荒坂C	1	荒坂 C-1 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 13.1m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		2	荒坂 C-2 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999～2001 年発掘 全長 13.3m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
	女谷A	1	女谷 A-1 号横穴	横穴墓	内里女谷	南向、羨道長 4.0m、幅 1.5、玄室長 3.5m、幅 2.0m		丘陵腹	古墳後期		
		2	女谷 A-2 号横穴	横穴墓	内里女谷	東向		丘陵腹	古墳後期		
		3	女谷 A-3 号横穴	横穴墓	内里女谷	東向		丘陵腹	古墳後期		
		4	女谷 A-4 号横穴	横穴墓	内里女谷	北向		丘陵腹	古墳後期		
		5	女谷 A-5 号横穴	横穴墓	内里女谷			丘陵腹	古墳後期		
		6	女谷 A-6 号横穴	横穴墓	内里女谷			丘陵腹	古墳後期		
		7	女谷 A-7 号横穴	横穴墓	内里女谷			丘陵腹	古墳後期		
		8	女谷 A-8 号横穴	横穴墓	内里女谷			丘陵腹	古墳後期		
		9	女谷 A-9 号横穴	横穴墓	内里女谷	2002 年発掘、検出長 1m	なし	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		10	女谷 A-10 号横穴	横穴墓	内里女谷	2002 年発掘、検出長 0.9m	なし	丘陵腹	古墳後期	消滅	
	女谷B	1	女谷 B-1 号横穴	横穴墓	美濃山荒坂	1999、2000 年発掘、 全長 13.3m、玄室長 4.8m	須恵器、土師器、鉄鏃、耳環、瓦器、黒色土器、人骨	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		2	女谷 B-2 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 14.0m、墓道長 10.85m、玄室長 3.1m	須恵器、鉄釘、石鏃	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		3	女谷 B-3 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 13.9m 以上、 玄室長 3.0m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		4	女谷 B-4 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 11.0m、墓道長 8.85m 玄室長 2.9m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		5	女谷 B-5 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 10.2m、玄室長 3.6m 墓道長 6.55m	須恵器、土師器、鉄鏃	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		6	女谷 B-6 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘　全長 12.3m、玄室長 4.2m以上	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		7	女谷 B-7 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 5.9m 以上、 墓道長 2.05m、玄室長 3.8m	須恵器、土師器、瓦器	丘陵腹	古墳後期	消滅	

番号			名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
31	女谷B	8	女谷 B-8 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘　全長 7.8m 以上、墓道長 3.3m 玄室長 2.8m	須恵器、鉄刀、鞘金具、足金具、鏃、鉄釘	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		9	女谷 B-9 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘　全長 10.9m、墓道長 7.25m、玄室長 2.7m	須恵器、土師器、耳環、刀子、人骨、朝顔形埴輪	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		10	女谷 B-10 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 9.6m、墓道長 6.2m、玄室長 2.3m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		11	女谷 B-11 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 9.7m、墓道長 5.2m、玄室長 3.6m	須恵器、土師器、耳環、刀子、人骨、黒色土器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		12	女谷 B-12 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 13.2m、墓道長 8.75m 玄室長 4.4m	須恵器、刀子、槍状鉄製品、人骨、土師器、黒色土器、銅銭	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		13	女谷 B-13 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 12.9m、墓道長 8.7m 玄室長 4.2m	須恵器、土師器、刀子、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		14	女谷 B-14 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 11.8m、墓道長 7m 程度、玄室長 3.5m	須恵器、土師器、銅銭	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		15	女谷 B-15 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999、2000 年発掘 全長 8.5m 以上、墓道長 5.95m 以上、玄室長 2.5m	須恵器、土師器、瓦、人骨	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		16	女谷 B-16 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2002 年発掘。全長 12.9m、墓道長 9.25m、玄室長 3.7m	須恵器、耳環、人骨、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		17	女谷 B-17 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2002 年発掘。全長 12.5m, 墓道長 8.6m、玄室長 3.9m	須恵器、土師器、刀子、鉄鏃、耳環、臼玉、人骨	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		18	女谷 B-18 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2002 年発掘。墓道長 7.9m 全長 11.1m、玄室長 3.2m	須恵器、土師器、胡ろく金具、鉄鏃、鉄製品、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
	女谷C	1	女谷 C-1 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 11.6m、墓道長 7.55m、玄室長 4.0m	須恵器、土師器、鉄刀、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		2	女谷 C-2 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 9.3m, 墓道長 6.25m 玄室長 3.1m	須恵器、土師器	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		3	女谷 C-3 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 11.1m, 墓道長 7.6m 玄室長 3.5m	須恵器、土師器、刀子、鉄鏃	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		4	女谷 C-4 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 9.6m, 墓道長 5.9m 玄室長 2.3m	土師器、鉄刀、不明鉄製品	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		5	女谷 C-5 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 7.8m, 墓道長 4.5m 以上 玄室長 3.3m	人骨、須恵器、土師器、鉄鏃、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		6	女谷 C-6 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 7.8m 以上, 墓道長 3.8m 以上玄室長 4.0m	須恵器、土師器、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		7	女谷 C-7 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 9.8m 以上, 墓道長 6.8m 以上玄室長 3.0m	鉄鏃、耳環	丘陵腹	古墳後期	消滅	
		8	女谷 C-8 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	1999～2001 年発掘。全長 5.9m 以上, 墓道長 3.15m 玄室長 2.8m	鉄鏃、刀子	丘陵腹	古墳後期	消滅	
	女谷D	1	女谷 D-1 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 17.2m、玄室長 3.5m	須恵器、土師器、鉄鏃、耳輪	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		
		2	女谷 D-2 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 13.8m、玄室長 2.1m	須恵器、耳輪	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		
		3	女谷 D-3 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 15.3m、玄室長 3.6m	須恵器、土師器、鉄釘、耳輪、馬具、布目瓦	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		
		4	女谷 D-4 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 15.7m、玄室長 3.5m	須恵器、土師器、鉄鏃、刀子、耳輪、銅鏡、布目瓦	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		
		5	女谷 D-5 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 15.2m、玄室長 3.6m	須恵器、土師器、耳輪	丘陵腹	古墳後期～飛鳥		

番号			名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出 土 品	立地	時 代	現状	写真
31	女谷D	6	女谷 D-6 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 11.0m、玄室長 3.4m	須恵器、鉄鏃、耳輪	丘陵裾	古墳後期～飛鳥		
		7	女谷 D-7 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 11.8m、玄室長 2.8m	須恵器、鉄釘、耳輪	丘陵裾	古墳後期～飛鳥		
		8	女谷 D-8 号横穴	横穴墓	美濃山女谷	2009 年発掘。全長 15.6m、玄室長 3.3m	須恵器、土師器、鉄釘、砥石	丘陵裾	古墳後期～飛鳥		
32			山本町遺跡（男山城跡）	集落	八幡城之内、八幡御馬所	建武 3(1336)～文和元(1352)頃後村上天皇が構えた城の比定地。1997･2006 年調査。礎石建物、土坑	土師器･須恵器･輸入陶磁器･瓦器･焼締陶器･国産陶磁器･瓦	平地	中世～近世		
33			石城跡	山城	男山石城	20m 四方の平坦面周囲に溝		丘陵頂	中世	消滅	
34			大芝古墳	方墳	八幡大芝	埋没古墳周溝、埴輪列 1995 年調査	埴輪、須恵器、古式土師器、鉄製品	丘陵頂	古墳中期	半壊	⑩
35			上奈良遺跡	集落	上奈良南ノ口、上奈良城垣内、上奈良大門 他	東西 550×南北 250m 掘立柱建物、溝、井戸 1993･96･97･2001 年調査	土師器、須恵器、緑釉陶器、製塩土器、墨書土器、瓦、土馬、土錘、仏像、弥生土器	平地	弥生～中世		
36			内里五丁遺跡	散布地	内里五丁他、戸津中代他	東西 1050×南北 800m、1992･2008 年調査、	土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器	平地	古墳～中世		
37			内里八丁遺跡	集落	内里八丁、内里日向堂、内里今福他	東西 900×南北 880m、弥生時代の水田、古墳時代の竪穴住居、古代の官衙的な掘立柱建物群、大型の井戸、道路側溝、中世土坑墓、自然流路、1989～92、94～98、2002･03 年調査	弥生土器,石器,農耕関係木製品,土師器,須恵器,墨書土器,緑釉･灰釉陶器,奈良三彩(絞胎陶枕),瓦器,輸入陶磁器,土馬,製塩土器,石帯,木製品(櫛等),瓦,和同開珎	平地	弥生～中世		⑪
38			新田遺跡	集落	内里内垣外 内里古宮、内里関他	京田辺市境、東西 1200×南北 1400m、古墳中後期の竪穴住居、1989･92･2009 年調査	弥生土器、土師器、須恵器、製塩土器、黒色土器、緑釉陶器、瓦器、陶磁器、砥石、紡錘車、土錘、石製品、土製品、木製品、鉄製品、獣骨、滑石製石鍋	平地	弥生後期～中世		
39			島遺跡	散布地	八幡苗田、八幡東島、八幡西島他	東西 470×南北 550m	土師器、須恵器	平地			
40			戸津遺跡	集落	戸津北戸津、戸津北小路他、八幡舞台	東西 300×南北 500m、土坑、小穴、溝	須恵器、緑釉陶器、黒色土器、土師器、瓦器	平地	奈良～鎌倉		
41			御毛通古墳群	古墳群	美濃山荒坂	1992 年、2012 年、2015 年調査	円筒埴輪、形象埴輪、須恵器、土師器、石器、鉄釘	丘陵頂	古墳時代前期	半壊	
		1	御毛通 1 号墳	方墳	美濃山荒坂	埋没古墳、1992 年調査、方墳	蓋形埴輪、家形埴輪片、円筒埴輪、土師器	丘陵頂	古墳前期		
		2	御毛通 2 号墳	円墳	美濃山荒坂	埋没古墳、2012 年･2015 年調査、円墳	甲冑形埴輪、草摺形埴輪、盾形埴輪、鶏形埴輪、家形埴輪、須恵器、石鏃、鉄製品	丘陵頂	古墳前期末～中期前半		
42			隅田口遺跡	散布地	八幡隅田口	2018 年度調査	埴輪	丘陵裾	古墳		
43			交野ケ原 3 号窯	須恵器窯	松井交野ケ原	穴窯、1･2 号窯は京田辺市、1979 年調査	須恵器(坏･壺･鉢･甕･硯等)、土師器	丘陵腹	奈良末期～平安初期	消滅	

番号	名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
44	美濃山廃寺下層遺跡	集落	美濃山古寺	美濃山廃寺と重複、東西290×南北 500m、竪穴住居、1987･99･2000･01･02･03･10･11年調査、土坑、溝	弥生土器(壺、手焙り形土器、高坏、甕)、須恵器、石鏃、打製石器、土師器、瓦	丘陵頂	弥生後期	半壊	
45	狐谷横穴群	横穴墓	美濃山狐谷	1981～82年調査 8基、府指定史跡 1号横穴は誤認。		丘陵腹	古墳後期		⑫
1	狐谷2号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	南斜面、南向、全長7.9m玄室長3.0×幅1.1m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、刀、小刀、金環、土師器埦、須恵器(台付長頸壺、高坏蓋)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
2	狐谷3号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	2号横穴の西、南向、全長10.1m玄室長0.5×幅1.9m、羨道幅 1m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、土師器(壺皿)、須恵器(台付長頸壺・高坏・坏)黒色土器埦	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
3	狐谷4号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	3号横穴の西、南東向、全長9.45m玄室長0.9×幅2.1m、羨道幅 1m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、金環、土師器埦、須恵器(台付長頸壺・高坏・坏・坏蓋・平瓶・甕)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
4	狐谷5号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	4号横穴の西、南東向、全長9.9m玄室長5.1×幅2.1m、羨道幅 0.6m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、土師器(皿・埦・高坏・甕)、須恵器(高坏・坏)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
5	狐谷6号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	5号横穴の西、南東向、全長12m玄室長5.2×幅2.16m、羨道幅 0.6m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	須恵器(坏・坏蓋・高坏・長頸壺・壺)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
6	狐谷7号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	6号横穴の西、南東向、全長10.1m玄室長3.7×幅1.7m、羨道幅 0.6m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、須恵器(高坏・坏・坏蓋・台付長頸壺)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
7	狐谷8号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	7号横穴の西、南向、全長11.8m玄室長 0.4×幅 2m、羨道幅 1m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82 年発掘,	人骨、須恵器(台付長頸壺・坏・高坏)	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
8	狐谷9号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	8号横穴の西、南東向、全長8.4m玄室長0.1×幅1.5m、羨道幅 1m、府史跡(府立南八幡高校敷地内)1981･82年発掘,	人骨、刀、金環	丘陵腹	古墳後期後半	完存	
9	狐谷10号横穴	横穴墓	美濃山狐谷	9号横穴の西、1号横穴の東75m、南向、未調査		丘陵腹	古墳後期	完存	
46	清水井東遺跡	屋敷跡	八幡清水井	新善法寺家屋敷跡比定地 1999年調査	土師器、陶器、瓦	山腹	中世～近世	完存	
47	内里池南古墳	古墳	内里女谷	丘陵東側削平		丘陵腹	古墳	半壊	
48	楠葉平野山窯跡	窯	橋本平野山	丘陵南斜面、四天王寺の創建瓦他須恵器を焼成(灰原のほとんどは枚方市側)1984･92年調査	軒瓦、瓦類、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	⑬
1	楠葉平野山1号窯跡	窯	橋本平野山	灰原のみ検出、1992年調査	須恵器、瓦	丘陵腹	飛鳥	完存	
2	楠葉平野山2号窯跡	窯	橋本平野山	地下式登窯・無段、1984 年調査	須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	
3	楠葉平野山3号窯跡	窯	橋本平野山	地下式登窯・有段、四天王寺所用瓦窯 1984年調査	瓦(素弁蓮華文軒丸瓦)、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	
4	楠葉平野山4号窯跡	窯	橋本平野山	地下式登窯・有段、四天王寺所用瓦窯 1984年調査	瓦(素弁蓮華文軒丸瓦)、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	
5	楠葉平野山5号窯跡	窯	橋本平野山	地下式登窯 1984年調査	瓦(鴟尾)、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	
6	楠葉平野山6号窯跡	窯	橋本平野山	地下式登窯・有段、奥山久米寺式軒丸瓦焼成 1984 年調査	瓦(素弁蓮華文軒丸瓦・鴟尾)、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	
7	楠葉平野山7号窯跡(平野山・楠葉東遺跡第5瓦窯)	窯	橋本平野山	地下式登窯・有段 1984 年調査	瓦(単弁蓮華文軒丸瓦・三重弧文軒平瓦・鴟尾)、須恵器	丘陵腹	飛鳥	完存	

番号	名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
48 8	楠葉平野山 8 号窯跡	窯	橋本平野山	1 号窯の西、地下式登窯・有段、四天王寺所用瓦窯、1992 年調査	瓦（素弁蓮華文軒丸瓦）	丘陵腹	飛鳥	完存	
48 9	楠葉平野山 9 号窯跡	窯	橋本平野山	7 号窯の東か		丘陵腹	飛鳥		
49	西岩田遺跡	散布地	岩田茶屋ノ前	東西 300×南北 300m	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器	平地	古墳～中世		
50	川口環濠集落	集落	川口堀ノ内	東西 300×南北 300m、現在川口集落	瓦器、陶磁器	平地	中世		
51	魚田遺跡	散布地	岩田西嵐、岩田橋溝、岩田八丁他	2001・02 年調査（京田辺市）溝、土坑	土師器、須恵器	平地	古墳～中世		
52	東原遺跡	散布地	橋本東原	東西 70×南北 160m、1993・2002 年調査	土師器、陶器	丘陵腹	平安～中世	半壊	
53	糸ケ上遺跡	集落	橋本糸ケ上 橋本平野山	楠葉平野山窯北側、東西 150×南北 450m、溝	土師器、須恵器	丘陵腹	平安		
54	平野山北遺跡	散布地	橋本平野山		土師器、陶器	丘陵腹	古墳～近世		
55	堂ケ原遺跡	散布地	橋本堂ケ原	東西 70×南北 70m	土師器	丘陵腹	中世～近世	全壊	
56	栗ケ谷遺跡	散布地	橋本栗ケ谷		土師器、陶器	丘陵腹	中世～近世		
57	川口扇遺跡	散布地	川口東扇他	東西 600×南北 700m、1993・94・2005 年調査	土師器、須恵器、弥生土器、瓦器、陶磁器、銅銭	平地	平安～中世		
58	清水井遺跡	屋敷	八幡清水井	石組み溝、土坑、1998 年調査、新善法寺家屋敷跡	土師器,陶磁器,焼塩壷,一石五輪塔、瓦器、焼締陶器、輸入陶磁器、桃山陶器、肥前系陶器、同磁器、瓦	丘陵中腹	中世～近世		
59	馬場遺跡	集落	八幡馬場	善法寺家邸宅跡推定地、門跡、石垣 2011～16・18・19 年度調査	土師器,須恵器,瓦器,焼締陶器,輸入陶磁器,瓦	平地	平安前期～近世	完存	
60	長田遺跡	散布地	八幡長田		土師器	平地	平安～近世		
61	女郎花遺跡	集落	八幡女郎花他	竪穴住居、掘立柱建物、溜池跡、耕作地跡等、 1993・95・97・98・2000・04・05・07・08・12・17・18 年度調査	土師器、須恵器、埴輪、瓦器、黒色土器、陶器等	丘陵裾	古墳～鎌倉		⑭
62	月夜田遺跡	散布地	八幡月夜田	東西 150×南北 100m, 2006 年調査、溝状遺構	土師器,須恵器（高坏・坏）、灰釉陶器、瓦器	平地	古墳～中世		
63	山田遺跡	散布地	八幡山田	東西 300×南北 400m, 2006 年調査、土坑、落ち込み状遺構	土師器、須恵器、弥生土器、灰釉陶器	平地	弥生～平安		
64	山田東遺跡	散布地	八幡山田	東西 90×南北 220m	須恵器	平地	古墳～中世		
65	幸水遺跡	墓域	美濃山幸水他	東西 400×南北 360m、方形周溝墓、土坑墓 1995・96・2009・13 年調査	須恵器、埴輪片、弥生土器（中期）、ﾔﾘｶﾞﾝﾅ	台地	弥生中期～古墳	半壊	
66	備前遺跡	集落	八幡備前、八幡南山	東西 500×南北 230m、竪穴住居 1997・98・2009 年調査	弥生土器、石製品（石剣・石戈）、鉄製品、ﾔﾘｶﾞﾝﾅ	丘陵	弥生	半壊	
67	西ノ口遺跡	集落・古墳	美濃山西ノ口、美濃山宮ノ背、八幡備前	竪穴住居、埋め甕、1996・97・2004・06・07 年調査	旧石器、弥生土器、土師器、須恵器、鉄製品、焼締陶器	丘陵	旧石器、弥生、古墳、室町		
68	宮ノ背遺跡	集落	美濃山宮ノ背	東西 130×南北 90m、竪穴住居,1992・96・97・2004 年調査	土師器、弥生土器、鉄製品、石製品	丘陵	弥生	半壊	
69	宮ノ背西遺跡	集落	美濃山宮ノ背	2003・07 年調査、竪穴住居	弥生土器、須恵器	丘陵	古墳～中世	全壊	
70	荒坂遺跡	集落	美濃山荒坂	東西 30×南北 30m、掘立柱建物、1992・99・2001 年調査	土師器、須恵器、石器、埴輪	丘陵	古墳～奈良		

番号	名　　称	種 別	所 在 地	遺 跡 の 概 要	出　土　品	立地	時　代	現状	写真
71	御毛通遺跡	散布地	美濃山御毛通	東西 100×南北 30m	瓦	丘陵裾	奈良		
72	奥戸津遺跡	集落	戸津奥戸津	東西 420×南北 180m、掘立柱建物等、1993･94･95 年調査	土師器、須恵器、陶器、製塩土器、土錘	平地	飛鳥～中世		
73	今里遺跡	集落	下奈良今里	溝、中世以降の墓域、1993～95･2013･15～18 年度調査	土師器、須恵器、陶磁器、瓦器、瓦、石造品、人骨	平地	平安～江戸		
74	出垣内遺跡	集落	下奈良出垣内	東西 350×南北 250m 掘立柱建物等、1994･96･2013 年調査	土師器、須恵器、瓦器	平地	古墳～中世		
75	橋本奥ノ町遺跡	集落	橋本奥ノ町、橋本中ノ町、橋本北ノ町他	礎石建物等、1997･2012 年調査	土師器、陶磁器、銭貨、鉄釘、包丁	平地	中世～近世		
76	上津屋遺跡	集落	上津屋里垣内 上津屋八王子 他	環濠集落、掘立柱建物・井戸・薬師堂関連遺構 1994･2000･01･02･08･19 年度調査	土師器、須恵器、瓦器、陶磁器、瓦、足金物、水晶宝珠、緑釉陶器、灰釉陶器、黒色土器、木製品、石製品	平地	平安～近世		⑮
77	五反田遺跡	散布地	戸津五反田	東西 90×南北 100m	土師器	平地	古墳～中世		
78	一ノ坪遺跡	散布地	八幡一ノ坪他	東西 420×南北 180m	須恵器	平地	古墳～中世		
79	舞台遺跡	散布地	八幡舞台	東西 100×南北 320m	土師器、須恵器、瓦器	平地	古墳～中世		
80	石清水八幡宮遺跡	社寺	八幡高坊他	東西 500×南北 650m 1983･99･2010 年調査 護国寺・大塔・瀧本坊調査 大半が史跡（石清水八幡宮境内）	瓦,土師器,須恵器,白色土器,緑釉・灰釉陶器,黒色土器,瓦器,輸入陶磁器,焼締陶器,鎮壇具（輪宝・独鈷杵）	山頂	平安～近世	完存	⑯ ⑰ ⑱
81	野神遺跡	その他の墓	美濃山野神	北斜面、崖面に円筒埴輪棺露出	円筒埴輪棺	丘陵腹	古墳中期		
82	石ケ谷遺跡	散布地	橋本石ケ谷	東西 190×南北 210m 1981 年調査	須恵器、瓦、土師器、陶磁器	丘陵腹	古墳～近世	消滅	
83	玉造遺跡	散布地	岩田西玉造	東西 50×南北 70m 1981 年調査	須恵器、土師器、瓦器、磁器	平地	古墳～近世		
84	柿ケ谷遺跡	散布地	八幡柿ケ谷	東西 150×南北 110m	弥生土器	丘陵裾	弥生	消滅	
85	清水井古墓	古墓	八幡清水井		五輪塔	丘陵腹	中世～近世		
86	善法律寺境内遺跡	社寺	八幡馬場	八幡宮社務宮清の私宅を正嘉元年（1257）寺とする、足利義満母の菩提寺	土師器・瓦器・瓦・陶磁器	丘陵腹	中世～近世	完存	
87	正法寺境内遺跡	社寺	八幡清水井	建久 2 年（1191）高田蔵人忠国開基、後奈良天皇の勅願寺となる		丘陵腹	中世～近世	完存	
88	狩尾社遺跡	社寺跡	橋本狩尾		土師器・瓦	丘陵頂	平安～近世	完存	
89	橋本陣屋跡	その他（陣屋）	橋本焼野、橋本堂ヶ原 橋本愛宕山 橋本小金川	2013 年調査	須恵器	平地	近世	半壊	

① 西山廃寺　（奈良時代～平安時代前期、8～9世紀）

昭和 46 年(1971)、現在の西山和気交差点の南で、道路工事の前に発掘された古代のお寺の跡です。その位置から平安京遷都に活躍した役人・和気清麻呂が建てた足立寺とみる説があります。足立寺史跡公園に塔・お堂の礎石、瓦の窯跡(写真左)が移築されています。

伝承より古い土器も出ていますが、中国の「唐三彩」を模して日本で作成した「奈良三彩」といわれる陶器や、タイルのような土の板に仏様を形どった塼仏、人物画や「大千世界」と落書きした平瓦など、大変珍しい遺物が発見されています。

② 茶臼山古墳出土　石棺　（古墳時代前期、4世紀）

京都府教育委員会提供

茶臼山古墳は現在の男山第三中学校付近にあった古墳時代前期（4世紀）の前方後方墳で、宅地造成により消滅しました。写真は大正年間に出土した舟形石棺で、現在京都大学で展示されています。阿蘇溶結凝灰岩という、九州でしか産出しない石でつくられており、石棺として近畿地方では高槻市の今城塚古墳のほか数例しか確認されていないきわめて珍しいものです。

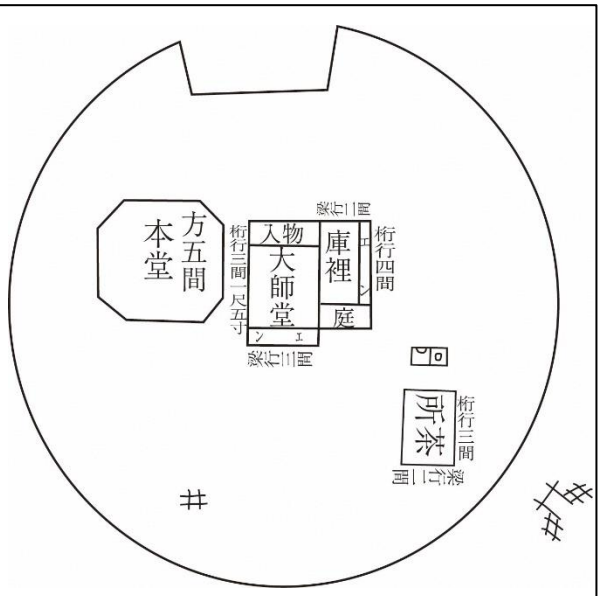
③ 西車塚古墳（八角堂移築地【国指定史跡】）（西車塚古墳：古墳時代前期、八角堂移築地：明治時代）

西車塚古墳は八幡大芝にある市域に6基あった大型古墳のうち最大の前方後円墳で、唯一墳形をよく留めています。明治 35 年(1902)に発掘され、竪穴式石室から5面の鏡や勾玉・管玉・水晶玉などの玉類と、石製腕輪などが数多く出土し、東京国立博物館で収蔵されています。後円部は鎌倉時代以来、石清水八幡宮西谷にあった八角堂の移築地として史跡石清水八幡宮境内の指定を受けています。現在の八角堂は明治 3 年(1870)に移築されたものです。

③－1 石清水八幡宮境内（八角堂）【国指定史跡】　（明治時代）

保存修理工事前の八角堂

保存修理工事後の八角堂



明治 16 年の八角院建物配置図
（明治 16 年「寺院明細帳」掲載図をトレース）

八角堂（はっかくどう）は、男山丘陵の東裾にある古墳時代前期（4 世紀頃）の前方後円墳、西車塚古墳の後円部墳頂に建っていますが、この姿になったのは明治時代のことです。

八角堂の創建は、鎌倉時代にさかのぼり、建保年中（1213～1219）、石清水八幡宮検校（けんぎょう）の善法寺（ぜんぽうじ）祐清（ゆうせい）が、阿弥陀如来を本尊として、石清水八幡宮境内の西谷に建立したと伝わります。

慶長 12 年（1607）、豊臣秀頼が小出吉政を奉行として再建しましたが、その後、建物が大きく傷んだため、元禄 11 年（1698）、石清水八幡宮別当（べっとう）の善法寺央清（おうせい）が、広く寄付を募り再興しています。

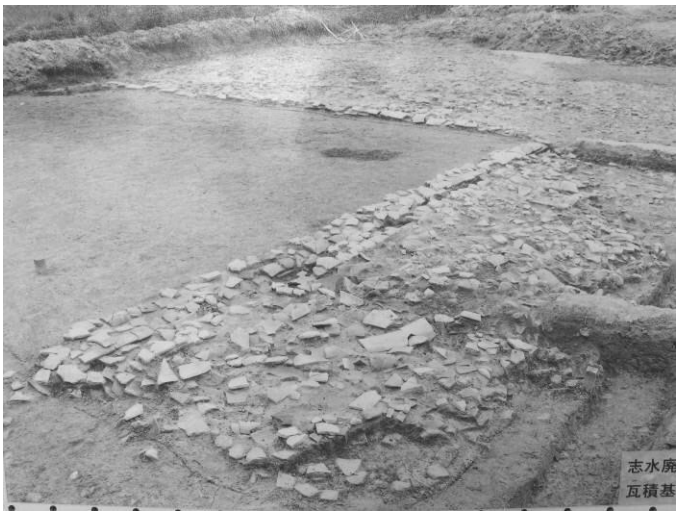
明治時代のはじめ、政府の神仏分離政策によって石清水八幡宮境内から仏堂等が取り除かれることになった際、正法寺の前住職志水円阿（しみずえんあ）が、八角堂と元三大師堂（がんさんだいしどう）を仏像と共に譲り受け、明治 3 年（1870）、現在地に移築しました。この時、八角堂を本堂として、本堂の東に庫裡（くり）を、庫裡の南に茶所（ちゃどころ）を設け、名称を八角院（はっかくいん）と改めています。

明治期に整備された建物は、昭和期に八角堂を除いて撤去され、八角堂の南西に、新たに鉄筋コンクリート造の東屋（あずまや）が建てられて、今日に至りました。

八角堂は、江戸時代まで石清水八幡宮の境内にあった仏堂で、明治時代に移築されて今日に伝わった貴重な建物であるため、平成 24 年（2012）に石清水八幡宮境内が史跡に指定された際、八角堂の移築地もあわせて史跡となっています。以降、八幡市では国や府の協力をえて八角堂の保護に取り組み、平成 25 年（2013）に市有化を行って、平成 26 年（2014）から平成 31 年（2019）3 月末まで保存修理工事を実施し、明治時代の姿に復原しました。現在、建物の周囲は常時散策ができるよう整備し、内部については期間を限って公開しています。

なお、八角堂の本尊である阿弥陀如来坐像は、鎌倉時代の作で、昭和 25 年（1950）重要文化財に指定されており、現在は正法寺（八幡清水井）の法雲殿に安置されています。

④ 志水廃寺 （奈良時代頃、8世紀）



昭和 52 年（1977）の発掘調査で、瓦を積んで作られた仏堂の基壇（きだん）が発見されました。瓦積み基壇は山城地域で類例が多く、朝鮮半島系の技術者との関係が考えられています。瓦も日本の他の寺跡ではあまりみられない珍しい模様で、朝鮮半島の瓦によく似たものがあり、このことから志水廃寺の造営に渡来人が関わっていたと考えられています。ただ、造営氏族が渡来系だったとはすぐさま考えられません。寺を建てるのに渡来人の力を借りたのでしょうか。

⑤ 志水瓦窯 （奈良時代頃、8世紀）

八幡中ノ山墓地の南斜面にある瓦窯の跡です。約 150m東には奈良時代の寺院跡である志水廃寺があり、瓦窯に残っていた少数の瓦が志水廃寺の瓦と同じ特徴をもつので、志水廃寺の瓦を造るための窯とわかります。平成 6・7 年（1994・1995）に発掘調査を行い、斜面に残っている窯跡は1基だけであったことがわかりました。斜面をトンネル状に掘ってつくる「穴窯（あながま）」という形式で、窯の温度を上げ、固い焼き物を作ることができます。

⑥ ヒル塚古墳　（古墳時代前期末、4世紀）

古墳時代前期末（4世紀末）に築かれた方形の古墳です。国道一号沿い「一ノ坪」交差点の北西に、建物の地下に墳丘が残っています。写真は、平成元年（1989）の発掘調査で発見された2つの埋葬主体部です。写真右側の大きな墓が古墳の主（あるじ）のものとみられます。墓穴を掘り、床に小石を敷き詰め、遺体を納めた木棺を置いています。木棺は大きな木をくり抜いた巨大なもので、その周囲を粘土で覆った「粘土槨（ねんどかく）」いう埋葬の仕方ですが、このような分厚い粘土槨は他に例のないほどです。写真右では粘土槨を奥だけ残しており、その手前に魔よけの朱（しゅ）が敷き詰められた床がみえています。銅鏡や鉄製品など数多くの副葬品が出土しましたが、なかでも渦巻き飾りが付いた鉄剣は、朝鮮半島南部に類品のある極めて特殊な遺物です。

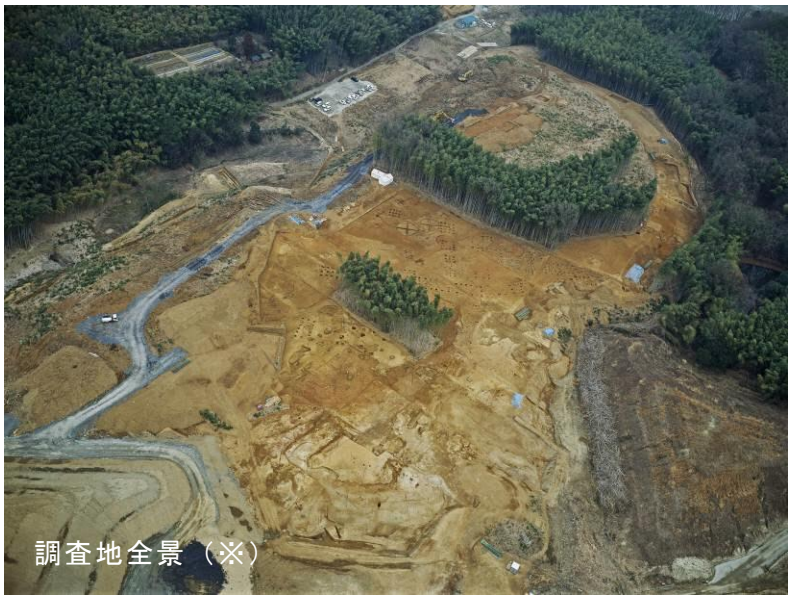
出土した副葬品のうち、円筒棺、渦巻装飾付剣 、方格規矩鳥文鏡（ほうかくきくちょうもんきょう）が平成 29 年（2017）12 月に京都府暫定登録文化財となりました。

⑦ 王塚古墳　（古墳時代中期、5世紀）

美濃山大塚にある古墳です。早くに竹藪となり、大正４年（1915）に埋葬施設が発掘され、鉄の冑（かぶと）や鎧（よろい）、刀剣・鉄鏃（てつぞく）などの武器、鏡などが出土しました。これらは現在、京都大学博物館で保管されています。平成 20 年（2008）に、古墳の形や範囲を確認するための発掘調査を行ったところ、葺（ふ）き石や埴輪列がみつかり、これまで円墳と思われていた古墳の形が前方後円墳であったことがわかりました。前方後円墳を造ることができる首長は当時権力が大きかったと推定されています。

⑧ 美濃山廃寺・美濃山廃寺下層遺跡

（美濃山廃寺：奈良時代、美濃山廃寺下層遺跡：弥生時代後期）


調査地全景（※）

弥生土器

【左】覆鉢形土製品【右】ひさご形土製品（※）

弥生時代後期の竪穴住居跡　全景

奈良三彩　壷

※印（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センター提供

平成 11 年度から5年にわたり実施した範囲確認調査では、寺域の北限と推測される区画溝や寺院関連の掘立柱建物跡が見つかり、大量の瓦や、仏具類の他、土製の小塔と見られる覆鉢形土製品、奈良三彩の壷の底部などが出土しました。

平成 23 年度、遺跡が位置する尾根のほぼ全域を調査し、弥生時代後期の竪穴住居と奈良時代の掘立柱建物群を良好な状態で検出しました。竪穴住居跡は、調査地全体で 32 棟見つかり、長径が 8～9mと大型のものが多く、甕や鉢など、様々な形や大きさの土器が出土しました。掘立柱建物は 30 棟以上にのぼり、そのほとんどが寺院関連のものと見られます。調査地の中央部では、一辺 1.3m 前後の柱穴をもつ大型の建物を確認し、本堂などの中心的施設であろうと考えています。また、建物群の周辺では、瓦窯や鍛冶炉・溶解炉跡といった寺院関連の生産遺構が見つかっています。複数の覆鉢形土製品に加えて、塔の相輪を模した小塔と見られる「ひさご形土製品」といった珍しい遺物も出土しました。これらは、美濃山廃寺の性格を知る上で貴重な資料といえます。

⑨ 女谷・荒坂横穴群　（古墳時代後期～飛鳥、6世紀末～7世紀）

平成13年度の第二京阪道路の建設に伴い調査されました。左の写真に、左手前から右奥に細長い穴が並んでいますが、この一つ一つが墓で、一人から数人が埋葬されていました。本来は屋根があり、丘陵の斜面を横向きに掘りぬいてつくられました。この時期、西日本を中心に各地で横穴式の石室をもつ群集墳がよく造られますが、美濃山から京田辺市にかけての地域だけが横穴墓だったのは謎で、九州大隅半島から移り住んだ隼人の墓ではないかという説もあります。これまで約 110 基以上が確認され、山城地域でも最大規模の横穴墓群であることがわかりました。

横穴墓の内部（玄室）は、右の写真のように奥に向かって広がっており、須恵器や土師器などが置かれていました。金メッキされた耳環（イヤリング）や、矢を入れる胡籙、鉄製の矢なども出土しています。人骨が残存している墓もありました。

⑩ 大芝古墳　（古墳時代中期、5世紀）

平成7年度、西車塚古墳近隣の、八幡大芝で発掘調査を実施したところ、溝から多くの円筒埴輪が出土し、この場所が古墳であることがわかりました。埋葬部があった墳丘は、すでに削られ、平坦になっており、古墳の存在は忘れ去られていたようです。出土した埴輪や土器などから、古墳時代中期のものと推測されます。

⑪ 内里八丁遺跡　（弥生時代～平安時代、2～12世紀）

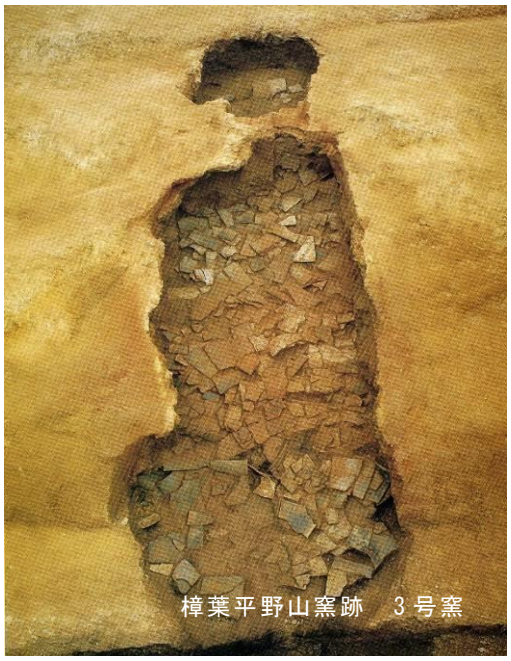
八幡市東部の平野部に立地する遺跡で、第二京阪道路建設に伴い大規模な発掘調査が行われ、弥生時代の水田遺構が見つかったことでも有名です。写真は、平成 13 年度調査で見つかった、奈良時代頃の生活面です。北西から南東に走る数条の溝が発見されており、古代の道路、奈良の都と諸国をつないだ官道である「古山陰道」の側溝の可能性が指摘されています。

⑫ 狐谷横穴群【京都府指定史跡】　（古墳時代後期、7世紀）

京都八幡高校南キャンパス建設時に発見された横穴墓群です。この時、初めて横穴墓の本格的な発掘調査が行われました。

この横穴墓群は、近くに美濃山廃寺ができるころまで使われていたようです。現在、校舎の南側、グランドの西に発掘地が保存されていて、京都府指定の史跡となっています。見学には学校の許可が必要です。

⑬ 楠葉平野山窯跡　（飛鳥時代、7世紀）



男山は、土器や瓦つくりに適した粘土がとれることで有名で、男山西麓では平安時代、盛んに土器作りが行われていました。

橋本の平野山では７世紀の飛鳥時代に、瓦や須恵器を焼くための窯が９基つくられていたことが、発掘調査でわかりました。聖徳太子が造ったとされる大阪・四天王寺を初めて建てるための瓦が造られていたことがわかっており、全国でももっとも古い瓦窯のひとつです。

窯は丘陵斜面を横に掘りぬく穴窯（あながま）です。写真は３号窯。天井が落ちた状況で、なかに階段がつくられ瓦が多数置かれている状態がよくわかります。

⑭ 女郎花遺跡　（古墳時代～鎌倉時代、5～14世紀）

西車塚古墳の近く、八幡女郎花にある集落跡。これまで試掘確認を含む 17 次にわたる発掘調査を行い、古墳時代の初め頃から人々が住み始め、平安時代前期に至るまでの集落であったことがわかりました。

古墳時代では竪穴住居が見つかっていますが、奈良時代になって集落は拡大し、写真のような掘立柱建物が数多く見つかりました。整然と並ぶ倉庫が配置されていることから庶民の家ではないことがわかります。南へ 300m辺りに同時代の志水廃寺があり、古代の豪族が建てた寺と考えられています。この建物群は、志水廃寺の建設や運営に携わった豪族の住まいだったのかもしれません。

⑮ 上津屋遺跡　（平安時代中期～室町時代、10～15世紀）

土地区画整理事業に伴う上津屋遺跡の発掘調査で検出された東西方向の大溝です。写真の溝は中世集落の北端につくられたもので、断面が V 字形の「薬研（やげん）掘り」であり、防御を目的とした溝とみられ、戦国時代より前にも中世集落周辺で戦乱が起こっていたことが推測されます。上津屋遺跡ではこのような大きな溝がほかに 3 条発見され、多量の土器・陶磁器が出土しました。大溝は方形の区画を形成しており、区画内には中世の有力者の屋敷地があったようです。

⑯ 石清水八幡宮境内　護国寺跡【国指定史跡】　（平安時代前期～江戸時代）

護国寺は、貞観元年（859）の石清水八幡宮成立後ほどなく建てられた寺で、代々護国寺の長官が石清水八幡宮全山をおさめたことからもわかるように、本殿に次いで重要な施設でした。写真左上の穴に石が入る部分が、文化 13 年（1816）、江戸時代後期に再建された本堂の柱の跡です。南にあった須弥壇（本尊の薬師如来と十二神将などを安置した部分）を取り囲むように、鎮壇の祭祀具である「輪宝」と「独鈷杵」が出土しました（写真赤丸）。この輪宝、独鈷杵については、平成 30 年（2018）3 月に「石清水八幡宮境内出土品」として京都府指定文化財になりました。

⑰ 石清水八幡宮境内　大塔跡【国指定史跡】　（平安時代～江戸時代）

大塔は天永３年（1112）に白河院の御願により、八幡宮境内の西谷（現在の駐車場北、青雲寮の東）に建設されました。真言密教の寺院で造られた多宝塔の、特に大きなものを大塔といいます。発掘調査で雨落ち溝や、外側に巡る縁側の礎石が見つかりましたが、あったはずの亀腹の基壇は明治の廃仏毀釈により完全に破却されていました。絵図でしか知られなかった大塔の位置がはじめて明らかになるとともに、現存大塔として唯一で国宝の、和歌山県・根来寺の大塔とほぼ同じ大きさだったことがわかりました。

⑱ 石清水八幡宮境内　瀧本坊跡【国指定史跡】　（平安時代～江戸時代）

瀧本坊跡　閑雲軒復元イメージ図

瀧本坊（たきもとぼう）は江戸時代に活躍した文人で寛永の三筆のひとり、松花堂昭乗（しょうかどうしょうじょう）が住職を務めた宿坊です。発掘調査で、江戸時代後期に建っていた書院などの建物の礎石や、建物の西にあった瓢箪型（ひょうたん）の池が見つかりました。昭乗がいたころに、小堀遠州（こぼりえんしゅう）とともにつくったという茶室・閑雲軒（かんうんけん）は、安永２年（1773）の火事で焼けたのち再建されなかったようですが、崖の下で礎石が見つかりました。書院ともに、床面がほとんど崖の上に迫り出す「懸（か）け造り」であったことが判明し、「空中茶室」ともいうべき珍しい茶室の構造が明らかになりました。

八 幡 市 市 民 憲 章

昭和４４年５月１８日制定

昭和５２年１１月１日、市制施行に伴い、八幡町住民憲章を八幡市市民憲章に改称した

前　文

わたくしたちは　美しい自然と古い歴史にめぐまれ　力づよく前進する八幡の市民であることに自覚と誇りをもちます

わたくしたちは　きょうのくらしを守り　あすのしあわせを築くため　わたくしたちのめざす姿とまちのすすむべき道を明らかにします

わたくしたちは　この憲章が市民の総意にもとづき定められたことをよろこびとしわたくしたちの名誉にかけて　これを守ります

本　文

1 ゆたかなくらしをめざして楽しく働きます

☆心とからだをきたえ 健康を守る
☆むだのない うるおいのある生活をする
☆働くことに誇りをもち 仕事をたいせつにする
☆職場の環境をよくし 働く人の立場を守る
☆産業をそだて くらしをゆたかにする

1 すみよい都市をめざして力を合わせます

☆くらしをもとにして つねにあすのまちを考える
☆つくる場 すまいの場 まなぶ場 いこいの場をととのえる
☆まとまりのある快適なまちをつくる
☆ゆたかなまちを築き くらしの願いにこたえる
☆災害を防ぎ 公害を除き 交通の安全をはかる

1 きれいなまちをめざして手をつなぎます

☆自然を愛し 花や緑をそだてる
☆澄んだ大気と清らかな水を守る
☆ごみや汚物のないまちにする
☆みんなの施設を大事にする
☆くらしのきまりを尊ぶ

1 平和なふるさとをめざしてたがいを高めます

☆話し合う場をすすんでつくる
☆よい環境をつくり 青少年を正しくそだてる
☆つねにくらしをみつめすすんで自治に参加する
☆いっさいの暴力を認めず　平和をつらぬく
☆ふるさとの歴史にまなび新しい文化をひらく

1 あたたかい社会をめざして　ともに助け合います

☆人権を尊び あたたかく人とまじわる
☆ことばと行いに責任をもつ
☆としよりとこどもをたいせつにする
☆からだのわるい人やめぐまれない人をはげます
☆力をもちよってたがいに助け合う

八幡市の花・木・鳥・花木

市の花「さつき」

昭和４２年１０月１日制定
昭和５２年１１月１日市制施行に伴い、「市の花」とした。

町村合併１３周年を記念して、花に満ち緑にあふれる健康なまちづくりへの願いをこめて、広く市民から公募の上、制定したものである。
さつきは、愛すべき美しさの象徴であり、本市にゆかりの深いものである。

市の木「くすのき」

昭和４２年１０月１日制定
昭和５２年１１月１日市制施行に伴い、「市の木」とした。

市の花「さつき」と同じく、町村合併１３周年を記念し、緑にあふれた健康なまちづくりへの願いを込めて、市民からの公募の上、制定したものである。
くすのきは、たくましい力の象徴であり、「さつき」と同様に本市にゆかりの深いものである。

市の鳥「シジュウカラ」

平成４年１２月１０日制定

市制施行１５周年を記念して、市民アンケートなどを参考に自然環境保全のシンボルとして制定したものである。
シジュウカラは、市内では一年中見られ、特に男山、美濃山地城に多い。平地から山地、市街地の林に生息し、木の実、小昆虫を主食としている。鳴き声は、ツーツーピーと鳴く。

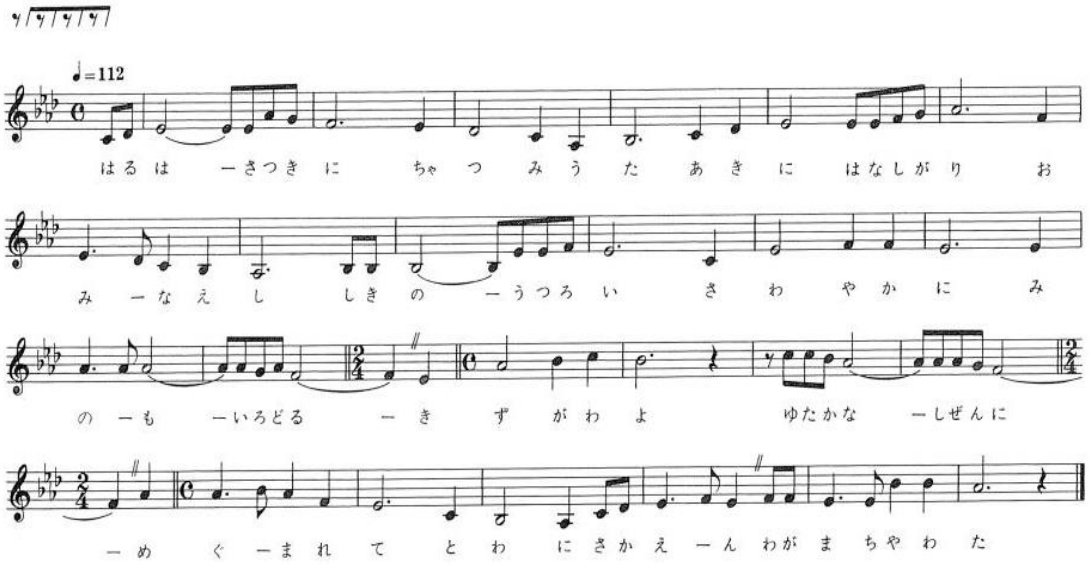
市の花木「つばき」

平成１４年１１月１日制定

市制施行２５周年を記念し、男山の「やぶつばき群」や「松花堂・つばき展」などを通じ、市民に愛されている「つばき」を市の花木と制定したものである。

八幡市 市歌

小川義勝 作　詞
もず唱平 補作詞
三山　敏 作　曲



小川義勝 作　詞
もず唱平 補作詞
三山　敏 作　曲
高松伸光 編　曲

八幡市市制五周年記念

八幡市市歌

一、春はさつきに茶摘み唄
　秋には梨狩り　女郎花
　四季の移い　さわやかに
　水面彩る　木津川よ
　　豊かな自然に恵まれて
　　永久に栄えん　我がまち八幡

二、楠のみどりに男山
　昭乗ゆかりの松花堂
　今に伝わるエジソンの
　偉業支えた八幡竹
　　文化の灯　たくましく
　　永久に点さん　我がまち八幡

三、強く大きく育つ子よ
　暮らしに夢みる人と人
　手と手さしのべ助け合い
　目指す福祉のまち作り
　　ふれあう心で　この平和
　　永久に守らん　我がまち八幡

八幡市非核平和都市宣言（昭和５７年９月２８日制定）

恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目的の達成なくしては、八幡市がめざしている“緑ゆたかな文化の都市”“心のかよう福祉の都市”の実現もまたあり得ない。

われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびとに訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを決意した。

ここに　八幡市を“非核平和都市”とすることを宣言する。

八幡市環境自治体宣言（平成１４年４月１日制定）

みどり豊かな自然やきれいな水、澄んだ空気など美しい環境を守り育てることは、私たち人間だけではなく、すべての生き物にとって共通の願いです。

そして、私たちが生まれたかけがえのない地球のよりよい環境を、子どもたちに引き継いでいくことが、私たちに与えられた大きな責任です。

地球全体を見つめ、身近なところから行動しなければならない今、すべての市民、事業者、行政が協力しあい、私たちのふるさと八幡を「人と自然が共生する環境にやさしいまち」にしていくことを決意し、ここに八幡市を環境自治体とすることを宣言します。

１　私たちは、水やみどり、空気などを大切にし、いろいろな生き物が共に生きていける環境を守り育てます。

１　私たちは、大切な資源を守るため、ものを使い捨てる生活を繰り返し使う生活に見直して、ものを大切にする心豊かな暮らしをめざします。

１　私たちは、自然エネルギーの利用や省エネルギーに心がけ、環境にやさしい文化的な生活をめざします。

１　私たちは、それぞれの役割と責任を十分に理解し、すべての人たちと進んで協力して、安心で快適な生活ができる美しいまちをつくります。

１　私たちは、いつも身近な生活を通して地球環境の大切さを考え、行動します。

令和元年度八幡市の教育

編集・発行　八幡市教育委員会教育総務課
〒614－8501
京都府八幡市八幡園内７５番地
TEL　０７５-９８３-５８２４（直）
FAX　０７５-９８３-１４３０
URL　http://www.city.yawata.kyoto.jp/
令和元年８月発行